

平成18年度文部科学省委託事業

情報モラル等指導サポート事業
情報モラル等の指導を普及するフォーラム
実施報告書

平成19年3月

財団法人 コンピューター教育開発センター

概 要	1
1. 情報モラル等の指導の普及フォーラム開催状況.....	3
愛知県.....	3
群馬県.....	6
大阪府.....	7
徳島県.....	9
大分県.....	12
宮崎県.....	14
東京都.....	15
京都府.....	16
新潟県.....	17
2. 「情報モラル等の指導を普及するフォーラム」開催効果の波及	19
3. 参加者アンケート結果について.....	27
4. 参加者の経験年数別構成	33
5. 過去に情報モラル等のフォーラムに参加したことが「ある人」と「ない人」との比較.....	35
6. 開催時期と開催時間について	37
7. フォーラムの内容について	37
8. 本フォーラムでの参加者の課題について	38
9. 本フォーラムをどのように活用できるか	40
10. あとがき	41

概 要

フォーラム開催地域の募集を 8 月末に委託が決定し募集を始めたが、開催時期としては教員の研修などの時間に当てられる児童生徒の夏期休暇の時期が使えなかったことで応募の数が若干少なくなり、9 地域が候補になり、選定の結果、全候補が開催地域として採用されることになった。

昨年の実施結果では東北や北海道の地域の開催が無かったので、北海道や岩手県、宮城県などの県に打診をしたところ反応は無かった。北海道は札幌と道とがそれぞれ 100 人程度しか集められないのを見送るということになったが、他でも政令指定都市がある県などは同じ事情があるようである。

9 会場で全参加者は 2,260 人に達し、過去のフォーラム参加者も参加者の 17 パーセントあるが、そのほとんどが今回初めての参加であった。

前述のように開催時期が良くなかったことは、フォーラム開催地域募集時期が遅くなったことからやむをえないことがあったが、アンケートにもその結果がでており、約半数近くの参加者が良くないと回答している。

会場については、交通アクセス、会場の設備、音響設備などについてはいずれも参加者の半数以上が良いとしている。

フォーラムは各会場ともおおそ情報モラル教育に関するもの、情報安全教育に関するもの、事例についてのものに大別されるが、アンケート結果では、テーマは 80 パーセントの参加者が良いとしており、また構成についても 60 パーセントが良いと回答している。

疑問が解決できたかという問いに関しては解決できたとするものは 40 パーセントであるが、その他は解決したと回答していない。

本フォーラムに何を期待して参加したかの問に対しては、知識を深めるため (912)、同僚への指導・知識共有のため (612)、授業に生かすため (579) の順になっている。

フォーラムの後のアンケート結果では、同僚への指導・知識共有が (883)、今後の授業に活用できる (628)、児童・生徒への生活指導 (514) の順で今後活用できるとしており、参加前の期待とほぼ同数が終了後に回答しており、目的が達せられたものと思われる。しかし、疑問が解決したかというアンケートに対して何とも言えない、解決しないというのが約 60 パーセントに達しているので、別途京都、新潟会場で解決した疑問が何なのか、解決しなかった疑問が何か自由記述でアンケートを急遽追加して調査した。

実際の情報モラル等の指導についてのアンケートでは、全体としては現在実施中、過去に実施を含めると 49 パーセント、今後行う予定を入れると 64 パーセントで情報モラル等の授業を行うとしているが、一方で所属する学校の 28 パーセントが今後行う予定なしとし、参加した教員も 22 パーセントの教員が個人としても情報モラル等の授業を行う予定なしと回答していることは今後追跡調査が望まれる。

情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思うかという問

いに対し、指導する時間が確保できない（26.9 パーセント）、適当な指導案/指導法がない（25.6 パーセント）、適当な教材が無い（24.3 パーセント）でほぼ拮抗している。

本フォーラムは今後校内で情報モラル等の授業をする上で参考になるかという問いに対して大変参考になった、参考になったものを加えると 75 パーセントのものが参考になったとしている。

全般の構成に関する評価ではフォーラムの内容について、大変良いとするものは全体で 45 パーセントであるが、大分県は 37.8 パーセントと大阪府が 37.1 パーセントと低くなっている。しかし、良いとするものを加えると各地域は約 80 パーセントが良いと評価しており、評価の低い大阪府でも 72.6 パーセントに達している。

また、県・市で独自に教員講習会で情報モラル研修を行っているかどうかEメールで照会したところ、本普及フォーラム以外に情報モラルの研修が実施されているコースが 50 コースに上がっている。

講演内容の記録を撮り、公開ができるものは公開したいという文部科学省・開催委員会の議から、講師個人個人に対しアンケートをした。委員の中から文化庁で定めている自由利用マークを付すことのできる講師に求めてはどうかという意見が出て、講師に対し許諾を求める手続きを省略できる利用してもらっても良い資料等には自由利用マークを付してもらおうべく説明のための文書を封入し講師に送ったが、資料に自由利用マークを付した講師は一人もいなかった。

講演資料や録画資料は警察関係の講師の話は内容から委員会のみ、または不可になっている。しかし、2人の講師については不可とされている。他の講師は委員会内のみ可とするものもあるが、ウェブ利用化についても多くの講師が可として回答している。

本フォーラムでは、各地の開催会場ごとに多くの委員の確保をしなければならず、日程調整を含めてかなりの困難に出会ったこともあった。しかし、日頃から情報モラルに意を用い実践活動を行っている学校の教員も増え、今後は徐々に実践事例の蓄積もでき、情報モラルの授業に役立つことになろう。

本フォーラムではその全ての講演、事例紹介、パネルディスカッションの全てに大いに役立ったあるいは大いに良いと役立った、良いを加えたものが7割を超えており、フォーラムの構成、内容とも優れたものになっているものと確信している。

本フォーラムに参加した者が学校に帰任後、校内講習会や勉強会、報告会などを開いていること、あるいは参加者が情報モラル等の内容を含む授業などを実際に行ったり、計画したりしていることが各会場の開催都府県から報告されており、本フォーラムの参加者が単にその個人だけにとどまらず、参加者を中心とした輪が広がっているように研修効果が広がっていている。

その意味から情報モラル等の学校への指導を普及するため、非常に効果が高いフォーラムであり、来年以降もぜひ継続して開催することが望まれる。

1. 情報モラル等の指導の普及フォーラム開催状況

- ・ 各開催会場の概況は以下のとおりである

愛知県

日時	平成 18 年 11 月 15 日
開催場所	ルブラ王山
参加人数	303 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 愛知 ～情報モラルの指導の充実をめざして～
フォーラムの狙い	児童生徒が情報メディアを活用することによって生じる事件・事故等のトラブルの防止のためには、児童生徒自身の情報モラルやマナーの育成は必要不可欠である。この課題に対して・学校の果たす役割について考え、情報モラルに対する意識を高めるために実施する。
1 部 講演①	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 赤堀 侃司 「情報モラルの指導・育成のポイント-子どもを取り巻く環境の変化-」
1 部 講演②	鹿児島県志布志市教育委員会 学校教育課参事兼指導主事 辻 慎一郎 「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」
2 部 講演③	株式会社ディアイティ セキュリティビジネス ガバメントビジネス部マネージャー 山田 英史 「学校の情報管理と情報セキュリティー」

<講演の概要>

「情報モラルの指導・育成のポイント-子どもを取り巻く環境の変化-」

- ・ 学校の論理が役立たない。学校以外の社会が子どもたちの社会に入り込んできている。
- ・ 今の世の中は、専門家にだまされる時代である。そういう認識を持つ必要がある。とにかく、だまされやすい時代である。
- ・ 学校では、教師と子どもの一対一のコミュニケーションの機会や子どもどおしのコミュニケーションを作っていくために、協力的な体験活動を行うことを意識していかなければ、現状は打破できない。
- ・ 携帯電話やモバイルは、もはや体の一部のようなものである。また、薬のようなもので、健康になる薬もあれば、不健康になる薬もある。
- ・ 情報モラルの育成のためには、
 - ① 本物に触れさせることが大切である。
 - ② コミュニティを作り、その中で役割を持たせたり、上級生を見て育つ機会をつくったりして、

自分で何をしたらよいかを考えさせたい。

- ③ コミュニケーション能力を育てる。(直接声をかける機会を必ず持つようにする。フィードバックを与える。やさしさだけではいけない。)
 - ④ 自分軸を持たせる。(プレゼンテーション授業、日本語の授業、レポートの掲示。繰り返すことで気づかせる)
 - ⑤ 子どもは距離を測る。(子どもは教師や親と交渉している。ここからこちらはよく、ここから先はだめという境界線を知りたがっている。境界線の内か外かで決まる。)
- ・インターネットも携帯電話も使い分ければよい。使い方をきちんと教えないといけない。キーワードは、コミュニケーション、境界線、表現力だと思う。

「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」

- ・ちょっとした取組をみんな(教師、保護者)でやるのが、情報モラル教育の充実につながる。
- ・情報モラルの育成のためには、被害者にしない、加害者にしない教育が必要である。
- ・情報モラルの指導領域は、法律や慣習、モラルの必要性の範囲内のことだと思う。
- ・「我が家のインターネット利用〇カ条」を各家庭で作成することで、親が心配していることを子どもに分からせるだけでもよい。
- ・教師への研修は、例えば、Webを利用して、「情報モラルとは」の段階(「ネット社会の歩き方」活用)、「具体的指導の方法を知る」の段階(「情報モラル研修教材2005」活用)、「指導案づくり」の段階(「情報モラル授業サポートセンター」活用)と段階別に深めていくとよい。
- ・インターネットや携帯電話は、99%の光と1%の陰がある。従って、情報モラルを意識しながら、積極的にインターネットや携帯電話を活用させていけばよい。
- ・データの暗号化や完全消去ソフトを活用して、個人情報保護に対応していく時代である。

「学校の情報管理と情報セキュリティー」

- ・教える側(大人)も情報モラル教育を受けていないので、経験・知識が十分でない。ネット社会は、匿名性、いきなり世界とつながる、大量の情報が流通、違法な情報や有害な情報も含まれている、個人の発信する力が増幅する、段階的に経験できないという、特異性がある。この特異性を理解することが必要である。
- ・ネット社会であっても、80%は現実社会と同じモラル教育でカバーできる。
- ・情報モラル教育と情報セキュリティー教育は、似ていて異なるもの。共に危険回避を目的とするが、情報モラルは怪しい場所をかぎ分けたり、危ない誘いに乗らないための経験則を教える。情報セキュリティーは、ウイルス対策や情報漏えい対策などのテクニックを教えることである。
- ・学校でのセキュリティーのポイントは、機密性(情報の保持)、関連性(情報の正確性)、多様性(必要なものを取り上げる)の3つである。
- ・生徒への指導のポイントは、個人情報が悪用されることを認識させること、加害者になる可能性を認識させること、個人情報の保護を徹底させること、特にパスワードの保護が重要である。
- ・データの暗号化は、安全というより安心対策である。

<考察>

- (1) 講演①赤堀先生には、急激な社会の変化に伴う子どもの変化。とりわけ、インターネットや携帯・モバイルの影響について、詳しくお話いただき、改めて、子どもを取り巻く環境の変化について考えさせられた。こういった状況の中で、児童生徒に情報モラルを育成するための5つのポイント（本物に触れる、コミュニティをつくる、コミュニケーション能力を育てる、自分軸を持たせる、子どもは距離を測ること）や、インターネットや携帯の上手な使い方の指導のキーワード（コミュニケーション、境界線、表現力）を、今後の学校現場での情報モラルの指導の指針として示していただいた。
- (2) 講演②辻先生は、子どもを取り巻く教師や保護者がみんなでちょっとした取組を進めていくことで情報モラルの指導が充実できることを強調された。また、校内研修の例、保護者対象のワークショップの例、情報モラルの指導に利用できるURLの紹介等豊富な実践事例をまじえて、明日からでも利用できるような指導方法や指導のヒントを具体的に教えていただき、大変参考になった。辻先生が、最後に引用された「ブレーキは走るためにある」という言葉に、情報モラルとは何かということが理解できたような気がした。
- (3) 講演③山田先生には、情報モラル教育と情報セキュリティ教育を混同している現状やその問題点、また、個人情報漏えいの防止を中心に、学校の情報セキュリティのポイント（機密性、関連性、多様性）や生徒への指導のポイント（個人情報が悪用されやすいこと、加害者となる可能性、個人情報の保護、特にパスワードの保護）についてわかりやすくご指導いただいた。児童生徒への指導を推進していくためにも、教職員の共通理解を図り、情報セキュリティの強化を図らねばならないという危機感を感じた。
- (4) 辻先生の調査票については、回収できず辻先生にご迷惑をおかけしました。会場内の座席（机あり）が、横6人×4列＝24人、縦「14列であり、講義①（赤堀先生の講義）後5分以内に、フォーラム担当の3名の指導主事で300名以上の参加者から調査票回収は困難であると、独断で判断してしまいました。やはり、事前回収ならば、参加者公募の際に配付できる形がとれるような時間的余裕を持って企画するべきであったと思います。
- (5) フォーラムには、市町村や各学校から、指導主事や情報やネットワーク管理者等、情報教育の指導的役割を担う人を各市町村から2名、県立学校からは1名ずつ参加してもらった。著名な委員の先生の講演の内容も、具体例や誰にでも起こりうる個人情報保護を考える場面等がふんだんに取り入れられ、現場に即した大変分かりやすいものであったので、熱心に聴講できた。
今後、参加者が、市町村や各学校の実情に合わせ、フォーラムの成果の輪を広げ、情報モラルの指導の普及・促進の推進役として活躍されることを大いに期待している。

群馬県

日時	平成 18 年 12 月 6 日
開催場所	群馬県総合教育センター
参加人数	271 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 群馬 -群馬県の情報教育の推進を目指す-
フォーラムの狙い	義務教育における情報モラル等の効果的な指導手法等を確立し、情報モラル等の指導を普及するために、県内の各学校の教職員と、教育行政関係者に対してフォーラムを実施する。
1 部 講演①	千葉県柏市土南部小学校教諭 西田 光昭 「義務教育における情報モラル教育」
1 部 講演②	東京都立江東商業高等学校教諭 榎本 竜二 「高等学校における情報モラル教育」
2 部	群馬大学社会情報学部大学院研究科教授 下田 博次 「子どもを取り巻くネットの実態について」

<講演の概要>

「義務教育における情報モラル教育」

- ・情報モラルの指導の位置づけ
- ・情報モラル指導のための資料等
- ・情報モラル指導の実際
 - 利用にあたっての指導
 - コミュニケーションの場面で
 - 教科学習の中で
 - 学校における携帯モラルの指導
- ・情報モラル指導の考え方

「高等学校における情報モラル教育」

- ・激増する子どもの事件・事故
- ・止まらないネット犯罪
- ・子どもたちが学校でしていること
- ・体験的な学習教材、情報モラルで利用できる教材
- ・携帯電話の問題
- ・子どもに考えさせる授業
- ・不適切なページ
- ・個人情報漏洩、コンピュータ・ウイルス、スパイウェア等
- ・学校が教えるべきもの

- ・社会教育としての情報モラル

「子どもを取り巻くネットの実態について」

- ・中高生の携帯電話利用問題の広がり
- ・トラブル、事件を生み出す原因
- ・携帯インターネット（モバイルインターネット）のメディア特性
- ・インターネット時代に子供を守ることができるか
- ・学校の悩み
- ・家庭の悩み
- ・学校と家庭の連携
- ・市民インストラクター養成、地域の新しい社会教育システム

<考察>

具体的に事例を取り上げ、指導内容や指導方法を分かりやすく紹介いただいた。参加した先生から参考になったという感想が聞かれた。今後も、このような事業が続くことを期待したい。

大阪府

日時	平成 18 年 12 月 11 日
開催場所	大阪府教育センター
参加人数	338 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 大阪 メディアリテラシーと情報モラル ～情報の向こう側に「人」を感じる心を育てるために～
フォーラムの狙い	情報機器の発達など情報環境の急速な変化は、子供たちのコミュニケーションの取り方や人間関係のあり方に大きな影響を与えている。子供たちが情報機器の特性を知り、情報社会で正しい行動が取れるよう「情報モラル」を育成しさまざまなメディアから発信される内容について批判的に吟味し、主体的に選択し、コミュニケーションを創造する能力つまり「メディアリテラシー」を育成することが必要である。 普及フォーラムを開催し情報モラル等に関する効果的な指導法などの研究・普及を図る。
1 部 講演	大阪教育大学実践学校教育講座助教授 森田 英嗣 情報社会を生きる ～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～
事例報告①	大阪府熊取町教育委員会学校教育課指導主事 吉田 茂昭 「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」
事例報告②	大阪府寝屋川市教育委員会教育指導課指導主事 笹間 康浩

	「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」小中一貫でICT基礎力を養う」
事例報告③	大阪府立かわち野高等学校教諭 関本 正則
	「信頼できるWEBページとは」
2部 講演	大阪府警察本部生活安全部生活安全総務係長 福山 剛志
	「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」

<講演の概要>

「情報社会を生きる ～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～」

- ・ 情報社会を生きるための問題の所在としてニールポストマンの「子どもはもういない」を紹介するとともに現実社会と仮想社会の関係について
- ・ 私達ができることは何か？で家庭に出来ること、社会に出来ること、学校に出来ることについて

「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」

- ・ 情報活用能力の3つの観点
- ・ 具体的な実践として熊取町の小学校5年生の情報教育実践例の紹介

「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」小中一貫でICT基礎力を養う」

- ・ 寝屋川市の元気教育、小中一貫教育の推進の紹介
- ・ 地域との連携インフラの整備
- ・ 第十中学校区、三井小学校、宇谷小学校の取り組み

「信頼できるWEBページとは」

- ・ 信頼できるWeb ページの捉え方
- ・ Web ページ作成の授業の事例紹介
- ・ 新聞は?? スポーツは??

「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」

- ・ IT 社会とサイバー犯罪の現状
- ・ サイバー犯罪及びインターネットトラブルの実例と対策
- ・ インターネットのルールとマナー

<考察>

情報モラル教育の難しさは、学校現場において、何をどのように教えればよいのかが、実感を伴わない点にあります。ネット社会においては、日々様々な問題が起こっているのですが、その深刻さに対する実感が児童生徒にも教員にも薄いことが影響していると考えられます。

さらに、教える側にとっても、これらの問題は初めて出会うものばかりであり、その解決の糸口を見つけるために、これまでの経験を生かすことが出来ないという点も情報モラル指導の難しさを生み出しています。

以上の課題を解決していくために、本フォーラムのような事業は学校現場に最新の情報や事例を広

く伝え、ネット社会における個々の問題の重大さを明らかにしていく絶好の機会であると考えます。今後も本事業が継続して実施されることを強く希望します。

徳島県

日時	平成 18 年 12 月 14 日
開催場所	徳島県立総合教育センター
参加人数	220 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 徳島
フォーラムの狙い	時代に即応した情報モラル指導の在り方を探るとともに、フォーラムを契機として、徳島県の「情報モラル教育」が広まることを狙いとした。特に、情報担当者だけでなく、学校における研修の中核となる管理職や研修主任にも広く参加を呼びかけることにより、今回のフォーラムでの収穫を学校に還元することに重点を置いた。
1 部 講演	東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 赤堀 侃司 「子どもを取り巻くネット社会の状況とその対応」
2 部 講演	徳島県板野郡板野町立板野南小学校教諭 上田 託也 「今日からできる情報モラル教育の指導」
3 部 講演	パネルディスカッション ・コーディネーター 徳島大学助教授 金西計英 パネリスト 板野南小学校教諭 上田託也 那賀川中学校教諭 矢部 淳 総合教育センター情報教育課指導主事 香川 朗 「情報モラル指導の現状と情報モラル普及のための方策」

<講演の概要>

「子どもを取り巻くネット社会の状況とその対応」

- ・ 情報社会の現状と情報モラル—子どもを取り巻く環境の変化

情報モラル教育をすすめる上での困難—短絡思考

待ち時間なし（我慢できない）

↓

人間関係にも持ち込まれる

「地域の教育力」の低下、「家庭教育」の問題点が社会問題と化している

- ・ 情報モラル

コンピュータの活用能力 大人<子ども

技能は練習（生徒）、判断は知識と知恵（大人）…経験がものをいう

道徳とモラルの関連…学校のモラル≠社会のモラル

インターネット利用上の注意点…光と影を意識する

掲示板の利用…校内の出来事であれば学校の責任→指導が必要

携帯電話に関する指導…ルールが必要

携帯メールに関する不安…依存症

電子メールのメリット、デメリット…いつでも、どこでも

文字表現はあとに残る

(感情・なりすまし・荒らし)

誹謗・中傷のメール

私物PCで個人情報を取り扱う際の注意点

私物PCの排除, 個人情報は持ち出さない、携帯電話への情報登録

↓

盗難・紛失の危険性

教員という職務上、知り得たプライバシーに関する部分の厳重管理

重要情報のメール送信の可否

著作権…人の作品には「価値」がある

盗用と引用の違い、著作権の及ぶ範囲

- ・国際比較からみた教員の指導力 (Learner's Perspective Study)

日本の教員の指導力はきわめて優れている

その特徴は、児童生徒に考えさせること

総合的に授業をとらえている

フィンランドと日本、OECD 平均の PISA 比較

- ・情報モラルと対応—求められる指導の在り方

科学的な思考力

本物に触れさせる—高大連携…夢中になる子どもたち

コミュニティを作る—上(先輩)から学ぶ

コミュニケーション力を育てる—フィードバック(声かけ)の必要性

自分軸を持たせる

子どもは「距離」を測る—越えてはならない—線

約束を作る

「今日からできる情報モラル教育の指導」

- ・インターネットの教育利用

教科書にもURLが書かれる時代

豊富な教育用コンテンツ

教材としての整備が進む手軽に多くの情報が手に入る

調べ学習に使うのはあたりまえ

メールや掲示板も利用が進む

学習成果をホームページで情報発信

- ・教育利用上の課題

教育用コンテンツの未成熟（数は多い）

多様な情報からの取捨選択の難しさ

どんな情報も正しいと誤解してしまう

手放しの利用（指導監督の難しさ）

子どもと教員のデジタルデバイド（能力や興味関心の開きが大きくなる一方）

- ・知らないがゆえの問題発生

著作権侵害、誹謗中傷、不正アクセス、出会い系での被害、ワン切り行為やいたずらメール、携帯電話の不必要な利用（遊び半分）

- ・指導計画の立案と郡内全小学校への配布

校長会で「情報モラル指導検討委員会」設立

人権主事、生徒指導主事、特活主任、情報担当者等へ提案するが低調

↓

問題意識の共有と指導計画の立案

↓

郡内全校での取り組みの確認と依頼

- ・各学年の指導計画…3年生～6年生で各2コマ（5年生のみ3コマ）

（例）「情報の信憑性について」（3年生）

情報を鵜呑みにせず、可能な範囲で子どもたちに確認させたい

- ・情報の作成者・発信元が明記されているか
- ・発信元が公的に認められた人や団体であるか
- ・情報が憶測や推測や仮説・うわさ話によって得られたものでないか

ただし、不正確な内容を楽しむサイトもある

*児童にチャットの疑似体験をさせ、教員が不適切な書き込みを故意に行うことによって指導の成果を高め、その後の対応策を考えさせる

*保護者への啓発にもこれらの活動はつながった

*多くの教員から相談を受けるようになった（裾野の拡大）

- ・教員の認識を高める取り組みが必要

実態の把握と情報提供、自分は使わ（え）なくても指導は必要

子どもたちが犯罪に巻き込まれるおそれの認識

- ・これからは指導内容・方法・指導資料の検討が必要

- ・大人が教えていくべきことははっきり伝える

「情報モラル指導の現状と情報モラル普及のための方策」

<各パネラーからの意見発表>

<コーディネーターのまとめ>

・問題点…危機意識の不足←現状認識不足（実態と認識の乖離）携帯・インターネットがなければ生きていけない世代の登場

- ・進む普及と技術の早さ…社会のすべてが追いついていない

知らない（私は使わない）ではすまない

- ・学習者の実態は…どんどん新しいものを使っている→流れは止められない
学習者・家庭・社会に向けた「啓蒙」が欠かせない
実践の着実な蓄積も必要
 - ・体験的（経験的）学習が重要
 - ・実践共有の枠組みを確立し、研修体制を拡大する
 - ・セキュリティポリシーの整備
- 「情報」の位置づけ…道徳？総合学習？→「情報」の独自性
テーマ…著作権、情報発信、個人情報
教科「情報」
- ・すべて学校まかせではだめ…社会（地域）全体で
 - ・問題発生時の対応…問題は発生するものという前提に立つ

[情報モラルを普及させるためのポイントは]

これまで…情報担当者会、基本研修（初任研・5年次研修）

これから…校内研修会等で普及

<考察>

会場の都合上、小学校と中学校の参加であったが、情報モラル教育の校種間の接続の面からも、他校種の参加もできればさらによかったのではないかと。また、時間的な制約より、パネルディスカッションに時間をあまりとることができなかった。時間配分も次回開催の課題である。

大分県

日時	平成19年1月18日
開催場所	別府市ビーコンプラザ
参加人数	449人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 大分 ーみんなで考える情報モラル教育ー
フォーラムの狙い	近年、インターネット等の情報手段の急速な普及は、私たちの生活を豊かにする反面、利用者のモラル等に起因したトラブルが発生している。児童生徒の情報メディアを活用することで生じる各種トラブルの防止については、本人が、日常生活で求められるモラルに加え、情報の受信や発信において高い判断力や責任能力を身に付ける必要がある。 また、児童生徒がトラブルに巻き込まれた際に素早く対処するためには、教職員や保護者が、情報に対する判断力や情報管理能力を高めることが重要である。 参加者が、これらの課題に対して学校、家庭、地域の果たす役割について考え、情報モラルに対する意識を高めるため、本フォーラムを実施する。

1部 講演	上越教育大学 学校教育総合研究センター教授 南部 昌敏
	「子どもたちのインターネット等の利用実態と情報モラル教育の基本的な考え方」
2部 講演	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科助教授 藤村 裕一
	「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」
事例報告	杵築市立向野小学校教諭 笹置 隆宜
	「小学校における取組事例」
	由布市立庄内中学校教諭 二宮 保秀
	「中学校における取組事例」
	大分県立中津商業高等学校定時制教諭 河野 雅史
	「高等学校における取組事例」

<講演の概要>

「子どもたちのインターネット等の利用実態と情報モラル教育の基本的な考え方」

- ・ 子どもたちのインターネット等の利用実態
- ・ 情報モラル教育支援の取り組みと教材等の整備状況
- ・ 情報モラル教育を実践するための手だて
 - (1) 情報モラル教育にメディア・リテラシー教育の学習活動を融合させた学習指導モデル
 - (2) 親子で学ぶ情報モラル学習プログラム
- ・ 情報モラル教育の基本的考え方
- ・ 情報モラルを身に付けさせるための方法～モラルスキルトレーニング～

「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」

- ・ 学校セキュリティの現状と課題
- ・ 学校セキュリティの現状
- ・ 具体的なトラブル事例
- ・ 学校情報セキュリティハンドブック
- ・ 学校の情報セキュリティポリシー
- ・ 学校のリスク対応

「小学校における取組事例」

- ・ 総合的学習の時間での情報モラルの取組
- ・ 情報モラルに関する教材（コンテンツ）の開発と活用
- ・ 授業実践事例

「中学校における取組事例」

- ・ 授業実践報告「電子会話を通してコミュニケーションを考えてみよう」

- ・ 匿名性について考える
- ・ パスワードやIDの重要性を考える
- ・ チャットによるネット犯罪について考える

「高等学校における取組事例」

- ・ 情報モラルのこれまでの取組内容
- ・ 生徒指導と情報モラル
- ・ 情報モラルに関する学校指導体制の確立
- ・ 携帯電話の指導について

<考察>

今回、小、中、高等学校及び盲・聾・養護学校から各校1名の参加を依頼して実施した。各学校では、情報モラルの必要性は感じていながら、どのように指導すれば良いか不安に感じている教員が多い。今回のフォーラムでは、多くの実践事例（県内外）の紹介があり、このような教員には大変参考になったと考える。

また、昨年、県内の佐伯市の消防署職員による個人情報の流出事件が、発生した。このよう時期に情報セキュリティについての考え方や予防措置をどのように行うか、学校で具体的に考える良い機会となったと考える。

今後は、各学校や地域で情報モラルや情報セキュリティに関する研修会や協議が盛んになることを期待したい。次回開催については、配布資料が多かったことを除いて特に課題は無かった。

宮崎県

日時	平成19年1月18日
開催場所	宮崎県市民文化ホール
参加人数	268人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 宮崎 ー育てよう、広めよう情報モラルー
フォーラムの狙い	情報モラルに係る講演や実践報告を実施することで、モラル教育の一層の改善・充実を図る。
1部 講演	富山大学人間発達科学部人間環境システム学科 助教授 高橋 順 「情報モラル指導事例および効果的な指導方法について」
2部 講演	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 助教授 新保 史生 「学校における情報セキュリティと個人情報の取り扱いについて」

<講演の概要>

「情報モラル指導事例および効果的な指導方法について」

- ・ 情報モラルの指導に関する根本的な考え方は、「道徳」の時間で、メインは「総合や教科の時間」

で、規則的な内容と徹底は「生活指導」で、価値観に左右される内容は、「家庭との連携」で
 というようにうまく分けて体系的に指導をすることが重要であり、効果的な指導法を教授いた
 だいた。

「学校における情報セキュリティと個人情報の取り扱いについて」

- ・「知的財産権」の解釈の仕方からはじまり、学校における個人情報を取り扱う上での注意点を、
 身近な事象を取り上げ、法的アプローチを交えながら、分かり易く解説いただいた。

<考察>

「情報モラル教育」に関する第一人者の講演を聴く機会が与えられたことに大きな意義があった。講
 演内容は、「ケータイ利用におけるモラル教育の指導」や「学校における個人情報保護の在り方」で
 あり、参加者の82%が、「今後の授業で参考になった」と回答している。県教育委員会としても今
 後様々な機会を捉えて、「情報モラル教育」に関する支援をしていきたい。

東京都

日時	平成19年1月19日
開催場所	フロラシオン青山
参加人数	159人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 東京
フォーラムの狙い	「東京都教育ビジョン」（平成16年4月）に基づき、情報モラル教育のあり 方を実践的に研究し、全都の情報モラル教育の推進に資する。
事例報告	文京区立青柳小学校主幹 原 香織
	「情報モラルを培う指導法」～小学校の実践
	墨田区立堅川中学校主幹 三橋 秋彦
	「ケータイモラルの指導」
	東京都立江東商業高等学校教諭 榎本 竜二
	「高等学校における情報教育」
パネルディスカ ション	[コーディネータ] 聖心女子大学教授 永野 和男 先生
	[パネリスト] 文京区立青柳小学校主幹 原 香織
	墨田区立堅川中学校主幹 三橋 秋彦
	都立江東商業高等学校教諭 榎本 竜二
	教育庁指導部指導企画課指導主事 永浜 裕之
	「情報モラル指導の実際」
講演	聖心女子大学教授 永野 和男
	「情報モラルのカリキュラムとその枠組み」

<講演の概要>

「情報モラルを培う指導法」～小学校の実践～

- ・ コンピュータや携帯電話の保有率など、文京区の児童の実態を紹介
- ・ 音楽を題材に著作権について考えさせる授業の紹介

「ケータイモラルの指導」

- ・ 身近なトラブルをもとに携帯電話の正しい使い方を話し合ったりする事例の紹介
- ・ 携帯電話や電子メールの利用に関する情報モラル授業事例の紹介

「高等学校における情報教育」

- ・ 携帯電話やインターネットの利用に関する高校生の現状を紹介
- ・ 高等学校における情報モラル教育の推進方法を例示

「情報モラル指導の実際」

①情報モラル指導に関する学校の現状と課題

- ・ 情報モラルに関する教員の意識に違いがある。
- ・ 学校全体として組織的に情報モラル指導が行われていない。
- ・ 情報機器やその利用技術の進歩に対応した指導を行うことが困難である

②情報モラル指導の具体策や改善策

- ・ 電子掲示板の書き込みなど、仮想体験できる教材を活用する。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間など、教育活動のさまざまな場面を通じて、全教職員で組織的に情報モラル指導を行う。
- ・ 学校だけで情報モラルを指導するのではなく、家庭においてもルールやマナーを指導するよう、保護者に呼びかける。

「情報モラルのカリキュラムとその枠組み」

- ・ 道徳教育及び安全教育の視点から情報モラル教育を考えることの必要性を指摘
- ・ 児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育カリキュラムの具体例の提示

京都府

日時	平成 19 年 2 月 15 日
開催場所	マリアージュ福知山
参加人数	68 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 京都
フォーラムの狙い	情報モラルの指導の充実のため、学校教育における位置づけを示すとともに、情報モラルの育成に取り組んでいる先進的な実践例等を学ぶ機会とする。
1 部 講演	京都教育大学教育学部教授 沖花 彰 「学校教育における情報モラルの位置づけとその指導のあり方」

2部 講演	鹿児島県志布志町教育委員会参事兼指導主事 辻 慎一郎 「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」
3部 講演	茨城県つくば市立荃崎第一小学校 坂本 小百合 「効果的な情報モラル指導のポイント」

<講演の概要>

「学校教育における情報モラルの位置づけとその指導のあり方」

- ・ 社会の急速な情報化の流れの中で子どもたちが育っている現状を多くの実証データをもとに分かりやすく示された。そして、「子どもも教師も保護者も同じ情報社会の一員として共に学び、適応能力を育てていくことが大切である」という重要な視点を示された上で、具体的な指導内容について説明された。

「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」

- ・ 学校及び教育委員会での実践をもとに「情報モラルの学習に使えるサイト」を活用した体験的な学習の進め方やPTAでのワークショップ等の指導案が紹介された。また、先進的な取組として群馬県の小野上小学校の情報モラル指導の取組など数多くの資料や実践事例が紹介された。

「効果的な情報モラル指導のポイント」

- ・ これまでの道徳教育を基盤として、情報モラルの指導のねらいを「自分の身を守る、相手を思いやる、公共心・公德心を育む」の3つの柱に整理していることが説明された。そして次に、学校全体での情報モラル指導の取組や日常生活との関連を生かした授業の工夫などが報告された。

<考察>

本フォーラムにより、情報モラルの指導は、今や「子どもたちの日常生活に関わる身近で重大な課題」であり、教師・学校だけでなく、保護者・地域が積極的に取り組んでいく必要があるとの思いがより一層強まった。

また、「情報モラルの指導」と言うと難しく考えがちになるが、まず日々の教育活動や生活の中でできることから始めて、それらを少しずつ広げていくことが大切であるという視点が示されたことから、今後はそれらを生かして情報モラルの指導の普及を図っていきたいと考えている。

新潟県

日時	平成19年2月21日
開催場所	アトリウム長岡
参加人数	113人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 新潟 ー育てよう情報モラル・防ごうサイバー犯罪ー

フォーラムの狙い	情報社会の光と陰について学び、児童・生徒の情報モラル育成の必要性について理解を深めるとともに、教科「情報」担当者の指導力向上を図る。
1部 講演	群馬大学 社会情報学部大学院教授 下田 博次 「子ども達が生きる情報メディア環境の構造変化」
2部 講演	新潟県警察本部生活安全企画課警部 大嶋 隆義 「サイバー犯罪と児童・生徒の犯罪被害について」
3部 講演	東京都立町田高等学校教諭 小原 格 「教科情報における情報モラル育成実践について」

<講演の概要>

「子ども達が生きる情報メディア環境の構造変化」

- ・現在の極めて危険な情報メディア環境
- ・携帯電話によるインターネット利用の、想像を越えた急速な深刻化
- ・マスメディアからパーソナルメディアへの構造変化に対する社会の認識不足
- ・子どもたちに「判断力、自制力、責任力」を培う必要性

「サイバー犯罪と児童・生徒の犯罪被害について」

- ・児童生徒がインターネット利用により被害を受けた実例
- ・メールアドレスを詐称する「なりすまし」
- ・県内小学校掲示板への書き込み被害
- ・インターネット上の誹謗中傷等を犯罪として立件する難しさ
- ・家庭と学校の連携の在り方

「教科情報における情報モラル育成実践について」

- ・教科「情報」の年間カリキュラムにおける情報モラル教育の位置付け
- ・メール文の信頼性についての授業実践例
- ・新聞社のHP比較による情報伝達についての授業実践例
- ・アンケート学習についての授業実践例
- ・総合実習についての授業実践例

<考察>

参加者を高等学校の教科情報担当者を中心としたことで、内容を焦点化することができたと思う。次年度も可能であれば是非このフォーラムを開催したい。

2. 「情報モラル等の指導を普及するフォーラム」開催効果の波及

本フォーラムの参加者が、各学校に戻りその成果を伝達し、活用されることが望ましいが、各開催県からの報告は以下のとおりである。このフォーラム参加者に限り実際に各学校で校内研修会・勉強会が開かれ、かつ実際に情報モラル等の指導を含む授業を行い、またこれから実施する計画を立案していることが分かった。

このようなことから、本フォーラムは情報モラル等の指導を普及するための非常に効果が高いことが分かる。

愛知県

18年度に情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校は66校（参加者のいる学校比で22%）、情報モラル等の指導を含む授業を行った学校は165校（参加者のいる学校比で54%）に上った。

このフォーラムに参加した教員が情報モラル等の指導を含む授業を行った学校は参加者の50%の学校で行われた。

このフォーラム開催以降、愛知県総合教育センター主催の県内高等学校全員を対象とした「県立教頭研修」において情報モラルを含む研修を行った（参加者78名）。

また、県立高校で希望する学校の教職員を対象とした「県立学校情報教育推進巡回講座」においても実施した（7校）。

19年度は、県総合教育センターで以下の9研修で情報モラルの指導計画の作成を予定している。県立学校教頭研修、県立学校情報教育推進巡回講座、（小中学校）県立新任教務主任研修、県立学校情報化推進研修、ICT能力向上研修、小学校研修、中学初任者研修、高等学校初任者研修、特別支援学校初任者研修。

全参加者 303 名		小学校・中学校・高等学校	教育委員会
平成18年度	・情報モラルに関する校内研修を開催した教育委員会		13
	・情報モラル（フォーラム参加者）のいる学校 情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校	66校	
	情報モラル等の指導を含む授業を行った学校	165校	
	・情報モラルフォーラムに参加された先生が実施した 情報モラル等の指導を含む授業を行った人数	155名	
	・フォーラム以降の愛知県総合教育センター主催の研修について 県内の高等学校の教頭全員を対象とした「県立教頭研修」において実施した	78名	

県立高校で希望する学校の教職員を対象とした「県立学校情報教育推進巡回講座」において実施	7校	
<ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会として、県総合教育センターで情報モラルの指導計画作成を予定している 県立学校教頭研修、県立学校情報教育推進巡回講座（小中学校）、県立新任教務主任研修、県立学校情報化推進研修、ICT能力向上研修、小学校研修、中学初任者研修、高等学校初任者研修、特別支援学校初任者研修 		9研修

群馬県

県下の小・中・高等学校の学校として情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校は18年度85校、19年度は124校が計画している。

情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している学校は18年度は91校、19年度は139校が計画している。

フォーラムに参加した教員が18年度に情報モラル等の指導を含む授業を実施した人数は91名であり、19年度はフォーラムに参加した教員の154名が授業をすることを立案・計画している。

さらに県教育委員会としても、県主催のICT利用推進委員会を設置し、情報モラル等に関する指導の充実を図る予定にしている

	全参加者 271名	小学校・中学校・高等学校
平成18年度	・県内、小・中・高等学校の学校として 情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校	85校
	情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している学校	91校
	・フォーラムに参加された先生が 情報モラル等の指導を含む授業を実施した人数	91名
平成19年度	・県内、小・中・高等学校の学校として 情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を予定している学校	124校
	情報モラル等の指導を含む授業の実施を立案する予定している学校	139校
	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムに参加された先生が 情報モラル等の指導を含む授業を立案している人数 ・県教育委員会として 県主催のICT利用推進委員会を設置し、情報モラル等に関する指導の充実を図る予定 	154名

大阪府

18年度に情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校は小・中学校 54校、高等学校 24校、情報モラル等の指導を含む授業を行った学校は小・中学校 80校、高等学校 90校、情報モラル等の指導の授業計画等を作成した学校は小・中学校 44校、高等学校 41校に上った。

府内教育委員会としても18年度「情報モラル指導資料<H14年度作成>」の増補改訂、「小・中学校の各教科における情報モラルに関する指導」調査を実施し、19年度は小・中学校IT活用教育推進協議会において小中学校向け「情報モラル指導資料」の作成、大阪府教育委員会職員eラーニング研修システムで「情報モラル」関連講座を増設予定。

全参加者 338名		小学校・ 中学校	高等 学校	教育 委員 会
平成 18 年 度	・情報モラルフォーラムに参加した教職員・学校教職員 情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校	54校	24校	
	情報モラル等の指導を含む授業を行った学校	80校	90校	
	情報モラル等の指導の指導計画等を作成した学校	44校	41校	
	情報モラル等の指導に関する教員向け研修会の開催の必要を感じ研修を実施している市町村教育委員会			30
	情報モラル等の指導に関する指導方針策定及び見直している市町村教育委員会			15
	・府内教育委員会の動き 情報モラル指導資料<H14年度作成>増補改訂 「小・中学校の各教科における情報モラルに関する指導」調査を実施			
平成 19 年 度	・府内教育委員会の動き 小・中学校IT活用教育推進協議会において、小中学校向け「情報モラル指導資料」の作成 大阪府教育委員会職員eラーニング研修システムで「情報モラル」関連講座を増設予定			

徳島県

県下の小学校、中学校における情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校は18年度は111校（参加者のいる学校比で50%）、19年度は現在までに予定している学校が78校（参加者のいる学校比で35%）にあがっている。18年度に情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している学校53校（参加者のいる学校比で24%）、授業を実際に実施した学校が77校（参加者のいる学校比で35%）ある。現在までに、19年度に授業の実施を予定している学校86校（参加者のいる学校

比で 39%) になっている。市町村教育委員会からの参加者は 10 名だったが、管内の学校・教員に対して情報モラルに関する研修会の開催は 18 年度は 2 件、19 年度にも 2 件予定されている。

また、管内の学校・教員に対して、情報モラル教育推進のための事業・施策の 18 年度、19 年度それぞれ 2 件の事業があった。

さらに、県教育委員会として、県総合教育センターが主催する情報教育関係の全ての研修講座において情報モラルに関する内容を指導することにした。

	全参加者 220 名	小学校・中学校・高等学校	教育委員会
平成 18 年度	情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校	111 校	
	情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している学校	53 校	
	情報モラル等の指導を含む授業を実施した学校	77 校	
	管内の学校・教員に対して、情報モラルに関する研修会等を開催した		2
	管内の学校・教員に対して、情報モラル教育推進のための事業や施策を実施している		2
平成 19 年度	情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を予定している学校	78 校	
	情報モラル等の指導を含む授業の実施を予定している学校	86 校	
	管内の学校・教員に対して、情報モラルに関する研修会等を予定している		2
	管内の学校・教員に対して、情報モラル教育推進のための事業や施策を実施している		2
	・県教育委員会として、県総合教育センターで主催する情報教育関係の全ての研修講座において情報モラルに関する内容を指導する予定		

大分県

18 年度に情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した小中学校は 27 校、情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している小中学校は 24 校、情報モラル等の指導を含む授業を実施した小中学校は 29 校に上り、19 年度は情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を予定している小中学校は 38 校、情報モラル等の指導を含む授業の実施を予定している小中学校は 36 校が予定している。

また、コンピュータやインターネットの校内運用規定の改定を 18 年度 12 校、19 年度 30 校で実施した。

	全参加者 449名	小学校・中学校・高等学校
平成18年度	情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を開催した学校	27校
	情報モラル等の指導を含む授業計画を立案している学校	24校
	情報モラル等の指導を含む授業を実施した学校	29校
	・コンピュータやインターネットの校内運用規定の改定を実施	12校
平成19年度	情報モラルに関する校内研修会や勉強会、報告会を予定している学校	38校
	情報モラル等の指導を含む授業の実施を予定している学校	36校
	・コンピュータやインターネットの校内運用規定の改定を実施	30校

宮崎県

18年度は県教育委員会としては、小・中・高等学校の情報担当者を対象に「情報セキュリティ対策」、「個人情報保護」、「サイバー犯罪」の説明会を実施。教育研修センターでは教職員を対象に情報モラル等に関する講座を通年で実施した。

19年度は県教育委員会としては、各学校の情報担当者を対象に、情報通信ネットワーク利用に係る情報モラルやセキュリティ対策及び校内組織の在り方等について運用管理説明会と県立学校の情報担当者を対象に教育課程説明会において、情報モラル等に関する指導計画への反映等の説明を実施予定している。

教育研修センターとしても教職員を対象に情報モラル等に関する講座を通年で実施予定。地域に向き、教職員を対象に情報モラル等に関する研修を実施予定。

県内小、中、高等学校25校で情報モラル等に校内研修会を実施予定としている。他、ほぼ全校で情報モラル等に校内研修会を実施予定。

	全参加者 268名
平成18年度	県教育委員会（教育研修センター）として ・小・中・県立学校の情報担当者を対象に「情報セキュリティ対策」、「個人情報保護」、「サイバー犯罪」の情報モラル等に関する説明会を実施した。
	教育研修センターとして ・教職員を対象に情報モラル等に関する講座を通年で実施している。

平成 19 年 度	県教育委員会（教育研修センター）として ・各学校の情報担当者を対象に、情報通信ネットワーク利用に係る情報モラルやセキュリティ対策及び校内組織の在り方等について運用管理説明会を実施予定である
	県教育委員会として ・県立学校の情報担当者を対象に教育課程説明会において、情報モラル等に関する指導計画への反映等の説明を実施予定である。
	教育研修センターとして ・教職員を対象に情報モラル等に関する講座を通年で実施予定である。 ・地域に出向き、教職員を対象に情報モラル等に関する研修を実施予定である。
	県内小、中、高等学校の各学校として ・情報モラル等に校内研修会を実施予定している学校数 58校
	・情報モラル等の指導を含む授業計画の立案をしている学校 ほぼ全学校

東京都

18年度に情報モラルの授業を実施した学校は43校、フォーラム参加後、情報モラル等の指導を実施した人数47名と約30%で実施した。

19年度は、「情報教育開発委員会」を設置し、小学校、中学校、高等学校及び盲・ろう・養護学校から各2名(合計8名)の委員を委嘱して、情報モラルの指導に関する研究を行う予定。

	全参加者 159名	小学校・中学校・高等学校
平成 18 年 度	情報モラル等の指導を含む授業を実施した学校	43校
	フォーラム参加後、情報モラル等の指導を含む授業を実施した人数	47名
平成 19 年 度	「情報教育開発委員会」を設置し、小学校、中学校、高等学校及び盲・ろう・養護学校から各2名(合計8名)の委員を委嘱して、情報モラルの指導に関する研究を行い、平成19年度末に成果を公開する予定である。	

京都府

18年度は、フォーラムに参加した学校の中でこれまでに情報モラルの授業を行った学校は26.3%あったが、本フォーラム終了後情報モラルの授業を行った学校は22.8%、授業の実施予定が同じく22.8%と参加者の72%に上がっている。

また、本フォーラム参加された教員では、これまでに情報モラルの授業を行った教員は26.3%と同数であったが、本フォーラム参加後授業を実施された教員が24.6%と2ポイントの増であった。授業の実施予定は15.8%であった。小学校ではプライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーの育成。

19年度は府教育委員会として、情報モラルに関する指導の充実に努めるよう「平成19年度指導の重点」において以下の校種別目標を明記し、発達段階に合わせた系統的な指導を予定している。校種別の目標としては中学校では情報化の影の部分についての理解の深化と情報モラルの育成。高等学校では多様な目的のための情報活用能力の育成と情報通信ネットワークなどの活用に伴う倫理観の育成などを予定している。

他に京都府教育情報ポータルサイトにおいて、情報提供や教員同士の意見交流を実施し情報モラルの授業等に役立てる予定にしている。

	全参加者 68名	小学校・中学校 校・高等学校
平成18年度	フォーラムに参加された先生方の学校において	
	これまでに情報モラル等の授業を行ったことがある	26.30%
	現在、情報モラル等の授業を行っている	22.80%
	今後、情報モラル等の授業を実施する予定である	22.80%
	フォーラムに参加された先生が	
	これまでに情報モラル等の授業を行ったことがある	26.30%
平成19年度	現在、情報モラル等の授業を行っている	24.60%
	今後、情報モラル等の授業を実施する予定である	15.80%
	府教育委員会として	
	情報モラルに関する指導の充実に努めるよう「平成19年度指導の重点」において以下の校種別目標を明記し、発達段階に合わせた系統的な指導を行う。	
	小学校・・・プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーの育成	
	中学校・・・情報化の影の部分についての理解の深化と情報モラルの育成	
	高等学校・・・多様な目的のための情報活用能力の育成と情報通信ネットワークなどの活用に伴う倫理観の育成	

京都府教育情報ポータルサイトにおいて、情報提供や教員同士の意見交流を実施し情報モラルの授業等に役立てる。
京都府が公開している「京都府情報モラルポータルサイト」を活用し、情報モラルの啓発や育成に関する府の施策や行事等の情報や相談窓口などの機能を保護者や地域社会の啓発活動、また学校での指導に生かす。

新潟県

18年度は教育委員会として情報モラルの育成とセキュリティ対策の向上を図る講座を実施。情報モラル育成の在り方とセキュリティ対策について理解を深めた。また、高等学校初任者研修において教育センター研修12日のうち1日を情報教育研修にあて、情報モラルと著作権について、実践的指導力の向上を目指す。

19年度は県教育委員会が主催する各教科等研究協議会において、教科「情報」の実践発表を行う。対象者は県立高等学校、県立中等教育学校の教科「情報」担当教員各校一名、発表者3名を予定。

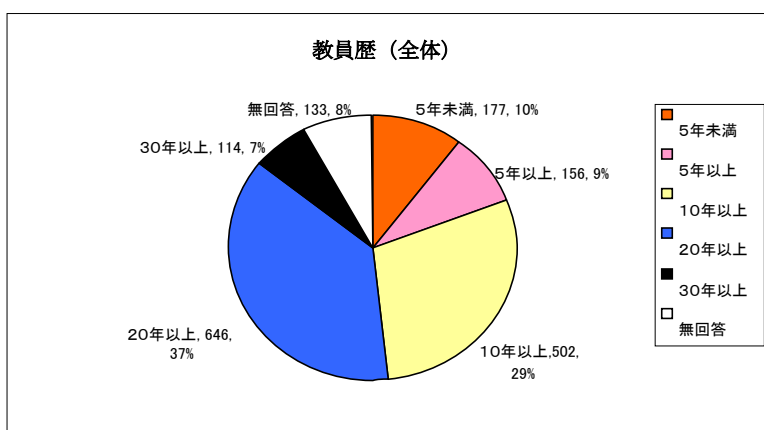
平成18年度	全参加者 113名
	情報モラルの育成とセキュリティ対策の向上を図る講座 情報モラル育成の在り方とセキュリティ対策について講義を通して理解を深め、「教育の情報化」の実現を目指すための資質と指導力の向上を図る。
平成19年度	高等学校初任者研修 教育センター研修12日のうち1日を情報教育研修にあて、情報モラルと著作権について、実践的指導力の習得を図る
	県教育委員会が主催する各教科等研究協議会において、教科「情報」の実践発表を行う。
平成19年度	対象 県立高等学校、県立中等教育学校の教科「情報」担当教員各校1名
	発表者 3名を予定

3. 参加者アンケート結果について

全フォーラム会場の参加者合計は 2,189 名であるが、有効アンケート数は 1,728 名であり、回収率 78.9%となった。

開催会場別にみると、群馬県の 63.1%から新潟県の 92.9%まで開催会場によって大きな差がでてしまった。

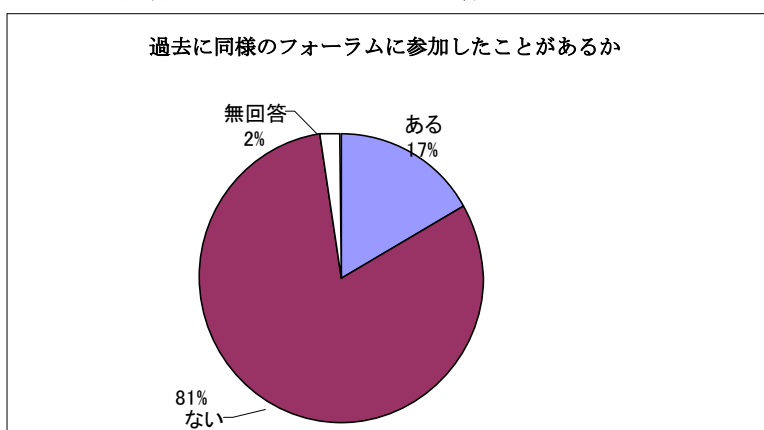
1. 受講者プロフィール



3. 本フォーラムの全般についてお尋ねします。

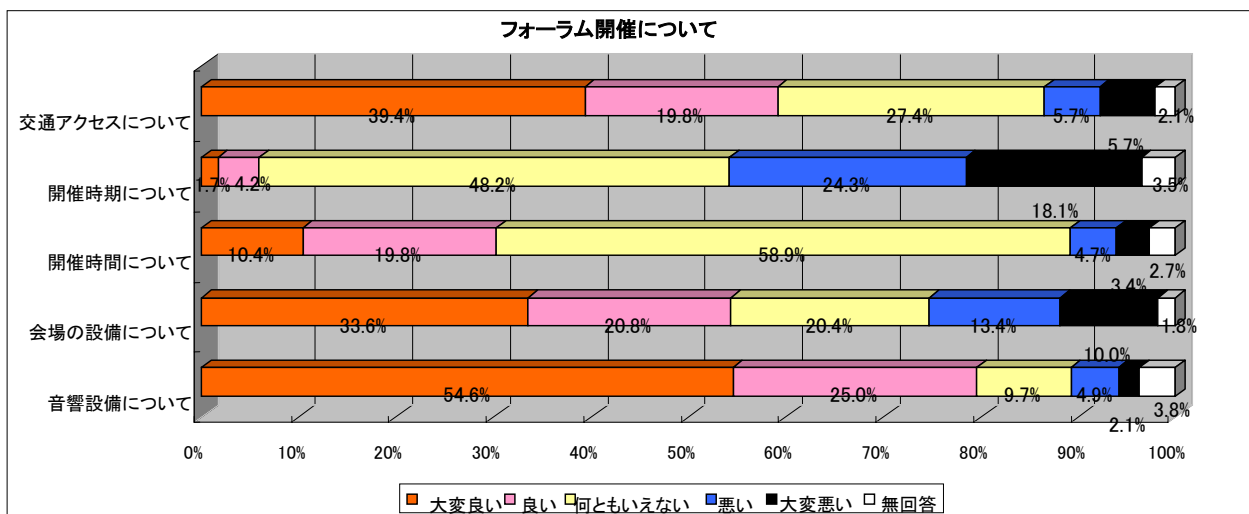
3-1. フォーラムの開催についてお尋ねします。

・過去に同様のフォーラムに参加の有無



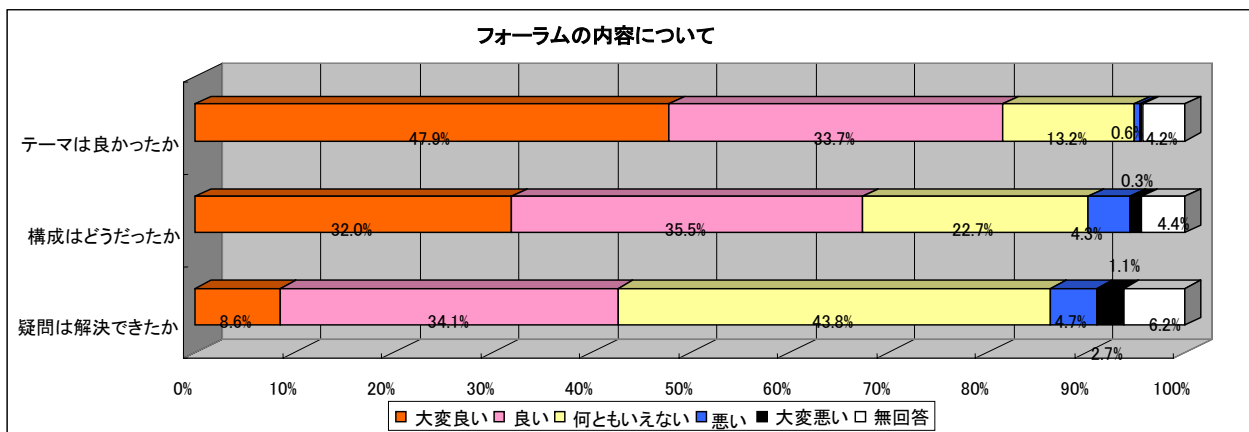
今回のような情報モラルに関するフォーラムに過去参加したことがあるか質問に対し、2割弱しか参加したことがなく、参加者の約8割は情報モラルに関するフォーラムに参加したことがなかった。

・開催場所・時期、会場の設備について



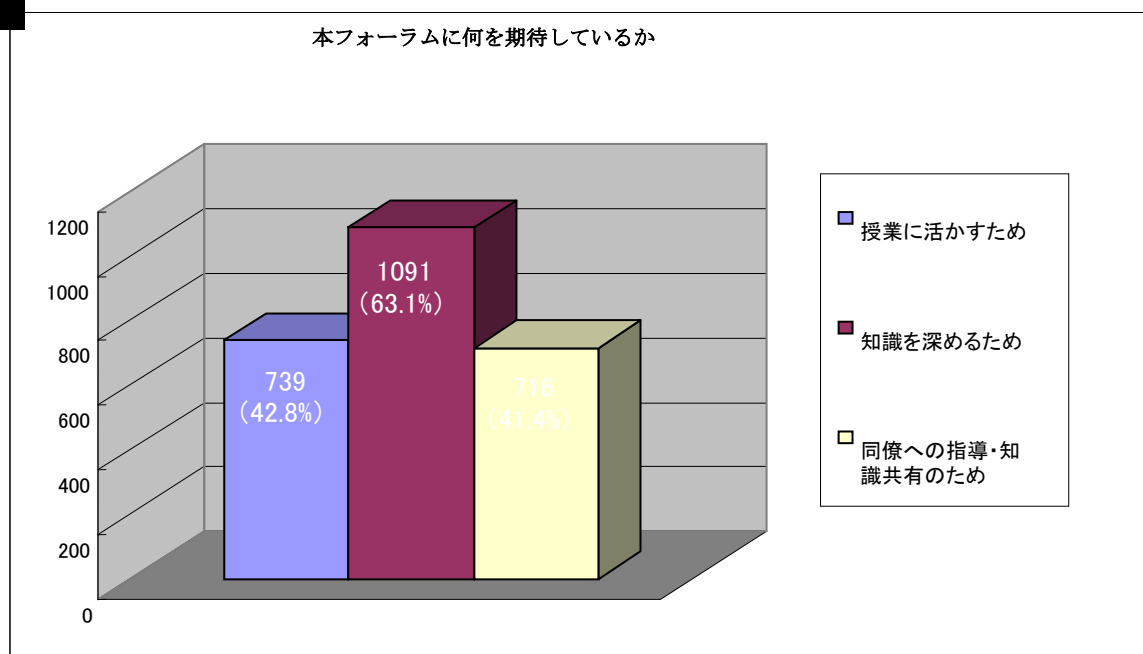
全会場で共通の意見として、開催時期の回答が非常に悪かった。どの会場の参加者も「多忙の時期からは外してほしい」「夏休みなどにしてほしい」という意見が多く出た。

・ 3-2. フォーラムの内容についてお聞きします。



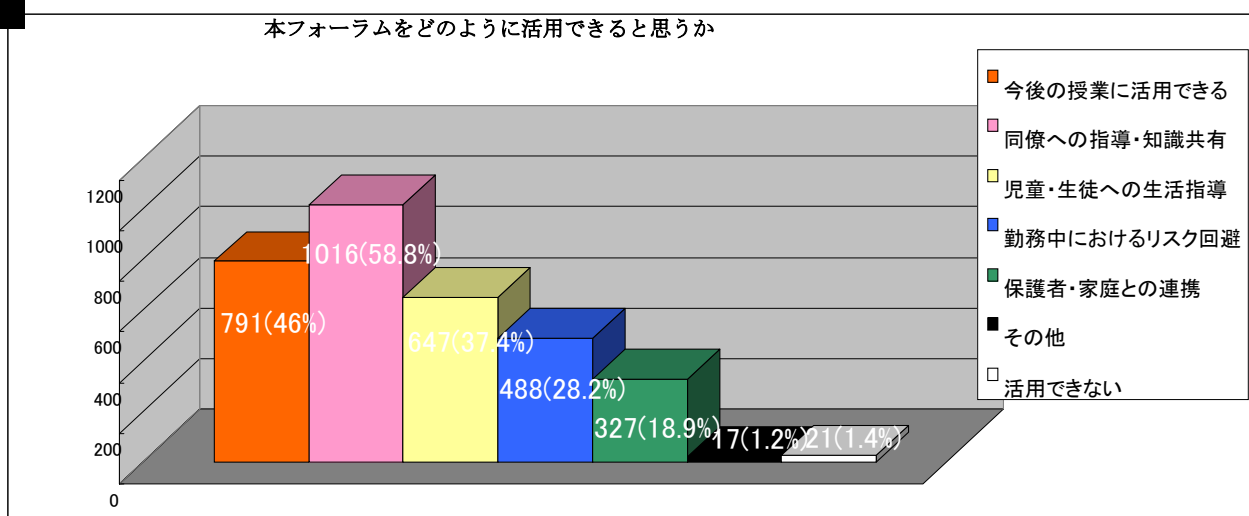
フォーラム全体に対する評価において、「テーマは良かったか」の設問に対する解答が、約8割の参加者から「良い」以上の評価を得ることができた。また、「構成はどうだったか」についても7割弱の参加者から「良い」以上の回答を得た。しかしながら、疑問が解決できたかについては解決できていないとした意見も多く見られ、参加者が疑問に感じていることはどのようなものであるか調査することとし、37ページ以降にその調査結果を示す。

- ・ 本フォーラムに何を期待して来られましたか（複数回答可）



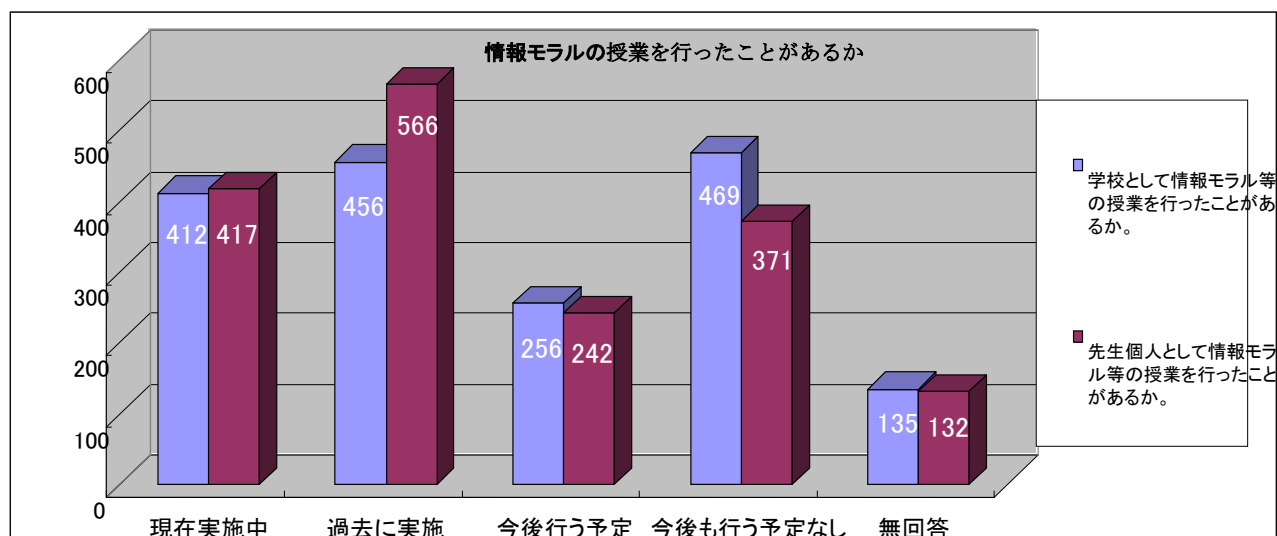
参加者の情報フォーラム参加目的について回答を求めたところ、「知識を深めるため」の意見が最も多く、「授業に活かすため」「同僚への指導・知識共有のため」については同等の意見数であった。

- ・ 本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。（複数回答可）



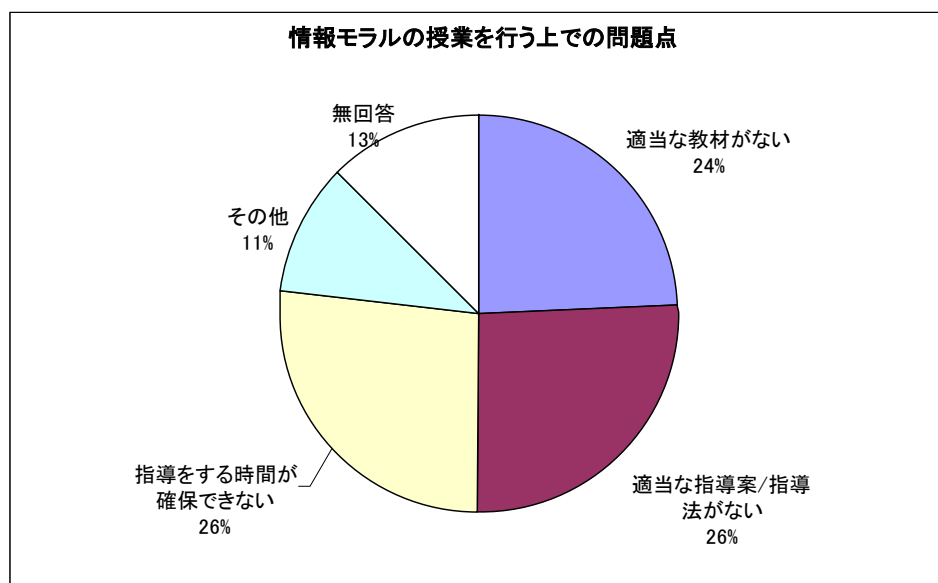
本質問も上記の回答と同様に「同僚への指導・知識共有」が最も多い回答であった。

- ・ 情報モラル等をテーマにした授業を行った（取り組んだ）ことがありますか。



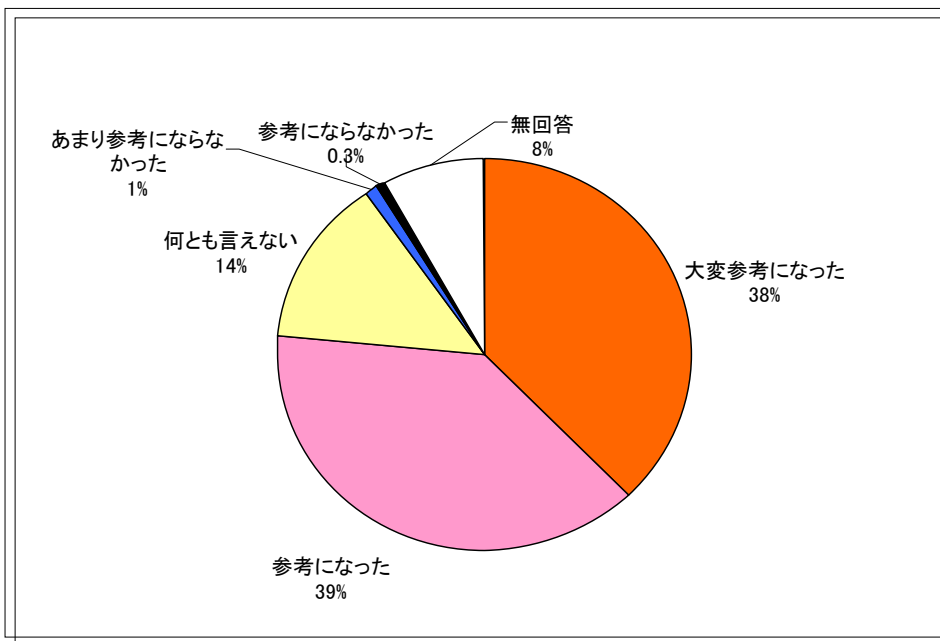
情報モラルの指導状況について問うたところ、現在もしくは過去に行っている意見が50%を占めた。しかしながら、未実施の学校教師の内30%弱が「今後行う予定なし」と回答した。

- ・ 情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。



情報モラルで最も問題となるのは、「指導する時間を確保することができない」ということ、「適切な教材がない」や「指導案／指導法がない」こととほぼ同数であった。情報モラルの授業や指導を普及するためには、教材や指導方法を開拓することが重要であるが、そのための先生の時間確保も大変重要な項目であることが明確になった。

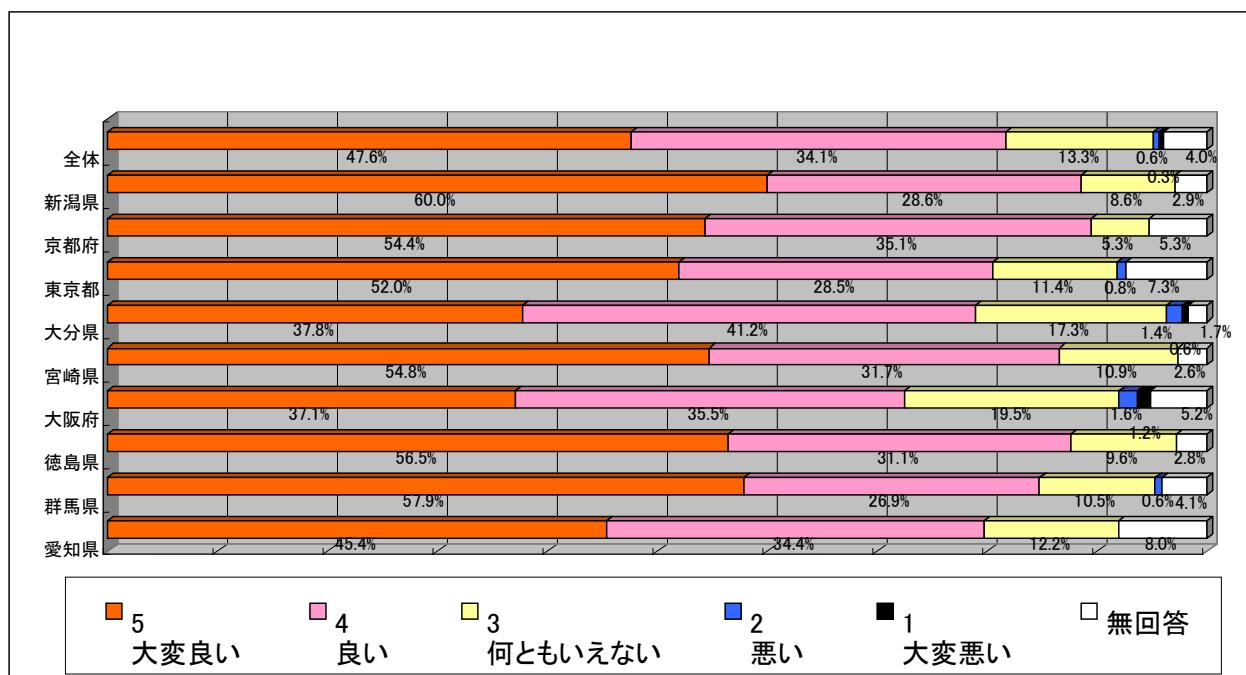
- ・ 本フォーラムは今後校内で情報モラル等の授業実践をする上で参考になりましたか。



「今後校内で情報モラル等を授業実践する上で参加になりますか」については、7割強の参加者が「参考になった」以上を占めた。

3-2. 普及フォーラムの内容についてお聞きします。

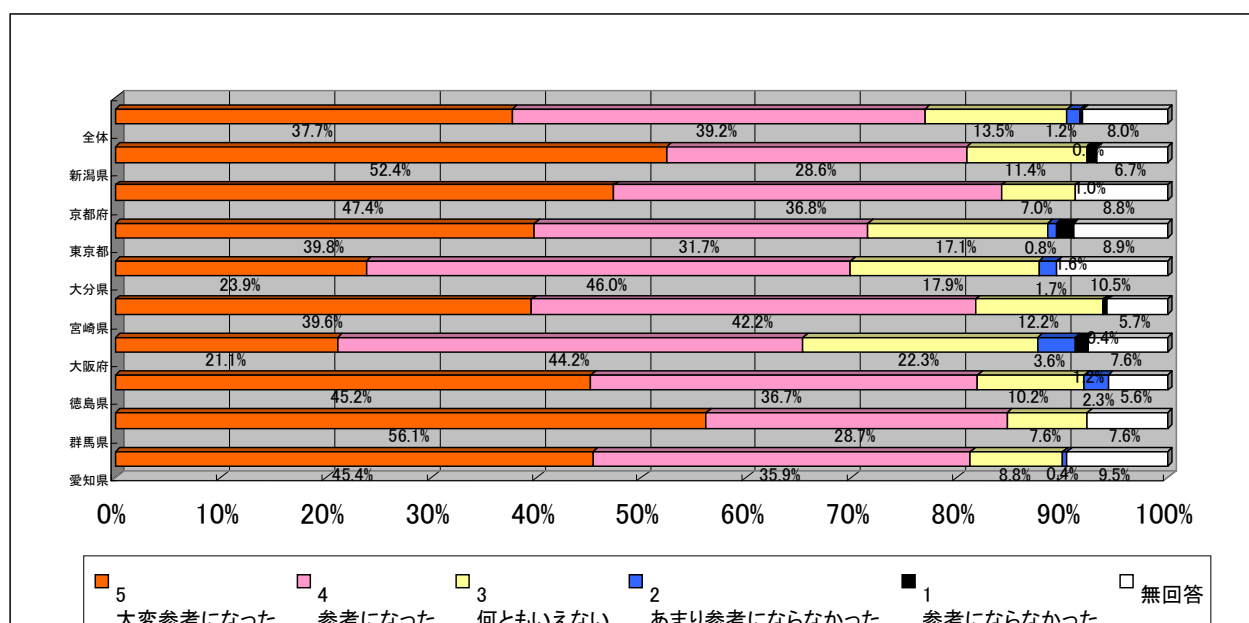
- ・ フォーラムのテーマは良かったですか（開催地別）



フォーラムの全体評価を行うために、全会場の集計を行った。これによると、「大変良い」の回答を見ると新潟県の評価が最も高く、次いで群馬県、徳島県と続き高い評価を得た。評価の詳細を分析し、評価の高かった3県の理由を鑑みたところ、事例紹介が多く且つ即実践できるものであったことがその理由として上げられた。評価の上がらなかった開催地域では事例数が少なかったこと、事例内容が具体的ではなかったことのアンケート結果が得られている。また、会場設備が整っていない等もフォーラムの評価に悪影響を及ぼした。

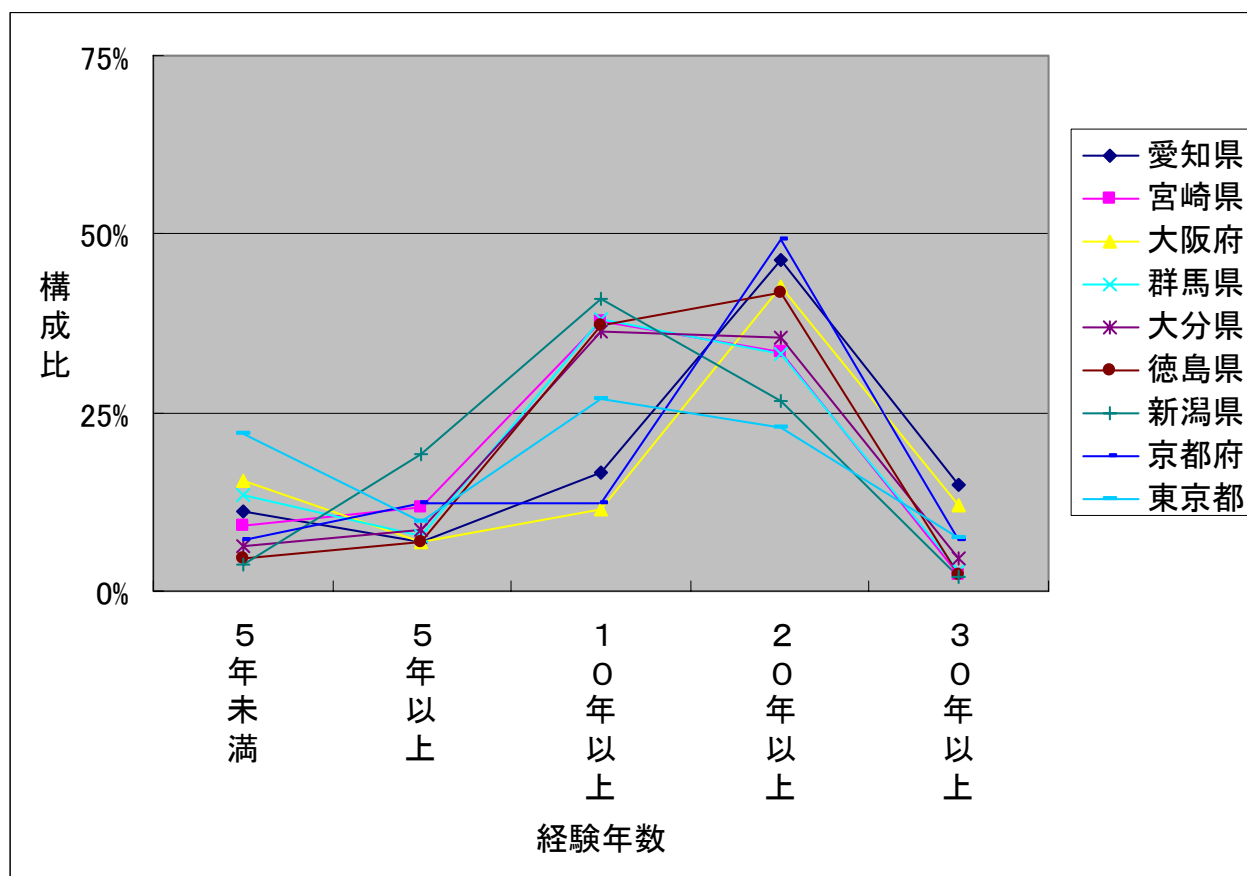
3-3. 情報モラル等の指導についてお聞きします。

- ・本フォーラムは今後校内で情報モラル等の授業実践をする上で参考になりましたか。(開催地別)



本項目では、本フォーラムが「今後の授業で参考になるか」質問を行った。その結果、Iの設問と同様に「大変参考になった」の回答が群馬県と新潟県で高い数値を出した。この背景には、事例数が多いこと共に事例内容が具体的且つ即実践に繋がるものであったことが考えられ、参加者は参加目的として授業に参考になるものを期待していると考えられる。

4. 参加者の経験年数別構成



各会場別の教員歴の構成分布は上記のとおりである。

各会場とも参加した主たる期待は知識を得るためと回答したことがもっとも多いが、同じフォーラムに参加しても、教員歴10年未満と10年以上の教員では違うことが示された。

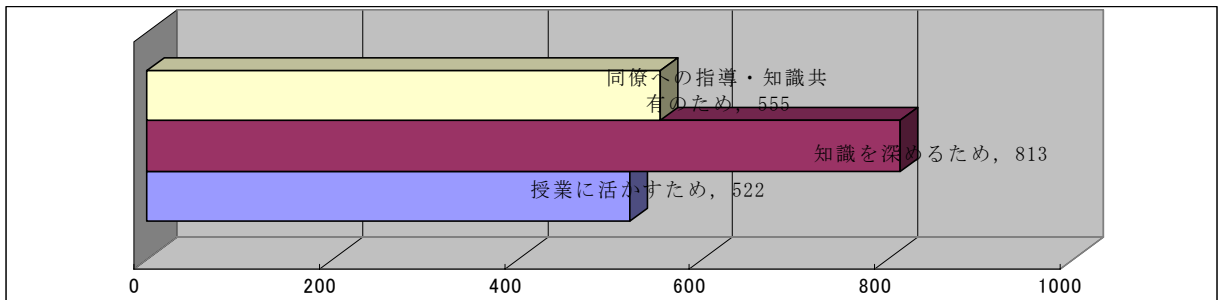
本フォーラムにおいて、10年未満のものは授業に生かせるものを得ることを期待して参加している者が多いのに対し、10年以上の者は同僚への指導・知識共有するためという期待をして参加しているのが多くなっている。

また、フォーラム終了後どのように活用できるかとの設問に対し、教員歴10年未満の者は今後の授業に活用できると回答した者がもっとも多く、教員歴10年以上の者は同僚への指導・知識共有に活用できると回答した者がもっとも多い。

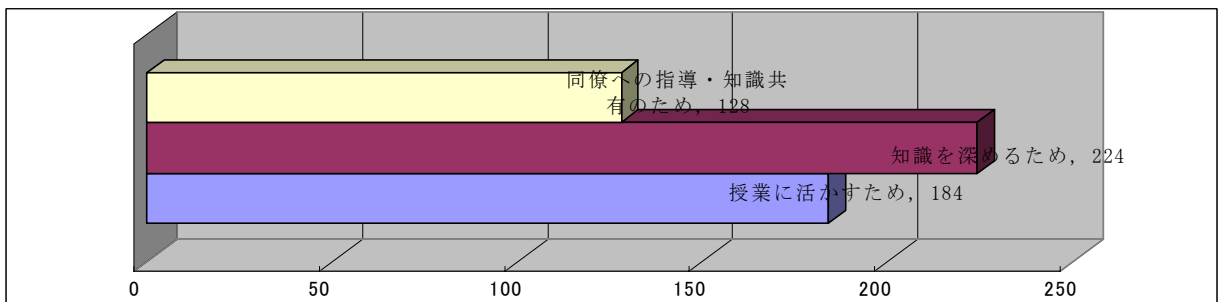
このことから本フォーラムでは、教員歴の短いもの、長いもの双方にとっても役立つ適切な内容になっており、理想的な構成・内容になっているものといえる。

・本フォーラムに何を期待して参加したか（複数回答）

10年以上

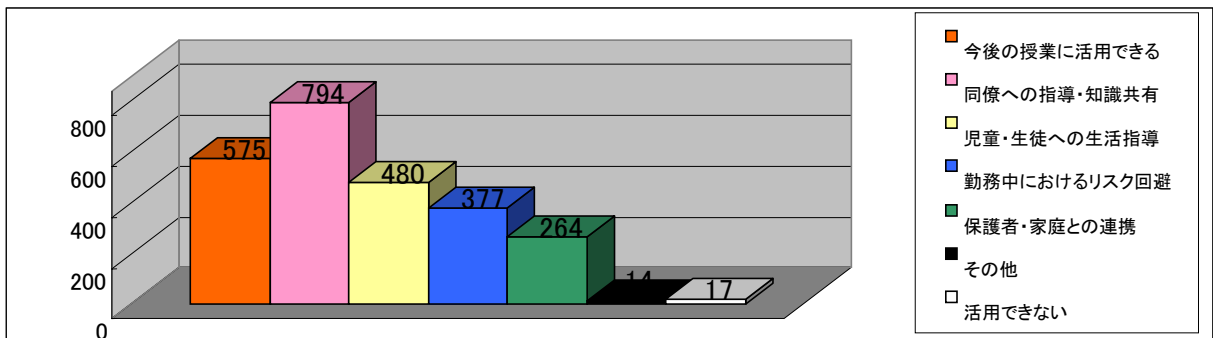


10年未満

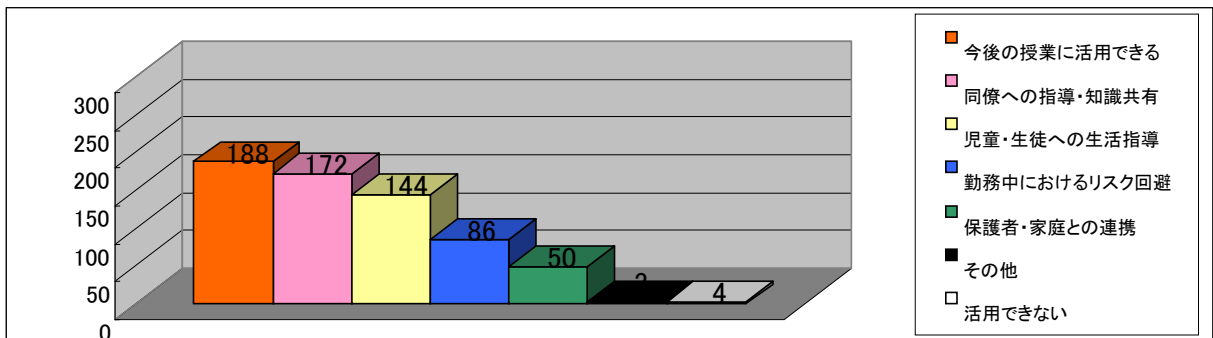


・本フォーラムをどのように活用できると感じたか。（複数回答）

10年以上

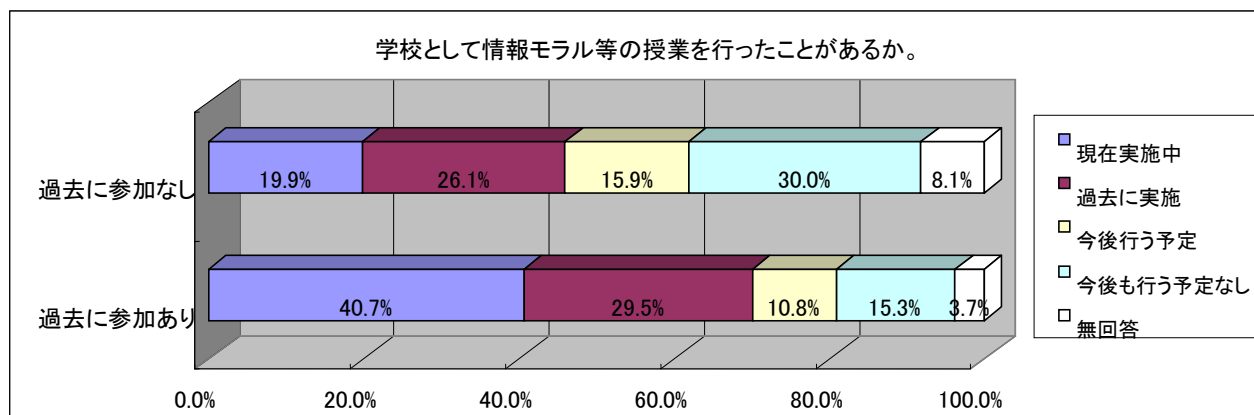


10年未満

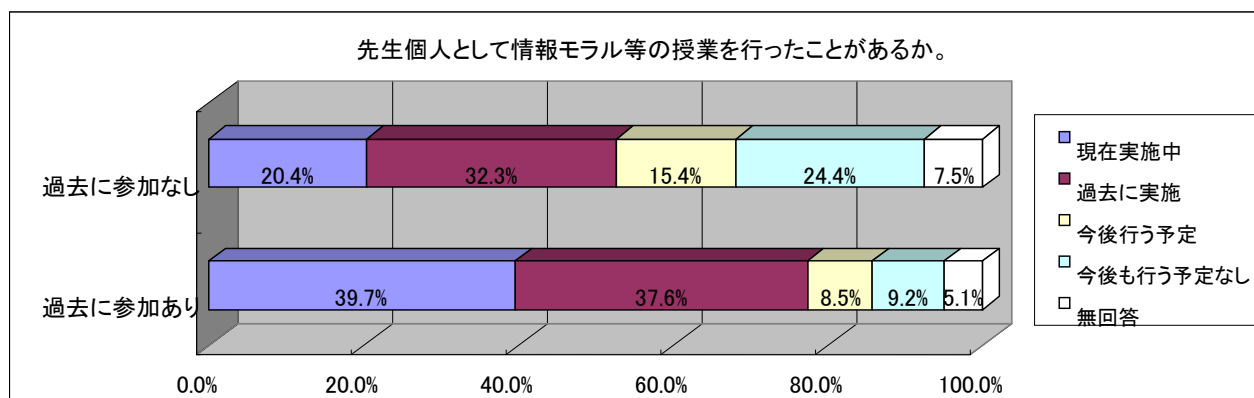


5. 過去に情報モラル等のフォーラムに参加したことが「ある人」と「ない人」との比較

- ・学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。



- ・先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。

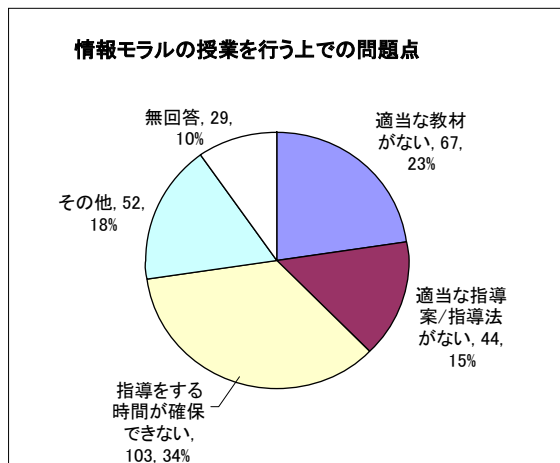


今回のフォーラムではアンケート集計において、過去に情報モラル等のフォーラムに参加したことが「ある」か「ない」の設問を設けた。フォーラムに参加することが、参加者に対しその後なんらかの影響を及ぼしているかどうか調査するためのものであった。その結果、顕著な差が出ることになった。上記の設問のように、設問の一つに学校もしくは個人として情報モラルの授業を行ったことがあるか回答を求めた。それを集計すると、過去に同様のフォーラムに参加した者は、過去に参加したことがない人に比べ、何らかの形で情報モラルの授業を行っていることがわかった。

一方で、「今後も情報モラルの授業を行う予定がない」という意見は、過去に同様のフォーラムに参加したことがない人たちに多く見られ、この結果においても、フォーラムを行うことは参加者に対し効果的な影響を及ぼしていることが確認できた。

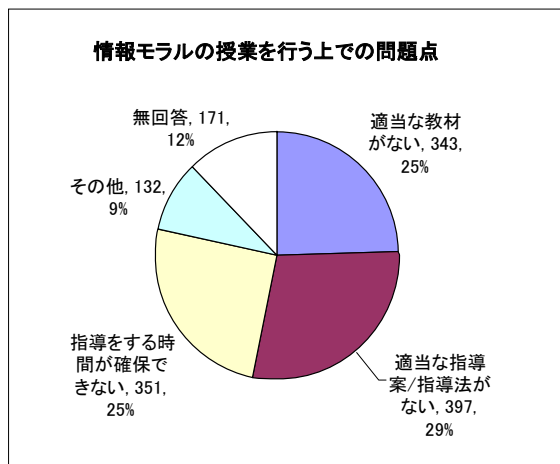
過去に参加したことがある者

- ・情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思うか。



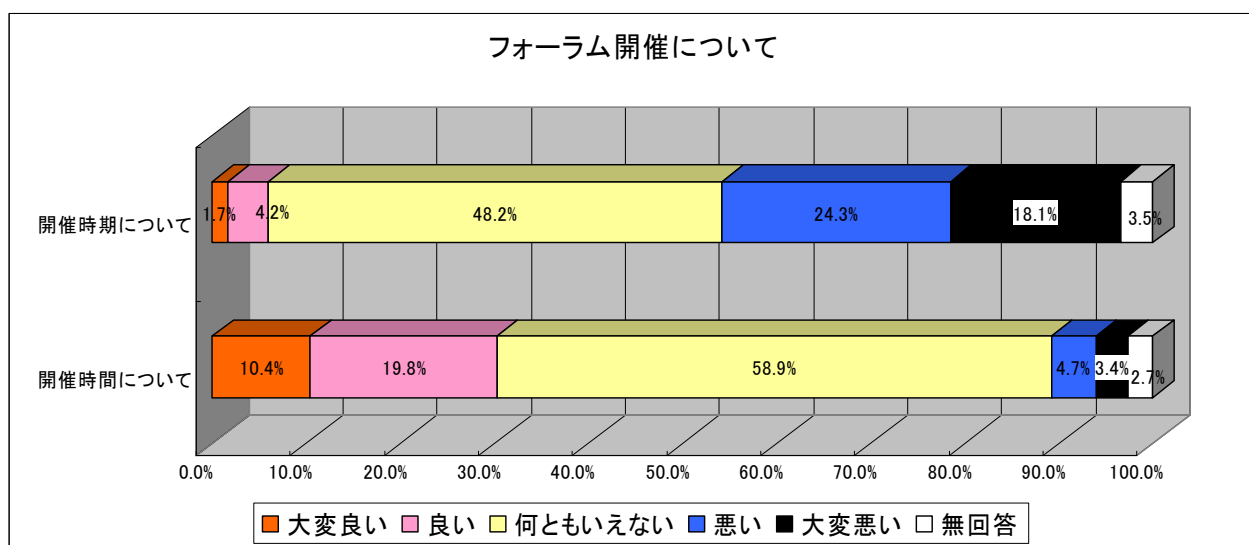
過去に参加したことがない者

- ・情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思うか。



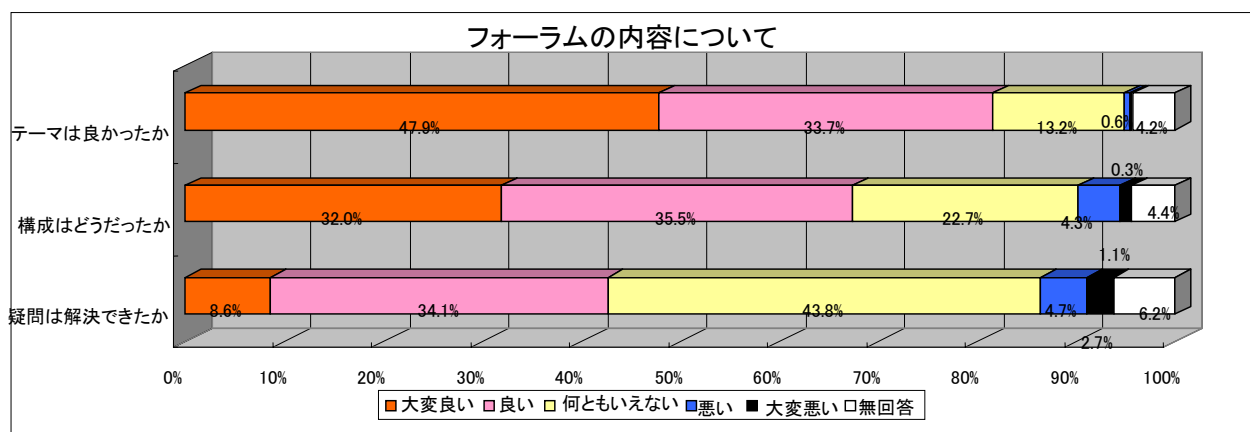
本項目では、前述の設問と同様に過去に情報モラル等のフォーラムに参加したことが「ある」と「ない」人で大別し、「情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思うか」の設問を設けた。その結果、過去に参加したことがない人は「適切な教材がない」「適切な指導方法がない」「指導する時間がない」がほぼ均一の値を出しているのに比べ、過去に参加したことがある人は、「指導する時間が確保できない」が最も高い数値を表している。これは、フォーラムに参加したことで、教材や指導法が理解されたからとも考えられる。

6. 開催時期と開催時間について



フォーラムの開催状況についての項目において、開催時間についての設問したところ、「何ともいえない」の意見が約6割であった。また、開催時期についての設問では、「大変よい」「良い」の意見がわずか5%で、「何ともいえない」「悪い」「大変悪い」の合計の9割が開催時期が大部分であるとしている。自由記述には「多忙の時期からは外し、夏休みなどの休暇期間中に行ってほしい」という意見が多く、次回開催時には計画的に研修を行う必要があると考えられる。

7. フォーラムの内容について



本設問においては、フォーラムの内容について回答を求めた。テーマについては、「大変良い」「良い」の割合が8割を超え、フォーラムの評価は高かった。しかしながら、「疑問が解決できたか」という設問では、「何ともいえない」の回答を含めると、約5割の聴講者が「疑問が解決できていない」という回答を選択した。この状況下で、いったい聴講者はどんな疑問を抱いているのかを確認するため京都府、新潟県で疑問はどのようなことかを知るためのアンケート調査を行った。

8. 本フォーラムでの参加者の課題について

8-1. 今回参加され、疑問に思っておられることのうち**解決した**ことはどのようなことでしたか？

京都府

- ・ 具体的な取組方。指導内容がよく理解できた。
- ・ 教科との連携。情報モラルを全教科で指導していく際の考え方及び指導計画
- ・ 職員研修に見通しができた。情報モラルの校内研修のあり方について理解できた。
- ・ 情報モラルを単独で扱うのではなく教科「道徳」「総合的学習の時間」の中に位置づけ指導していく。情報モラルの位置づけが分かった。
- ・ 「情報モラル」の指導にはやはりモラルそのものの指導がベースであることが分かった。
- ・ 「情報」とついてはいるが、そう身構える必要もないのではないかと分かった。
- ・ 情報モラルの指導は早急に行っていく必要を感じた。

- ・ 学校としてどう取り組んでいくのか参考になった。

- ・ 児童・保護者とともに考えていくべき事件・事象と指導課題、連携の方法が具体的に明確になった。

- ・ Web上に資料がたくさんあることが分かった。

- ・ パソコン用語が参考になった。

新潟県

- ・ 情報モラルを指導しないととんでもないことになることが解った。メディア教育の必要性
- ・ 社会の常識がネット上の常識でもある
- ・ 深みにはまっていく過程がよく理解できた。携帯は危険な側面が分かった。
- ・ 情報モラルを授業で行うことによって、生徒自身が気づくようにすることが大切。
- ・ 携帯の責任の所在がはっきりと理解できた。
- ・ 情報モラルの指導法や実践されているものが十分参考になった
- ・ モラル教育の方向性
- ・ 掲示板の書き込みに対する対応等

- ・ 今の授業で間違っていないと思った。
- ・ 本校の取組で間違っていない
- ・ 犯罪の対処について
- ・ 保護者との連携方法が理解できた

- ・ サイバー犯罪の実態
- ・ 携帯の安全性と使用条件
- ・ 生徒にとっての具体的な問題がわかった。
- ・ 自分が思っていた以上に生徒にとってケータイが問題を含んでいることが解った
- ・ 一般的な高校生の携帯電話の利用状況

8-2. 相変わらず疑問として残ってしまったものはどのようなことですか？

京都府

- ・ どの学科でどこまでどのように指導すればよいのか
- ・ 授業時間をどう確保するのか、又、職員研修（校内）の進め方、中心となる指導者の育成が必要なこと。
- ・ 今後の方針を定める材料が不足している。
- ・ 全ての職員と取り組む方策。
- ・ 家庭の啓発・個人差、保護者への学校からのアプローチ。
- ・ モラル教育の事例、トラブルの事例、トラブル対処や対応をもっと多く知りたかった。
- ・ 情報モラルと法との部分。

新潟県

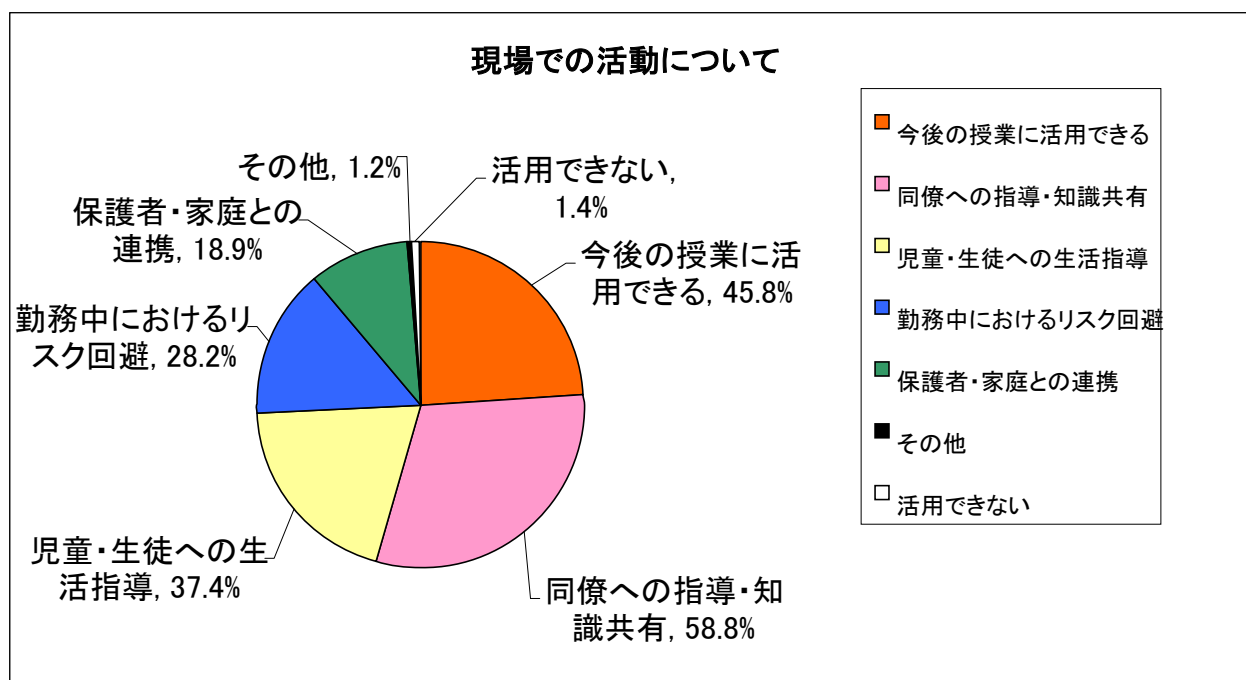
- ・ 校内での携帯電話の取り扱い規則をどのようにしたらよいか
- ・ ネット上の嫌がらせは法律では対応できないのか
- ・ 情報モラルを指導するにあたって具体的指導方法
- ・ 生徒や保護者に対してどのような指導をすればよいか具体的な事例。学校と家庭の区切り、分担はどうするのか
- ・ 危険を理解していない親たちへの対応
- ・ 子どもたちが今現在何をどのようにしたいのか知りたい。
- ・ 携帯電話などの恐ろしさをどのように生徒に理解させるか。情報武装するべきか。どこから手をつけるべきか
- ・ 授業展開による指導法と工夫
- ・ 他教科とリンクした授業を展開する学校があると聞くが、情報専門の教諭の採用（臨免や3

週間研修という即席の対応ではなくきちんとした人的整備) が必要。他教科を教えることは非常に大変。

- ・ 情報モラルは教科「情報」で行うものではないのではないか、道徳？哲学？倫理？等で扱えるのではないか
- ・ 携帯電話から生ずるトラブルの対応
- ・ 掲示板等への書き込みによる内容ほどの程度から犯罪として扱われるのか
- ・ 学校としてどこが主体で動くべきか、生徒指導？P T A？情報？
- ・ 携帯を提供しているメーカーの側が今後の対応や方針はどのようにするのか姿勢を知りたい。

9. 本フォーラムをどのように活用できるか

本フォーラムをどのように活用できると感じたか。(複数回答可)



本質問においては、参加者が本フォーラムをどのように活用できるか質問を行った。その結果、約6割弱の方が「同僚への指導・知識共有」であった。これは10年以上の教員歴を持つ教員（教員歴については下記参照）の参加者が多かったと見られ、学校内での研修も踏まえているため同僚の知識共有の回答が多くなったと考えられる。

10. あとがき

取りまとめのための開催委員会において、共催した各都府県教育委員会からの実施報告、参加者へのアンケート分析結果などの本フォーラム実施状況の報告をもとに、次年度以降についての問題点・課題等について検討した。とくに、本フォーラム参加者が知識を深めることはもちろんのこと、帰任した後自らの授業に活かしたり、同僚への指導・知識共有を図るため校内研修会・報告会等を開いたりして、この成果が周囲に広がっていくことを図るための方策について協議が行われた。

また、各委員から以下のようなコメントがあった。

情報モラル教育は、①情報社会で起こりうる様々な事象を体験的に学ぶ、②情報社会におけるルールやマナーを学ぶ、③「してはいけない」ではなく、「なぜ、そうすることが望ましいのか」を考えさせる、④情報社会において適正に行動するための考え方と態度を身に付け、責任をもって実践的な行動ができるようにするという段階を追って推進したい。そのための方法としては、基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会的な対人関係の技能の習得をめざすソーシャル・スキル・トレーニングの方法を援用したモラル・スキル・トレーニングの方法が参考となる。モラル・スキル・トレーニングは、具体的な行動の指導をすると同時に道徳性をも涵養する方法であり、ソーシャル・スキル（社会的な対人関係の技能）を常に道徳場面で教える方法である。具体的には、場面提示→ロール・プレイング（状況設定だけし、本人の自由な創造に任せてその場면을演じさせる）→シェアリング（ロール・プレイングの感想を言い合い、良い行動を強化し、問題点を修正させる）→メンタル・リハーサル（別な場면을イメージさせ、その場での自分の行動を考えさせる）→ロール・プレイング（身に付けたスキルを般化するために、イメージした場면을再度演じさせる）→再度のシェアリング→課題提示（身に付けたことを日常場面でできるように課題を示し、考えさせる）換言すれば、「わかっているけど、できない（実践しない）」から、「わかっていて、できる（実践する）」へと1歩前に踏み出すことを期待したい。

本普及フォーラムを通じて提供された種々の情報を活かして、各学校・学級において、情報モラル教育の具体的な実践が計画的・段階的・継続的に展開され、一人ひとりの児童生徒に確実に情報モラルを身に付けさせるとともに、実際に適正な行動をとることができるところまでのきめ細かな指導が継続的に行われることを期待したい。（南部）

情報モラル教育の難しさは、現場において何をどの程度教えればよいのか、教える側に実感が湧かないことが多い点にあります。その理由は、情報化社会における問題の多くが日々変化し、違法・不正行為等が関係者の不知・不識のうちに発生していることが多く、実社会における問題とは異なり事案の深刻さに対する実感が薄いことが影響していると考えられます。例えば、職員室に泥棒が入ると大騒ぎになりますが、コンピュータへの不正アクセスによる情報漏えいや不正利用には気がつかないことさえあります。

普及フォーラムの意義は、情報モラル教育の必要性や法令遵守意識の社会的高まりに応じた情報

教育のあり方を考える上で重要な機会を提供するだけでなく、対応が必要な諸問題を総合的に理解し、児童生徒と教員・保護者の間の情報格差の解消に必要な情報を共有する機会として活用されることにあります。

しかしながら、本フォーラムの目的は情報モラル教育の必要性の周知徹底の機会を提供することにあることから、短時間ですべての疑問を解決する上で必要な情報を提供することは困難です。そのため、結果的に問題解決への適切な「解」を見いだせないまま対応せざるを得ない状況も存在します。情報モラルの指導にあたって求められる総合的・包括的な支援体制を構築するためには、引き続き、利用可能な情報の所在の明確化、時宜に応じた的確な情報提供、関係機関・専門職種との適切かつ迅速な連携に取り組むことが必要であり、これらを最大限活用することで、指導を行う側の情報モラル教育に関する取り組みへの実感（バランス感覚）が涵養されることを期待します。（新保）

普及フォーラムを通じて、情報社会に生きる児童生徒が直面している課題と、それに対するものとしての情報モラル教育への理解が進み、学校現場での具体的な取り組みも拡大しつつあります。省庁や諸団体等でも情報モラルの啓発に関する教材や資料が数多く提供されるようになり、出会い系サイトや有害情報等の問題について社会的な対策も始まっています。今後はこれらが相互に連携しながら進んでいくことが望ましいわけですが、その連携の要となるのが学校教育です。本普及事業と並行して、小学校・中学校・高等学校という学校教育12年間で情報モラル教育の指導を展開するためのモデルカリキュラムも策定されましたので、学習指導要領の改訂などとも関連して今後の学校教育に適用が図られていくでしょう。学校現場からのフィードバックや有効な教材開発もますます重要になります。同時に、今回の各フォーラムの委員の方々のような第一線の実践者や研究者による情報交換等の横の連携を促進し、情報モラル教育での指導内容の精選・深化も図っていく必要もあるでしょう。また、家庭への普及も非常に重要な課題です。

これらの動きのもととなるのは、教育実践にあたる先生方が情報モラル教育の意義を理解し、実践に参画する意欲を抱くことであり、それなくしては事は始まりません。本事業はその意味で日本各地の情報モラル教育に関する機運を盛り上げることに貢献しました。普及フォーラムの企画・運営にあたられた開催関係者のご労苦に敬意を表するとともに、フォーラムに参加された方々がそれぞれの身近なところで情報モラル教育の実践に取り組み、さらに大きく輪を広げる活動に貢献いただくことを期待しております。（高橋）

情報モラル普及フォーラムで、昨年度の京都市、愛媛県松山市、本年度の名古屋市及び京都府福知山市での講演を担当させていただき中で感じたことを以下にまとめます。

まず、学校における情報モラル教育への関心の高まりを各会場で感じました。「何とかして、子どもたちを情報化社会の中で、被害者にしないよう、加害者にしないようにしなくては」という気持ちを多くの先生方が持っておられました。

しかしながら、「では、実際に各学校で情報モラルの授業や指導がなされているか」というと、これはまだまだだという声を多く聞きました。その理由として「何をすればよいかわからない」「教

材が少なすぎる」「情報モラルを指導する時間がない」といったことがあげられていました。情報モラル普及フォーラムでは、そんな声に応じて、様々なプログラムを提供してまいりました。

情報モラル教育を進める時に最も大切なのは、それぞれの学校の教職員全員が、「情報モラル指導が大切だ。」と理解し、そして、「ちょっとしたことでいいから自分自身も取り組もうとする」とだと思えます。情報モラルの指導は、実は難しいことばかりではなく、毎日の学校生活の中で誰でもできる内容も多くあります。まさに、情報モラル教育においても、「一人の百歩より百人の一步」が求められる時期が来ています。

来年度以降の話については、今後は、いかに多くの先生方に情報モラル教育という「共通の土俵に上がっていただくか」という視点でも、具体的なプログラムを構成を考えていく必要があると思います。（辻）

平成18年度の実施報告書から、本フォーラムの参加者の多くが知識を深めることを期待していたことが分かる。その一方で個々の会場アンケートからは、実際の教育現場での指導の参考にできる具体的な実践例の評価が高いことが読み取れる。

当フォーラムは、各会場に多彩な講師陣を配し、情報モラル教育を多角的な視点から専門的意見が聞けるというメリットがある反面、講師陣が多彩であることで、会場によって内容の幅や深さに差が生じることが予想される。知識を伝授するという観点からも、3つの講義の内一つのパートでは同一の資料を使い同一の内容を講義し、全ての会場で同じレベル（同じ品質）の情報が得られるようにするというのが案として考えられる。

また、冒頭に挙げた通り、知識に留まらず実践的な内容も期待されているとするならば、例えば過去に作成した教材（文書、DVD、ホームページ）のいずれかを題材に、その資料を使用した教育の実演または資料の解説をするという方法も検討してはどうか。

以上のことを前提に、フォーラムメニュー案の一例を挙げる。

【講義 1】 情報モラルに関する有識者の講演

【講義 2】 既存資料を使用した実演（上に記した案）

【講義 3】 実務経験者による実践的な事例紹介

さらに、先に挙げた、「全ての会場で同じレベルの情報を提供する」「既存資料を使用した実演を行なう」という条件を満たすために、フォーラムの準備段階で講演者を育成するための教育の実施も本フォーラムの事業内容に含めるというのはいかがだろうか。フォーラム開催までに数人の講師を育成し、それら講師が手分して各会場で上記【講義 2】の講演を行なう。なお、【講義 1】【講義 3】は従来通り事務局の裁量で講演者を選定する。

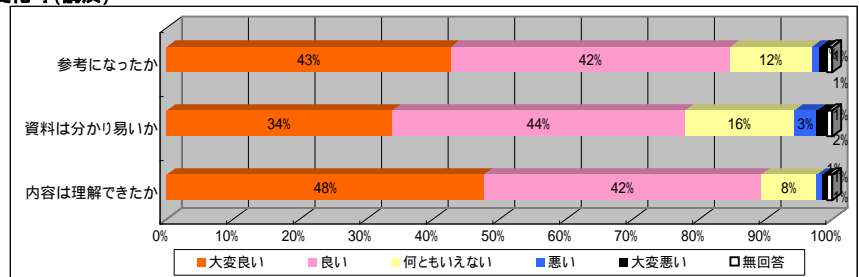
フォーラムの趣旨、期間、予算等の問題で上記提案の実現は難しいものと思われるが、方法論の一つとして検討できればと考える。（山田）

各開催地アンケート結果

開催都府県	愛知県		
副題	情報モラルの指導の充実を目指して		
開催日	2006年11月15日		
開催場所	ルプラ王山		
開催時間	13:30～16:40		
参加人数	303人		
有効アンケート回収数	262人	アンケート回収率	86.5%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。
「情報モラルの指導・育成のポイント-子どもを取り巻く環境の変化-」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	112	89	125
良い	110	115	109
何ともいえない	32	43	22
悪い	3	9	2
大変悪い	3	4	2
無回答	2	2	2
合計	262	262	262

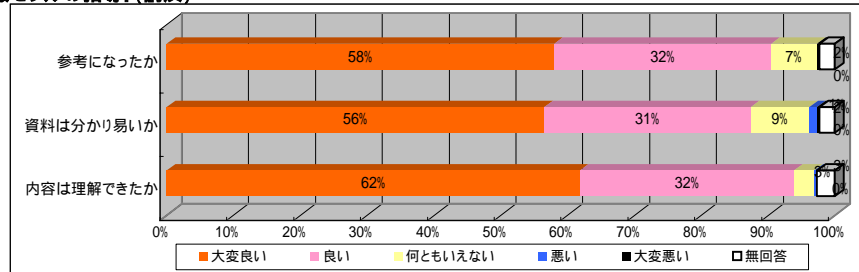


「情報モラルの指導・育成のポイント-子どもを取り巻く環境の変化-」

- ・具体的なデータもあり、分かり易い
- ・インターネット等を教育手段として活用するための参考になる
- ・教育におけるメディアの影響に関して再確認することが出来る
- ・生徒との関り方を学べた
- ・子供たちがバーチャルな空想社会に惑わされることのないよう指導していく必要がある
- ・本当の問題点が聞けた。
- ・現状の把握に役立った。
- ・「待たずに済む社会」という言葉が印象的だった
- ・自分で発表することが自分軸を作り、ネットの危険を防ぐという視点が素晴らしい。
- ・理念はよく分る
- ・コンピュータに向かう前の問題点と解決策が分かり易かった
- ・コミュニケーション不足が様々な問題を引き起こすことが再確認できた。
- ・教師に対してより、社会に公にして欲しいことばかり。

「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	152	148	162
良い	85	81	84
何ともいえない	18	23	8
悪い	0	3	1
大変悪い	1	1	0
無回答	6	6	7
合計	262	262	262

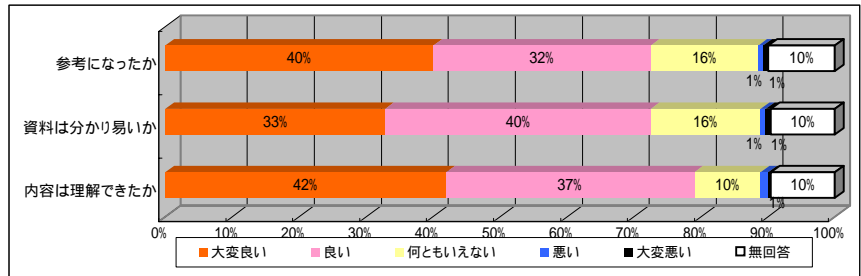


「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」

- ・地域や保護者に対するモラル研修が必要
- ・授業や校内研修に取り入れたい内容である
- ・動画を使用した講義で、具体的なURLも教えていただき参考になった
- ・具体的な内容でとても参考になった
- ・学校での実践事例として参考になった
- ・保護者会でのワークショップは本当に大切だ
- ・すぐにも実践できる内容で大変参考になった。
- ・小さな具体例が多数あってよかった
- ・実践的で分かりやすかった。

「学校の情報管理と情報セキュリティ」(その他)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	105	86	110
良い	85	104	97
何ともいえない	42	43	26
悪い	2	2	3
大変悪い	2	2	1
無回答	26	25	25
合計	262	262	262



「学校における情報セキュリティ」講義 「学校の情報管理と情報セキュリティ」

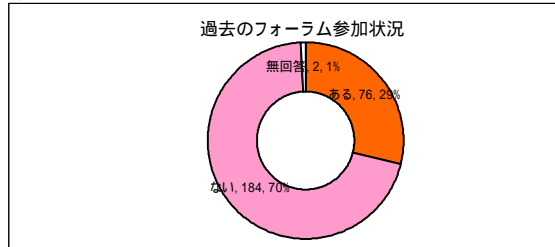
- ・情報漏れの恐れを改めて感じた
- ・情報セキュリティ上の危険性は、日常生活において多々存在していることを再認識できた。
- ・セキュリティに対する意識を向上させるべき
- ・社会全体での合意ラインの形成が必要だ
- ・ネットワークシステムの安全性が大事だ

3. 本フォーラムの全般について

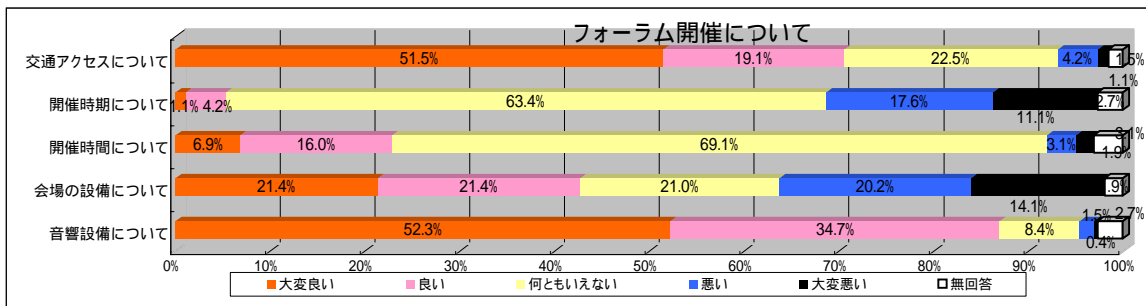
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

設問	回答数
ある	76
ない	184
無回答	2
合計	262

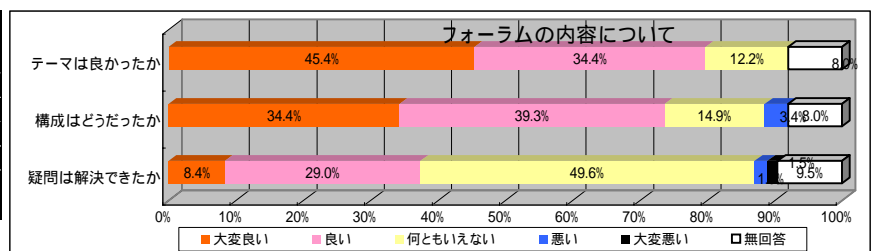


設問	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	135	3	18	56	137
良い	50	11	42	56	91
何ともいえない	59	166	181	55	22
悪い	11	46	8	53	4
大変悪い	3	29	5	37	1
無回答	4	7	8	5	7
合計	262	262	262	262	262



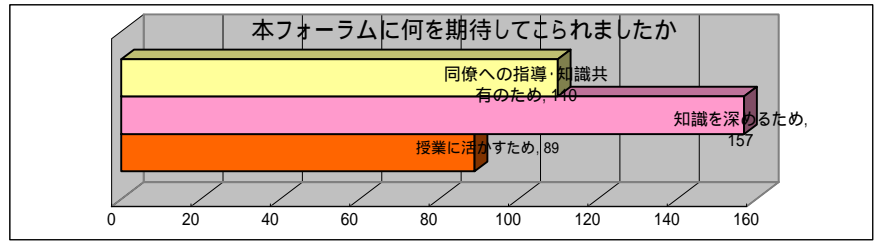
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	119	90	22
良い	90	103	76
何ともいえない	32	39	130
悪い	0	9	5
大変悪い	0	0	4
無回答	21	21	25
合計	262	262	262



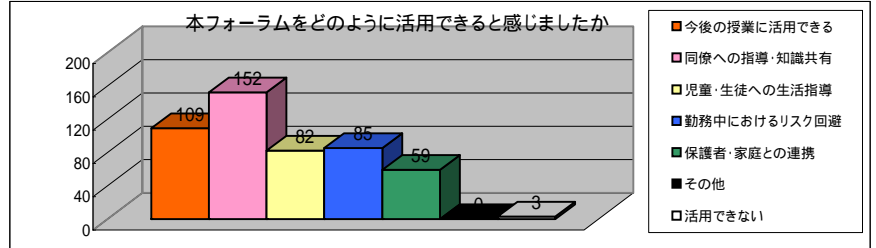
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	89
知識を深めるため	157
同僚への指導・知識共有のため	110



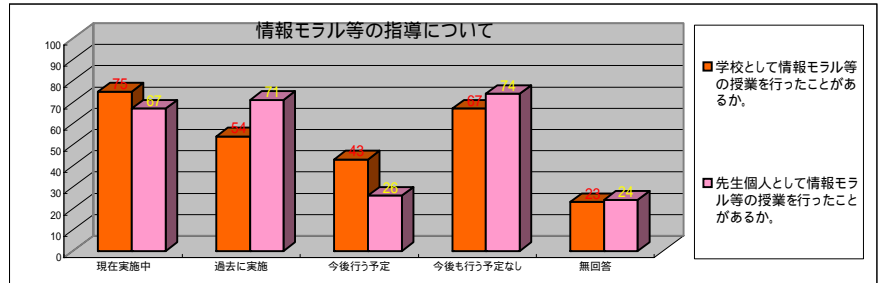
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	109
同僚への指導・知識共有	152
児童・生徒への生活指導	82
勤務中におけるリスク回避	85
保護者・家庭との連携	59
その他	0
活用できない	3



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	75	67
過去に実施	54	71
今後行う予定	43	26
今後行う予定なし	67	74
無回答	23	24
合計	262	262

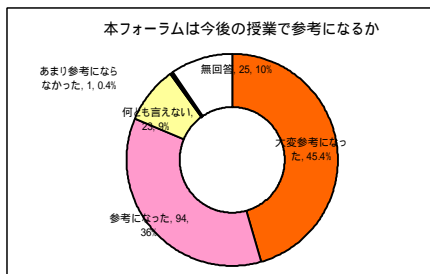
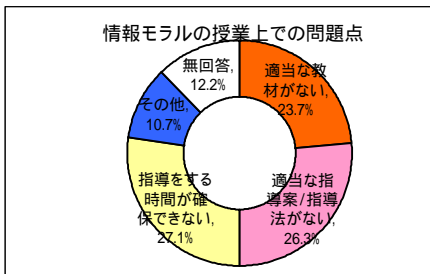


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	62
適当な指導案/指導法がない	69
指導をする時間が確保できない	71
その他	28
無回答	32
合計	262

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	119
参考になった	94
何とも言えない	23
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
無回答	25
合計	262

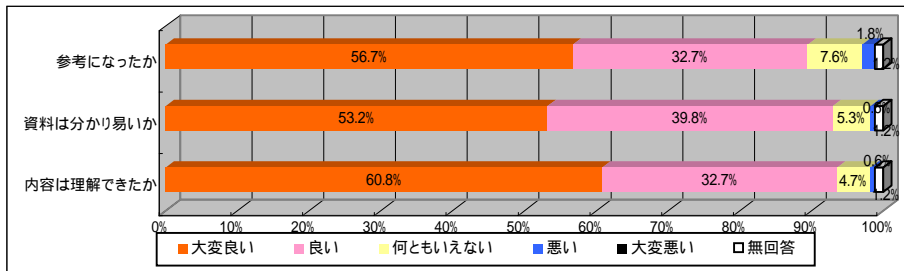


開催都府県	群馬県		
副題	群馬県の情報教育の推進を目指す		
開催日	平成18年12月6日		
開催場所	県総合教育センター		
開催時間	13:30～16:40		
参加人数	271人		
有効アンケート回収数	171人	アンケート回収率	63.1%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「義務教育における情報モラル教育」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	97	91	104
良い	56	68	56
何ともいえない	13	9	8
悪い	3	1	1
大変悪い	0	0	0
無回答	2	2	2
合計	171	171	171

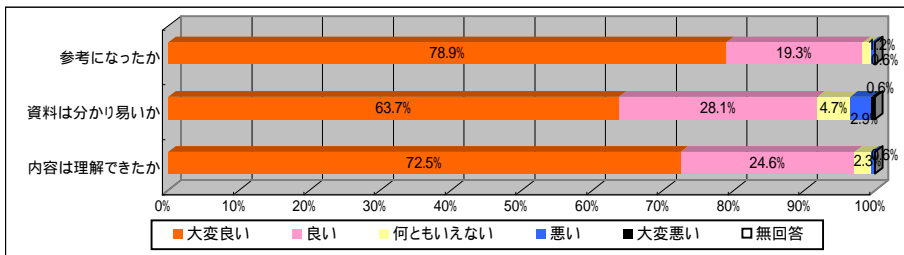


「義務教育における情報モラル教育」

- ・情報モラルを身につける必要性は理解できた
- ・今日の内容を是非義務教育の現場で実施したい

「高等学校における情報モラル教育」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	135	109	124
良い	33	48	42
何ともいえない	2	8	4
悪い	1	5	1
大変悪い	0	1	0
無回答	0	0	0
合計	171	171	171

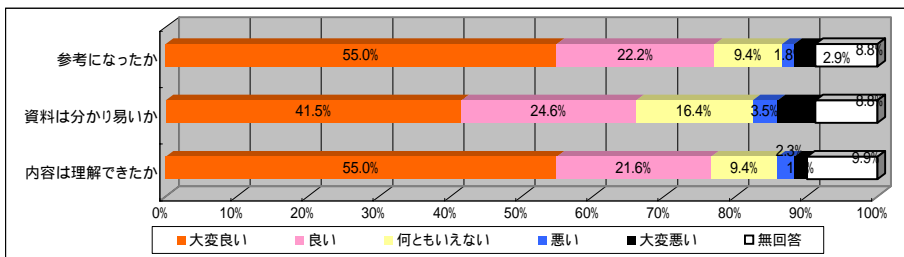


「高等学校における情報モラル教育」

- ・具体的で、本質的な部分がよくわかった
- ・生徒の年代に合わせたコツを押さえて指導に生かしたい
- ・現状の生徒の実態を踏まえており、とても参考になった。
- ・具体的な実践例がたくさんあり、よかった。
- ・今まで知らなかったことがわかった

「子どもを取り巻くネットの実態について」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	94	71	94
良い	38	42	37
何ともいえない	16	28	16
悪い	3	6	4
大変悪い	5	9	3
無回答	15	15	17
合計	171	171	171



「子どもを取り巻くネットの実態について」

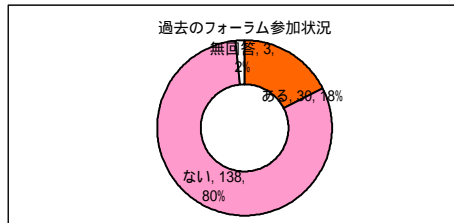
- ・ネットが恐ろしいのはわかった
- ・とても深刻な問題で知らないのは親と教師だけだと感じた
- ・非常に切実感を覚える講演だった
- ・日本のネット社会に規制をつけてくれることを願う
もう学校だけでは手におえないところまできている
子どものサイトは教師はよくわからないことがあることを実感した
- ・携帯電話が重大であることが分かった

3. 本フォーラムの全般について

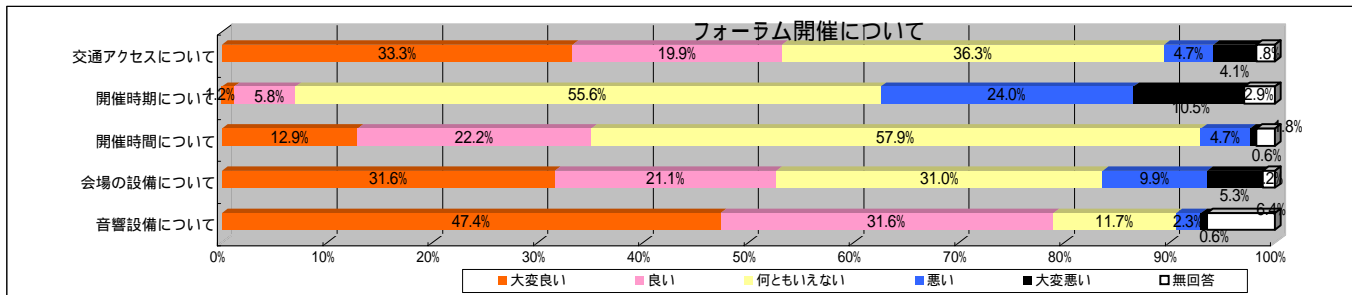
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	30
ない	138
無回答	3

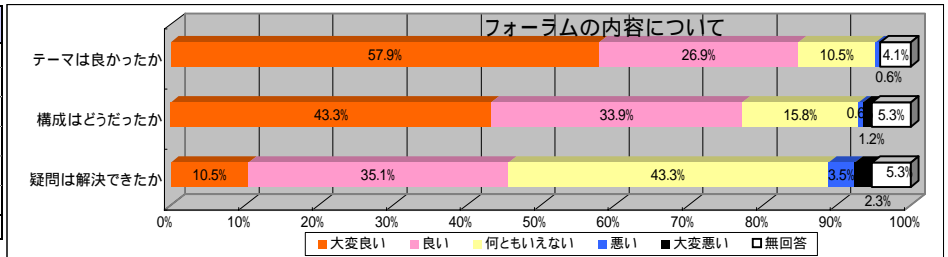


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	57	2	22	54	81
良い	34	10	38	36	54
何ともいえない	62	95	99	53	20
悪い	8	41	8	17	4
大変悪い	7	18	1	9	1
無回答	3	5	3	2	11
合計	171	171	171	171	171



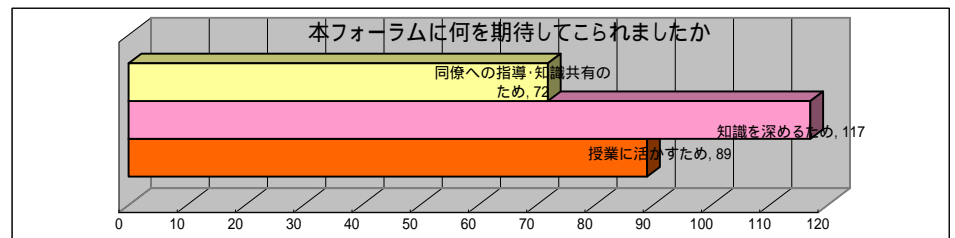
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	99	74	18
良い	46	58	60
何ともいえない	18	27	74
悪い	1	1	6
大変悪い	0	2	4
無回答	7	9	9
合計	171	171	171



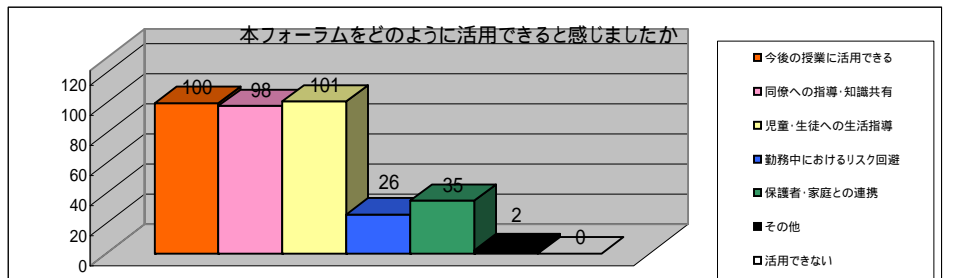
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	89
知識を深めるため	117
同僚への指導・知識共有のため	72



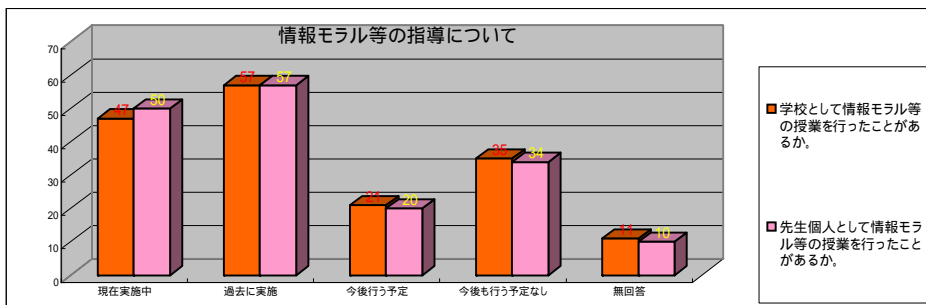
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか

今後の授業に活用できる	100
同僚への指導・知識共有	98
児童・生徒への生活指導	101
勤務中におけるリスク回避	26
保護者・家庭との連携	35
その他	2
活用できない	0



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	47	50
過去に実施	57	57
今後行う予定	21	20
今後行う予定なし	35	34
無回答	11	10
合計	171	171



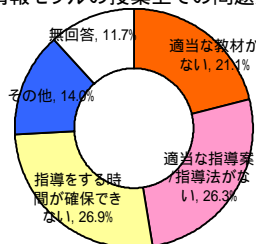
情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	36
適当な指導案/指導法がない	45
指導をする時間が確保できない	46
その他	24
無回答	20
合計	171

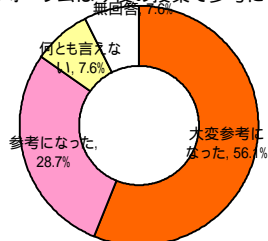
本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	96
参考になった	49
何とも言えない	13
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	13
合計	171

情報モラルの授業上での問題点



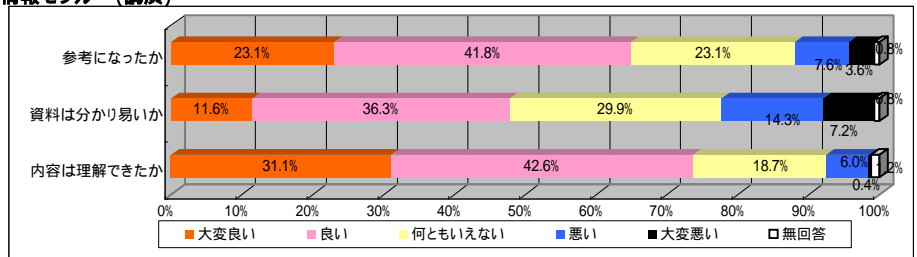
本フォーラムは今後の授業で参考になるか



開催都府県	大阪府		
副題	情報の向こう側に「人」を感じる心を育てるために		
開催日	平成18年12月11日		
開催場所	大阪府教育センター		
開催時間	13:30～16:40		
参加人数	338人		
有効アンケート回収数	251人	アンケート回収率	74.3%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。
 情報社会を生きる～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	58	29	78
良い	105	91	107
何ともいえない	58	75	47
悪い	19	36	15
大変悪い	9	18	1
無回答	2	2	3
合計	251	251	251

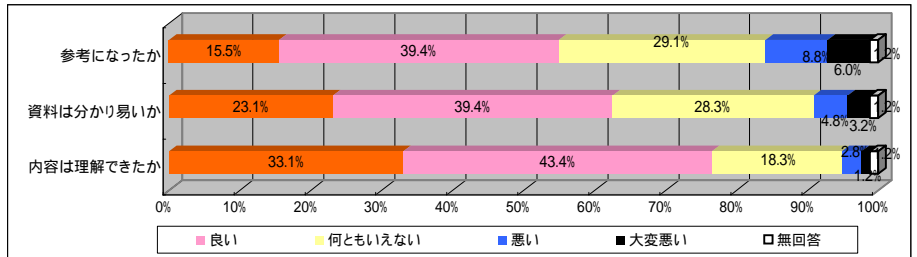


「情報社会を生きる」～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～

- ・メディアは現実を作るが印象に残った
- ・情報モラルの根本は道德教育であることを確認した

「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	39	58	83
良い	99	99	109
何ともいえない	73	71	46
悪い	22	12	7
大変悪い	15	8	3
無回答	3	3	3
合計	251	251	251

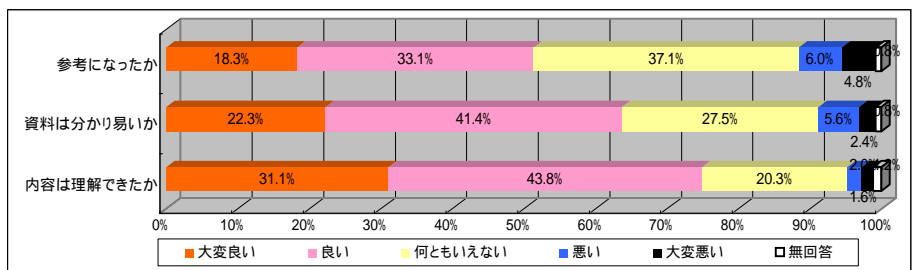


「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」

- ・情報機器を使った体験を重視せず、正しく利用することで学ばせる時間・年齢を考えるべきだ
- ・授業時間数としては、少し短い(少ない)のではないかと感じた。
- ・小学校での情報教育がよくわかった。

「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」小中一貫でICT基礎力を養う(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	46	56	78
良い	83	104	110
何ともいえない	93	69	51
悪い	15	14	5
大変悪い	12	6	4
無回答	2	2	3
合計	251	251	251

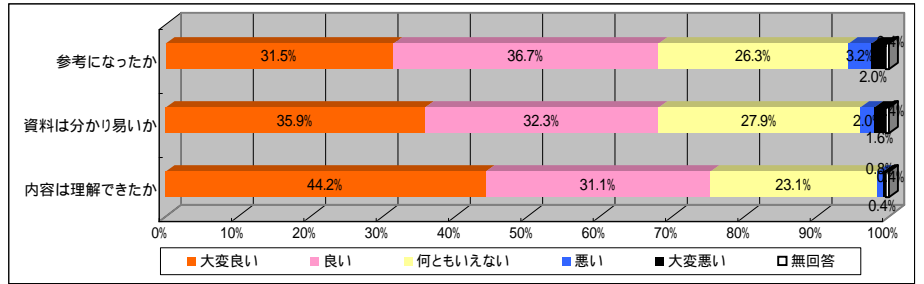


「体験活動を通じたメディア活用能力の育成」小中一貫でICT基礎力を養う

- ・全小中をまきこんだ大掛かりなプロジェクトになっていて、大変参考になった。
- ・寝屋川での情報教育のとりくみは、どれくらいの人数で意見を構成しているのか、どれくらいの時間がかかっているのか、知りたかった。
- ・寝屋川市の小中における情報教育の充実を感じました。

「信頼できるWEBページとは」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	79	90	111
良い	92	81	78
何ともいえない	66	70	58
悪い	8	5	2
大変悪い	5	4	1
無回答	1	1	1
合計	251	251	251

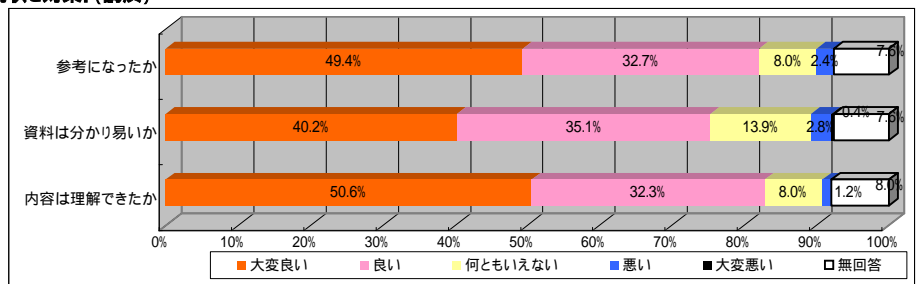


「信頼できるWEBページとは」

- ・具体的な指導内容はわかりやすかった。
- ・具体的な取り組みの例として参考になった。
- ・パソコンクラブ等での学習に役立てたいと感じた。
- ・現場の教師の話はおもしろい
- ・高校の話で自校でも実践できる話だった。
- ・具体的に参考になった。

「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	124	101	127
良い	82	88	81
何ともいえない	20	35	20
悪い	6	7	3
大変悪い	0	1	0
無回答	19	19	20
合計	251	251	251



「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」

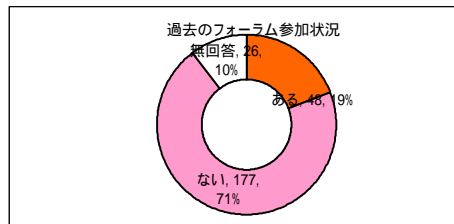
- ・校内研修等で活用したい内容だった
- ・府内での事例は大変参考になりました。
- ・サイバー防犯情報は役に立ちそうだ
- ・ネット犯罪の現状がよくわかり、今後の指導のもとになる

3. 本フォーラムの全般について

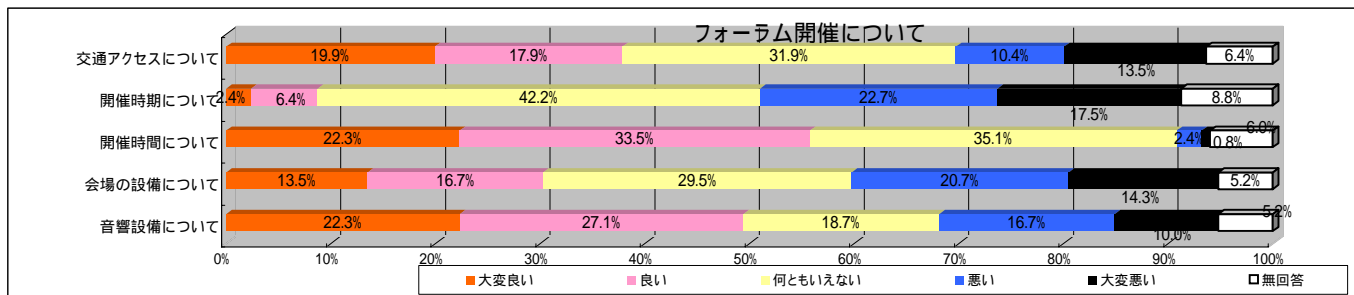
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	48
ない	177
無回答	26

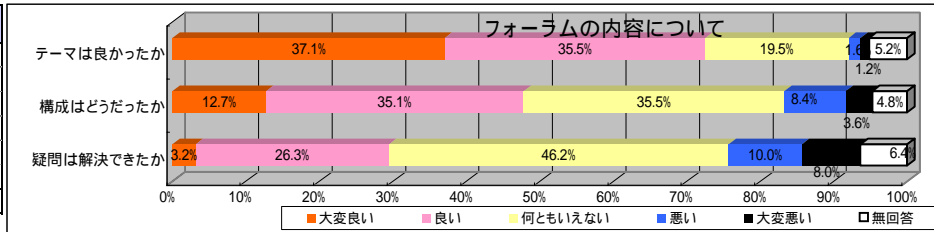


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	50	6	56	34	56
良い	45	16	84	42	68
何ともいえない	80	106	88	74	47
悪い	26	57	6	52	42
大変悪い	34	44	2	36	25
無回答	16	22	15	13	13
合計	251	251	251	251	251



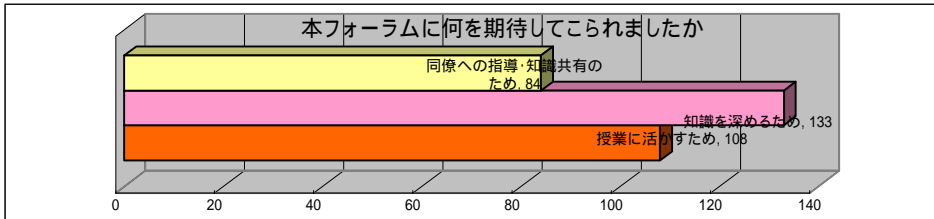
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	93	32	8
良い	89	88	66
何ともいえない	49	89	116
悪い	4	21	25
大変悪い	3	9	20
無回答	13	12	16
合計	251	251	251



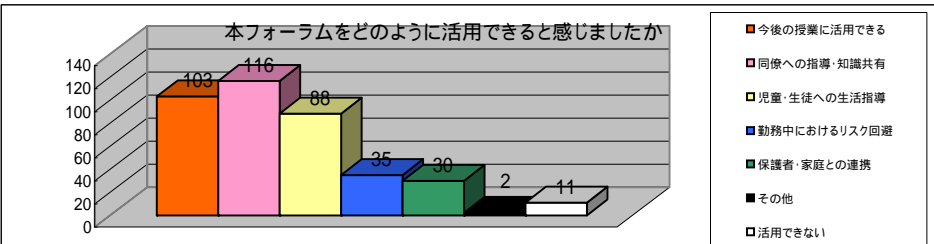
本フォーラムに何を期待してられましたか

授業に活かすため	108
知識を深めるため	133
同僚への指導・知識共有のため	84



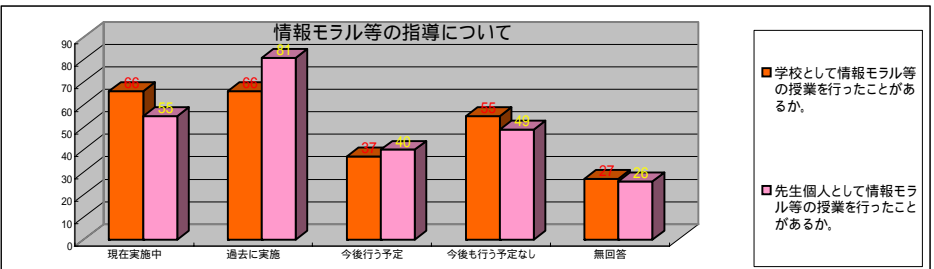
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	103
同僚への指導・知識共有	116
児童・生徒への生活指導	88
勤務中におけるリスク回避	35
保護者・家庭との連携	30
その他	2
活用できない	11



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	66	55
過去に実施	66	81
今後行う予定	37	40
今後も行わず予定なし	55	49
無回答	27	26
合計	251	251

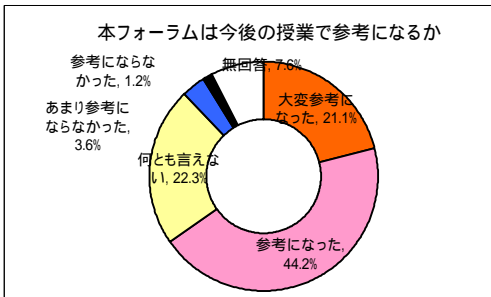
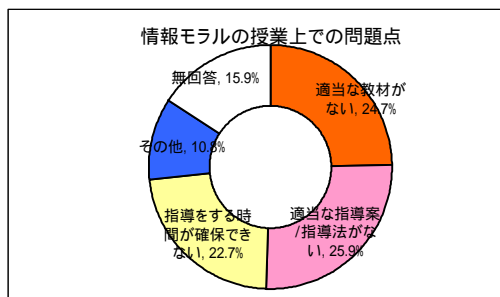


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	62
適当な指導案/指導法がない	65
指導をする時間が確保できない	57
その他	27
無回答	40
合計	251

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	53
参考になった	111
何とも言えない	56
あまり参考にならなかった	9
参考にならなかった	3
無回答	19
合計	251

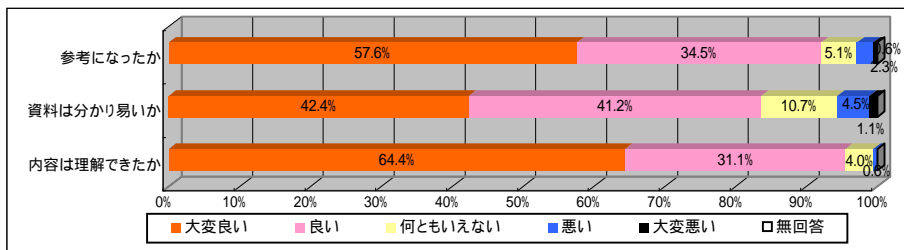


開催都府県	徳島県		
副題	情報モラル等の指導を普及するフォーラム		
開催日	平成18年12月14日		
開催場所	徳島県立総合教育センター		
開催時間	13:00～		
参加人数	220 人		
有効アンケート回収数	177 人	アンケート回収率	80.5%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「子どもを取り巻くネット社会の状況とその対応」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	102	75	114
良い	61	73	55
何ともいえない	9	19	7
悪い	4	8	1
大変悪い	1	2	0
無回答	0	0	0
合計	177	177	177

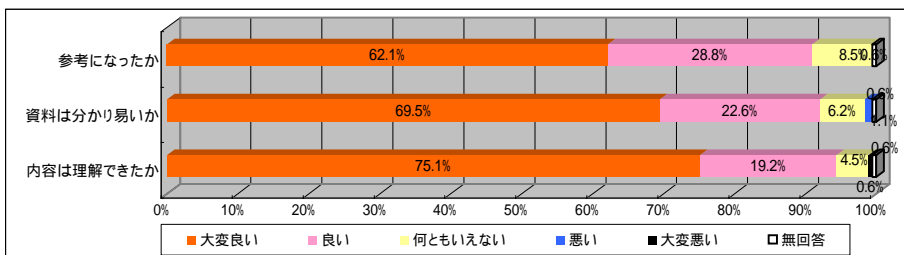


「子どもを取り巻くネット社会の状況とその対応」

- ・情報モラルというより、これからの教育についての考え方が大変参考になった。
- ・日本の教師のレベルが高いというお話を聞き、とても気分が楽になった。背景を考える力、判断力を育てるという話がよかった。
- ・外国の教員との比較がよかった。
- ・講師のポリシーが感じられる講演でした。実際の真実の部分を実際に出ている内容であったと思う
- ・話の中に「人のためになることを考える」ということがありましたが、それがモラルの基盤の一つではないかなと感じた
- ・指導の中で感じる矛盾について、その背景を考えさせればよいという話で、今までのモヤモヤがすっきりした気がした
- ・情報モラルというより、社会のモラルをしっかり守っていくことが大切であること。ルールを守ること。
- ・フィンランドのしつけやルールづくりの大切さを再確認できた。
- ・写真等による説明があって分かりやすかった。
- ・教師の立場で情報モラルをどう指導していかかが明確となり、大変参考になった。
- ・情報モラルを学校で行っていく大切さが以前よりもよくわかった。

「今日からできる情報モラル教育の指導」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	110	123	133
良い	51	40	34
何ともいえない	15	11	8
悪い	0	2	0
大変悪い	0	0	1
無回答	1	1	1
合計	177	177	177

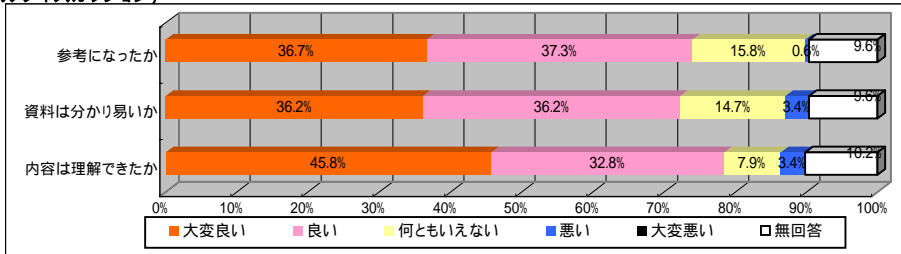


「今日からできる情報モラル教育の指導」

- ・系統的に教える大切さを知った。
- ・実践事例を実際にアレンジして活用したい。
- ・ぜひ自分も授業に取り入れたい。
- ・情報モラルの指導の必要性を強く感じた。
- ・実践しなければという思いを強くした。
- ・実践に則した内容でよかった。
- ・全部の先生にすすめたい。危機感をもってほしいから。
- ・これから、たくさん問題が生まれると思いますが、きちんとした対処ができるように、教師側の研修も大切だと思った
- ・行動力に感服しました。まず実態把握をしたいと思います。
- ・困ったら相談できる人を見つけた思いがする。
- ・チャットの体験によって、ネット上の「問題点がよくわかる。子どもの気づきにつながるが良い実践だと思った
- ・教科指導に活かせる内容で参考になった。チャット等の疑似体験の必要性を感じた
- ・自信の実例をふまえてデータ化しており、見やすく、共感をもって拝聴できました。

「情報モラル指導の現状と情報モラル普及のための方策」(パネルディスカッション)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	65	64	81
良い	66	64	58
何ともいえない	28	26	14
悪い	1	6	6
大変悪い	0	0	0
無回答	17	17	18
合計	177	177	177



「情報モラル指導の現状と情報モラル普及のための方策」

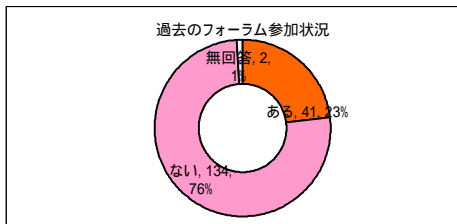
- ・情報モラルを職員研修の中にきちんと位置付けるべきと感じた。
- ・本当に行動にうつさなければと思った。
- ・セキュリティポリシーはこれからの課題。
- ・被害者は誰でもありうるという危機意識を持って、学校でも取り組みたい。
- ・技術科での人権学習としての取り組みは素晴らしいと思った。
- ・チェーンメール、チャットなどについての話を子どもたちに伝えていきたい。

3. 本フォーラムの全般について

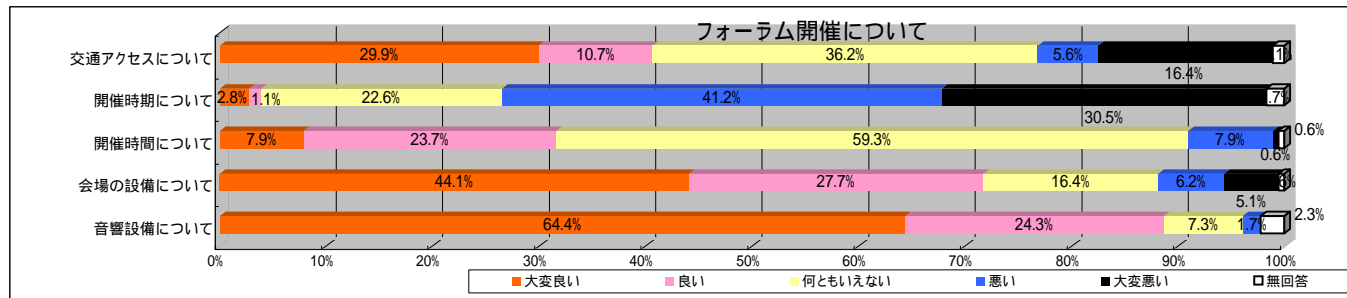
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	41
ない	134
無回答	2

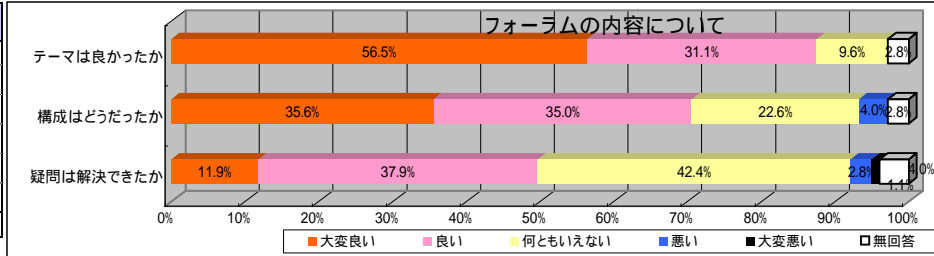


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	53	5	14	78	114
良い	19	2	42	49	43
何ともいえない	64	40	105	29	13
悪い	10	73	14	11	3
大変悪い	29	54	1	9	0
無回答	2	3	1	1	4
合計	177	177	177	177	177



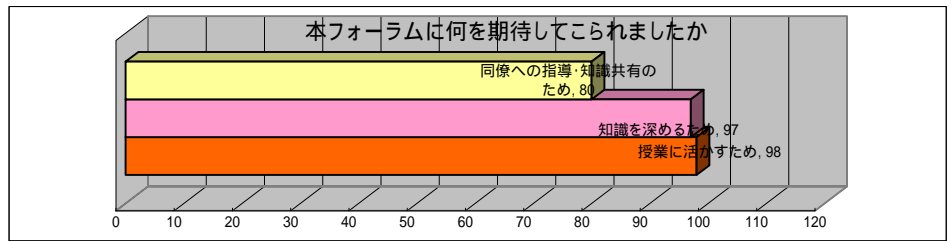
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	100	63	21
良い	55	62	67
何ともいえない	17	40	75
悪い	0	7	5
大変悪い	0	0	2
無回答	5	5	7
合計	177	177	177



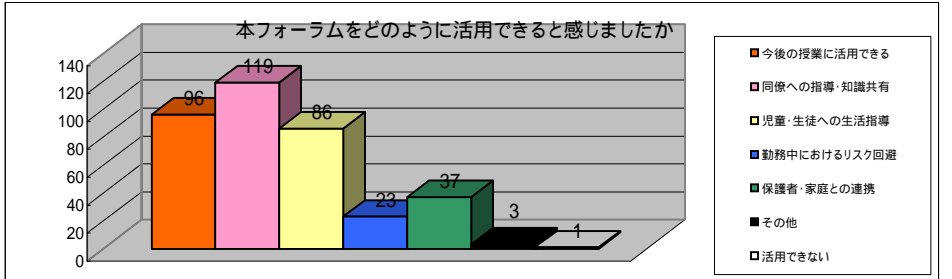
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	98
知識を深めるため	97
同僚への指導・知識共有のため	86



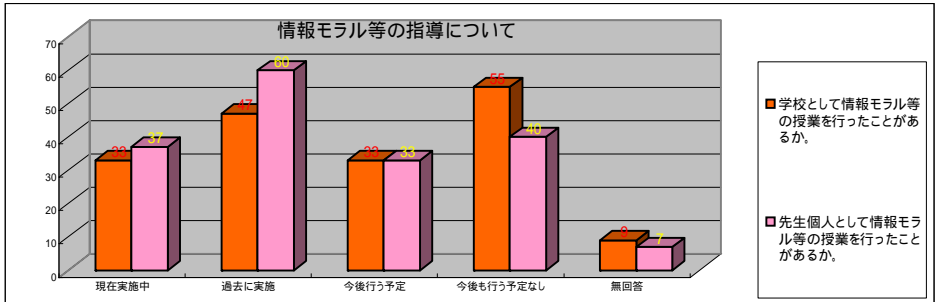
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	96
同僚への指導・知識共有	119
児童・生徒への生活指導	86
勤務中におけるリスク回避	23
保護者・家庭との連携	37
その他	3
活用できない	1



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	33	37
過去に実施	47	60
今後行う予定	33	33
今後も行わない予定なし	55	40
無回答	9	7
合計	177	177

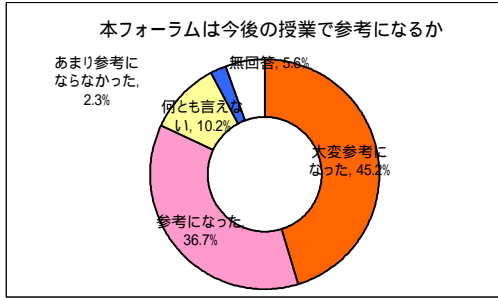
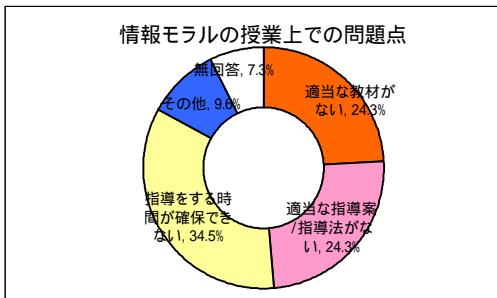


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	43
適当な指導案/指導法がない	43
指導をする時間が確保できない	61
その他	17
無回答	13
合計	177

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますが。

大変参考になった	80
参考になった	65
何とも言えない	18
あまり参考にならなかった	4
参考にならなかった	0
無回答	10
合計	177

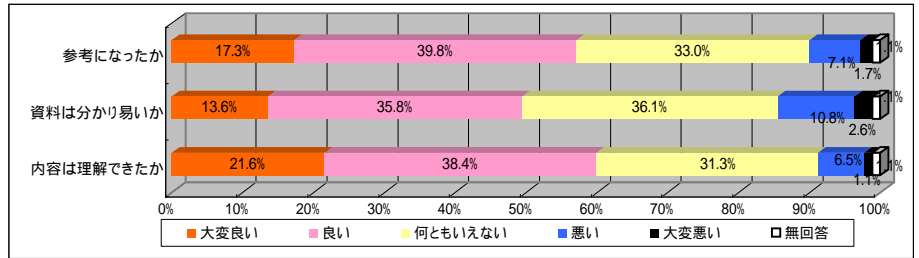


開催都府県	大分県		
副題	みんなで考える情報モラル教育		
開催日	平成19年1月18日		
開催場所	B-CON PLAZA 国際会議室		
開催時間	13:30～16:40		
参加人数	449人		
有効アンケート回収数	352人	アンケート回収率	78.4%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「子どもを取り巻くネットの実態について」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	61	48	76
良い	140	126	135
何ともいえない	116	127	110
悪い	25	38	23
大変悪い	6	9	4
無回答	4	4	4
合計	352	352	352

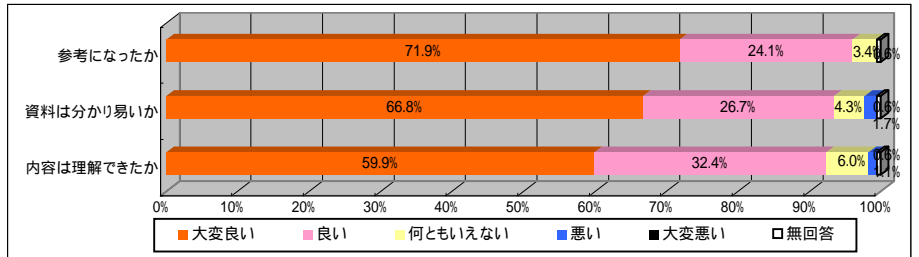


「子どもたちのインターネット等の利用実態と情報モラル教育の基本的な考え方」

- ・他の教科と通ずるものが多いと感じた
- ・ネット、情報教育の話とはいえ、他の面にもあてはまることあると思った
- ・情報イコール日常モラルという視点は見落としがちな部分で、大切だと思った
- ・現状の児童を取り巻く環境が分かった
- ・情報モラルロールプレイなどの手法でモラルを教育しなければならない

「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	253	235	211
良い	85	94	114
何ともいえない	12	15	21
悪い	0	6	4
大変悪い	0	0	0
無回答	2	2	2
合計	352	352	352

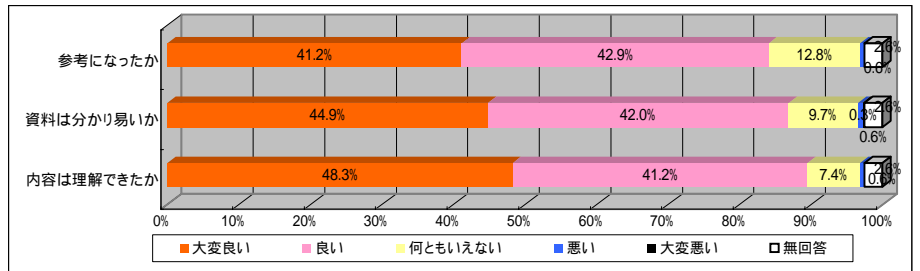


「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」

- ・早速現場で資料を活用します
- ・セキュリティの必要性を改めて感じた
- ・簡潔で分かり易かった
- ・セキュリティの重要性をより感じた
- ・情報モラル教育の実践場面の具体的な話はよかった
- ・県・市をあげてセキュリティに取り組むべきだ
- ・実際にするのは難しいが、やらねばならぬ時が来るのは理解している
- ・敵は内部にありの言葉には苦笑しました。教職員の中に温度差があってはいけません
- ・職場の職員に理解してもらうのは厳しい
- ・危機感が高まりました
- ・改めて、校内のネットワーク運用規定について、セキュリティの部分を中心に見直そうと思った
- ・情報セキュリティは大切だが、職員全員で情報セキュリティ体制作りというのはとても難しい
- ・理論だけでなく実務の部分での話で、よい研修となった。
- ・情報セキュリティ確保の重要性が非常に感じた
- ・情報セキュリティに対して意識の低い自分(職場)も背筋の寒い思いがした
- ・体制作りの重要性が分かった
- ・実践的な話が多くとても役立った

「小学校における取組事例」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	145	158	170
良い	151	148	145
何ともいえない	45	34	26
悪い	2	2	2
大変悪い	0	1	0
無回答	9	9	9
合計	352	352	352



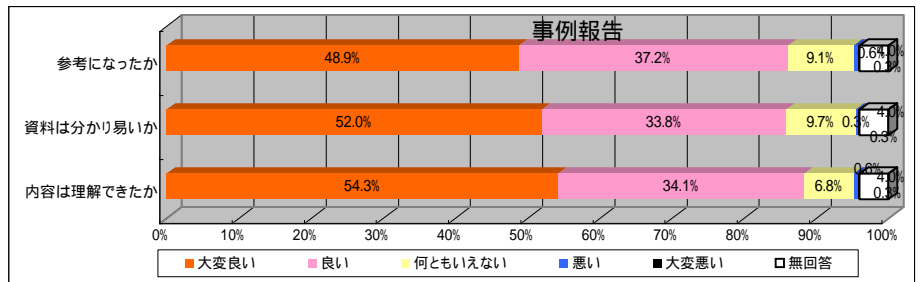
小・中・高等学校の事例報告

「小学校における取組事例」

- ・具体的な活用できる資料がわかり参考になりました
- ・帰って実践してみたい内容だった
- ・小学校の子ども達が置かれている現実の問題だと思った
- ・即使える教材でとても良かった
- ・積極的な授業でのIT活用が素晴らしいと思った
- ・様々な事例を紹介していただき参考になった
- ・素晴らしい取組で、あのDVDを活用してみたい
- ・使えそうなコンテンツ等紹介してもらえたのは良かった
- ・小学校教員として参考になった
- ・パソコンの技術を高めて実践してみたい
- ・具体的な授業実践をされていることに感心した

「中学校における取組事例」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	172	183	191
良い	131	119	120
何ともいえない	32	34	24
悪い	2	1	2
大変悪い	1	1	1
無回答	14	14	14
合計	352	352	352

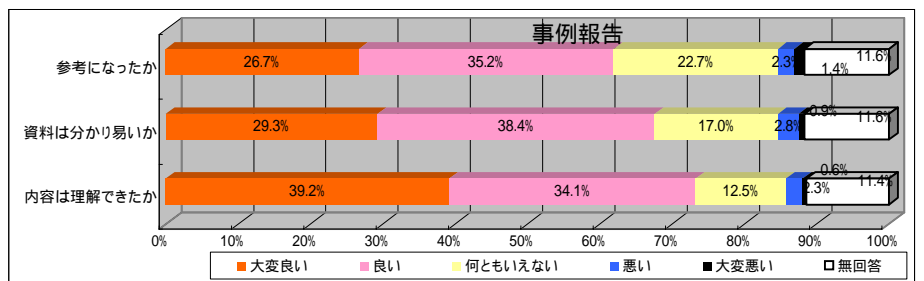


「中学校における取組事例」

- ・実践と結びついた話でわかりやすかった
- ・生徒や学校現場の実態に即してとても分かり易かった
- ・チャットの実践が興味深かった
- ・コミュニケーションの力をインターネット上のモラル教育で育成できると改めて思った
- ・情報モラルが分かり易く子ども達、保護者の方々へ伝えることができるソフトです。
- ・小学校高学年でもアレンジして使えと思った
- ・個人の名前を持ち物に記入する。他人も大切にするという考え方が原点だと分かった

「高等学校における取組事例」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	94	103	138
良い	124	135	120
何ともいえない	80	60	44
悪い	8	10	8
大変悪い	5	3	2
無回答	41	41	40
合計	352	352	352



「高等学校における取組事例」

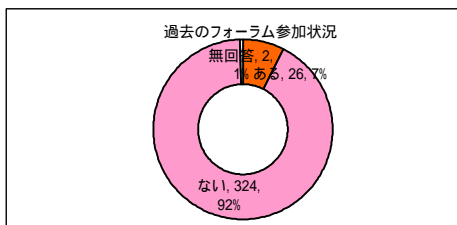
- ・現場の高校生には情報モラル教育は特に大切だと思いました。
- ・自分のネットワーク(自分の周りの人)を大事にすることから始まる。情報モラル教育という言葉が心に残りました
- ・発達段階に応じた指導が必要だと思った
- ・子ども達の世界の危険な部分について知り、非常に心配な状況であることに危機感を持った

3. 本フォーラムの全般について

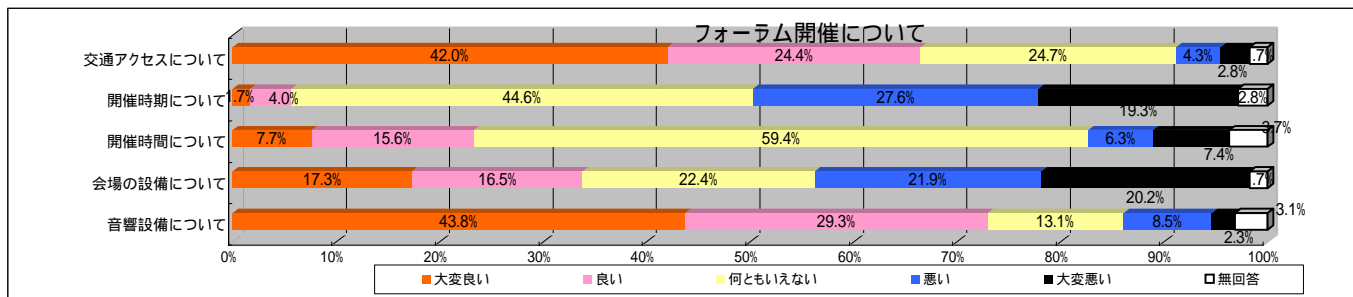
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	26
ない	324
無回答	2

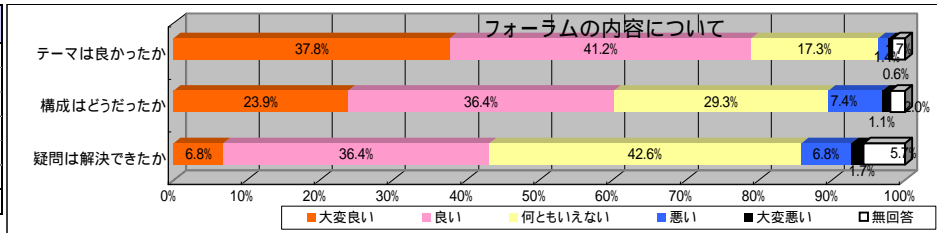


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	148	6	27	61	154
良い	86	14	55	58	103
何ともいえない	87	157	209	79	46
悪い	15	97	22	77	30
大変悪い	10	68	26	71	8
無回答	6	10	13	6	11
合計	352	352	352	352	352



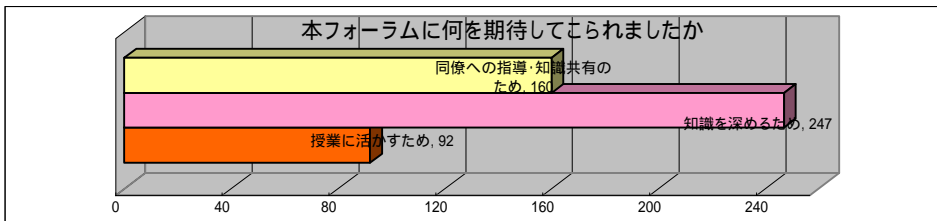
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	133	84	24
良い	145	128	128
何ともいえない	61	103	150
悪い	5	26	24
大変悪い	2	4	6
無回答	6	7	20
合計	352	352	352



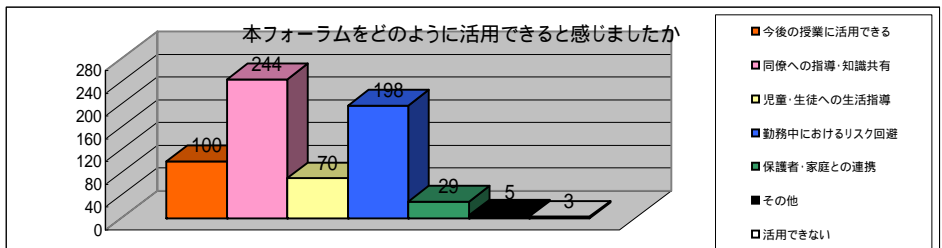
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	92
知識を深めるため	247
同僚への指導・知識共有のため	160



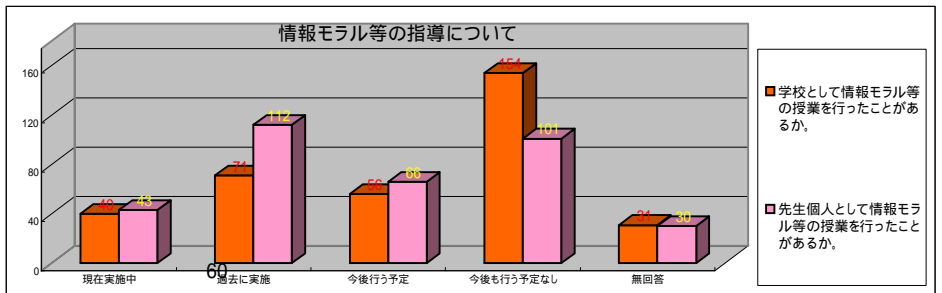
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	100
同僚への指導・知識共有	244
児童・生徒への生活指導	70
勤務中におけるリスク回避	198
保護者・家庭との連携	29
その他	5
活用できない	3



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	40	43
過去に実施	71	112
今後行う予定	56	66
今後も行わない予定なし	154	101
無回答	31	30
合計	352	352

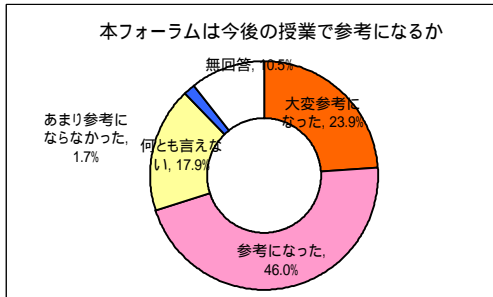
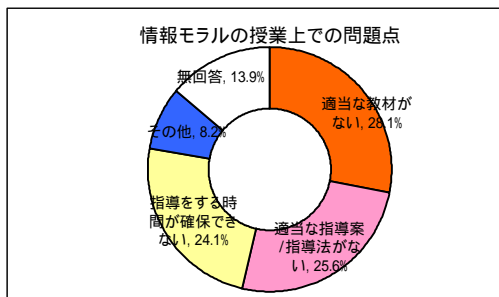


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	99
適当な指導案/指導法がない	90
指導をする時間が確保できない	85
その他	29
無回答	49
合計	352

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますが、

大変参考になった	84
参考になった	162
何とも言えない	63
あまり参考にならなかった	6
参考にならなかった	0
無回答	37
合計	352

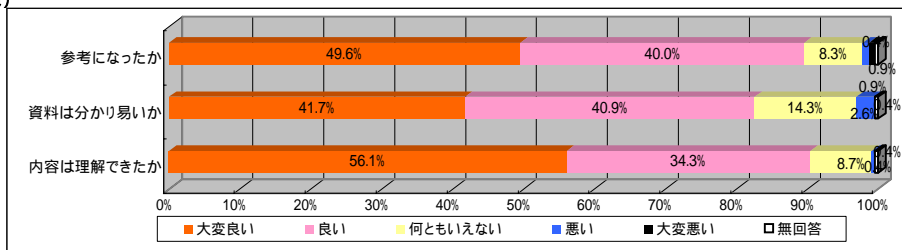


開催都府県	宮崎県		
副題	育てよう、広めよう情報モラル		
開催日	平成19年1月18日		
開催場所	宮崎市民文化ホール		
開催時間	13:00～		
参加人数	268 人		
有効アンケート回収数	230 人	アンケート回収率	85.8%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「情報モラル指導事例および効果的な指導方法について」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	114	96	129
良い	92	94	79
何ともいえない	19	33	20
悪い	2	6	1
大変悪い	2	0	0
無回答	1	1	1
合計	230	230	230

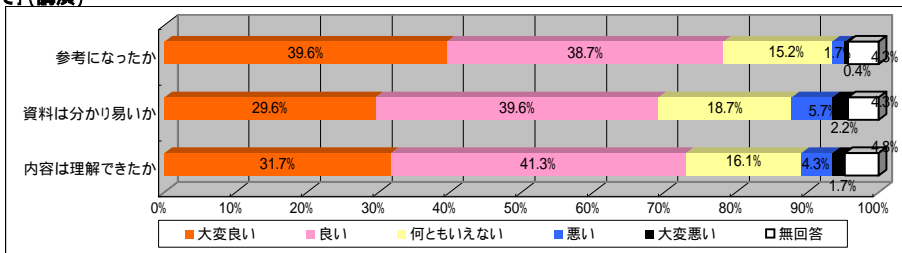


「情報モラル指導事例および効果的な指導方法について」

- ・今日紹介されたモラル教材を使っています。ただ、どの時間にすればいいのかが検討中だったので、とても参考になった
- ・具体的な事例中心で大変参考になった。
- ・サイトはすぐに開いてみようと思った。
- ・視覚効果まさにIT効果、よくわかった
- ・現場の実情に合っていた。
- ・視聴覚機器の使い方ひとつで短時間で効果的な指導(濃密な指導)ができることに驚いた。
- ・効果的な手法が見えた気がする

「学校における情報セキュリティと個人情報の取り扱いについて」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	91	68	73
良い	89	91	95
何ともいえない	35	43	37
悪い	4	13	10
大変悪い	1	5	4
無回答	10	10	11
合計	230	230	230



「学校における情報セキュリティと個人情報の取り扱いについて」

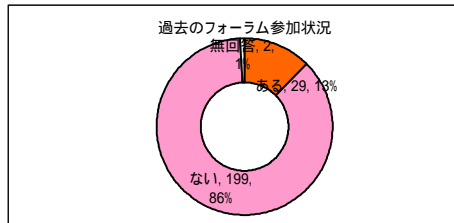
- ・個人情報への“過剰反応”について、大変参考になった
- ・自分では分かっていると思っていたことであったが、さらによく知ることができてよかった
- ・Power Pointの画面を全て資料として持ち帰れるようにしていただいているので助かる
- ・教員がしっかり法の部分を認識していることが大切だと感じました。
- ・法律との関連づけながらの説明で大変わかりやすく、説得力のある内容だった。
- ・資料をたくさん提供していただいて、大変ありがたい
- ・専門的で内容が多く、じっくり考える時間が必要と感じた。
- ・個人情報の意義について再確認できた。
- ・個人情報の定義が分かりました。

3. 本フォーラムの全般について

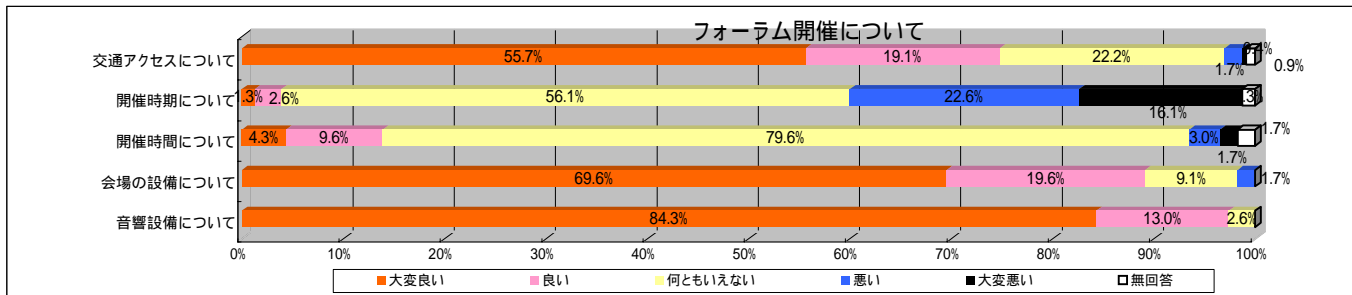
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	29
ない	199
無回答	2

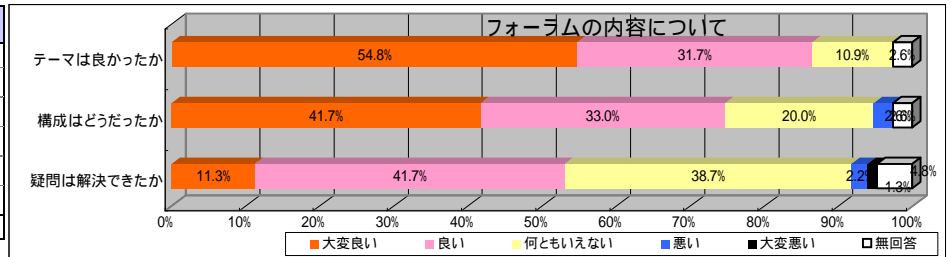


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	128	3	10	160	194
良い	44	6	22	45	30
何ともいえない	51	129	183	21	6
悪い	4	52	7	4	0
大変悪い	1	37	4	0	0
無回答	2	3	4	0	0
合計	230	230	230	230	230



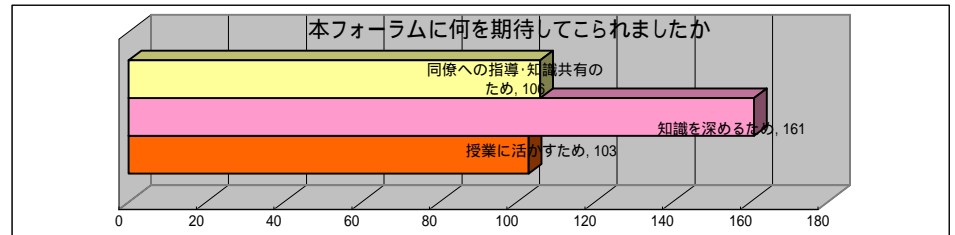
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	126	96	26
良い	73	76	96
何ともいえない	25	46	89
悪い	0	6	5
大変悪い	0	0	3
無回答	6	6	11
合計	230	230	230



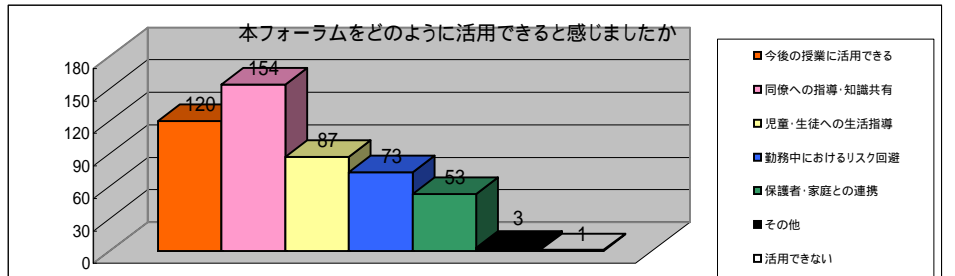
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	103
知識を深めるため	161
同僚への指導・知識共有のため	106



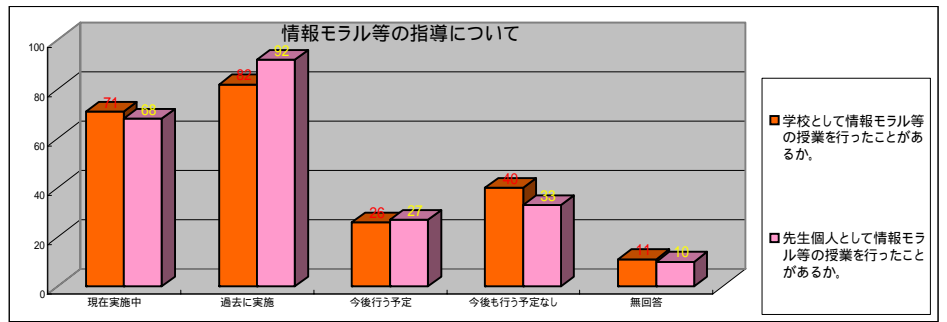
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか

今後の授業に活用できる	120
同僚への指導・知識共有	154
児童・生徒への生活指導	87
勤務中におけるリスク回避	73
保護者・家庭との連携	53
その他	3
活用できない	1



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	71	68
過去に実施	82	92
今後行う予定	26	27
今後も行わない	40	33
無回答	11	10
合計	230	230

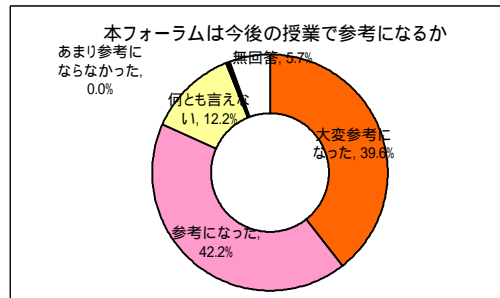
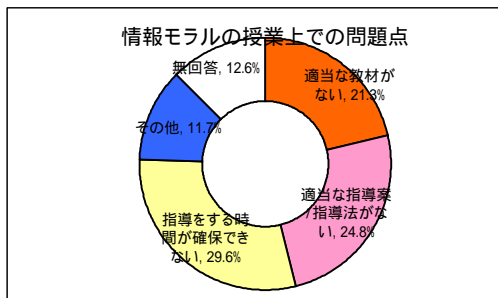


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	49
適当な指導案/指導法がない	57
指導をする時間が確保できない	68
その他	27
無回答	29
合計	230

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	91
参考になった	97
何とも言えない	28
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	1
無回答	13
合計	230

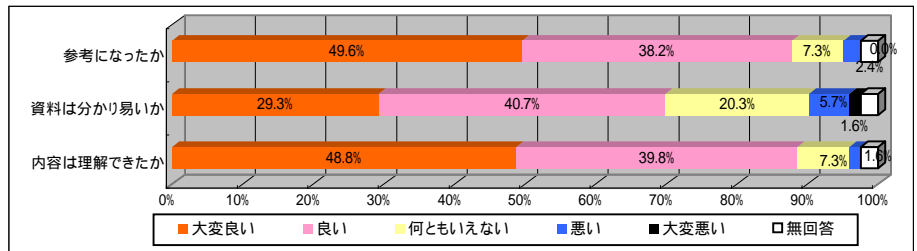


開催都府県	東京都		
副題	情報モラル等の指導を普及するフォーラム		
開催日	平成19年1月19日		
開催場所	フロラシオン青山		
開催時間	13:00～		
参加人数	159人		
有効アンケート回収数	123人	アンケート回収率	77.4%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「小・中・高における実践事例報告」(実践事例報告)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	61	36	60
良い	47	50	49
何ともいえない	9	25	9
悪い	3	7	2
大変悪い	0	2	0
無回答	3	3	3
合計	123	123	123



小・中・高等学校の事例報告

「情報モラルを培う指導法」～小学校の実践

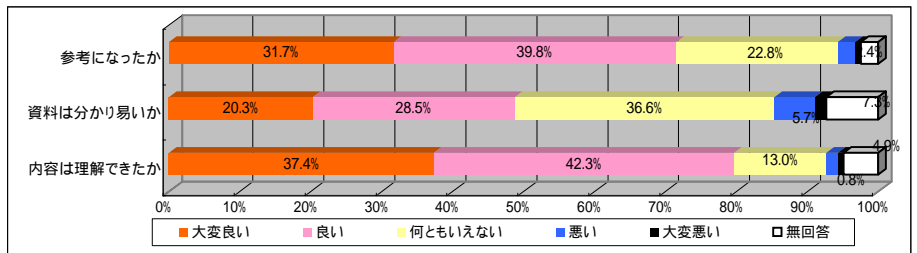
「ケータイモラルの指導」

「高等学校における情報教育」

- ・情報の普及で高等学校があのような状態にあるとは知らなかった
- ・知らないことが多かった
- ・各校種に沿った資料がもっと欲しい(年間計画、指導案)
- ・素晴らしい実践を紹介していただいた
- ・事例紹介がとても参考になりました
- ・初任研の時にこのような研修を受けたかった

「情報モラル指導の実際」(パネルディスカッション)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	39	25	46
良い	49	35	52
何ともいえない	28	45	16
悪い	3	7	2
大変悪い	1	2	1
無回答	3	9	6
合計	123	123	123

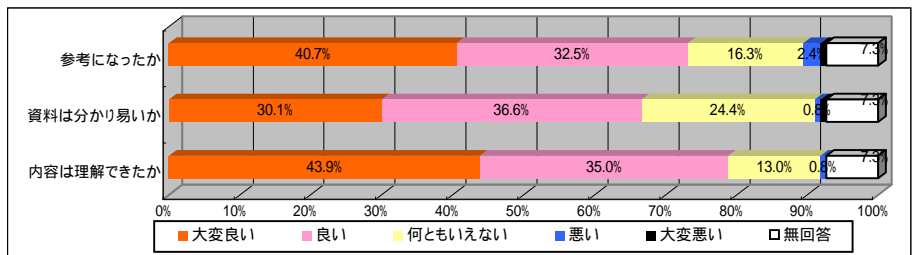


パネルディスカッション

- ・授業での情報機器の利用を推進し、その中で教員が感じていくことも大切と感じた

「情報モラルのカリキュラムとその枠組み」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	50	37	54
良い	40	45	43
何ともいえない	20	30	16
悪い	3	1	1
大変悪い	1	1	0
無回答	9	9	9
合計	123	123	123



「情報モラルのカリキュラムとその枠組み」

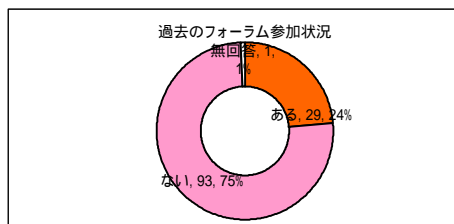
- ・学年別(年代別)に指導内容が提示され参考になった
- ・推進するためのバックアップは参考になった

3. 本フォーラムの全般について

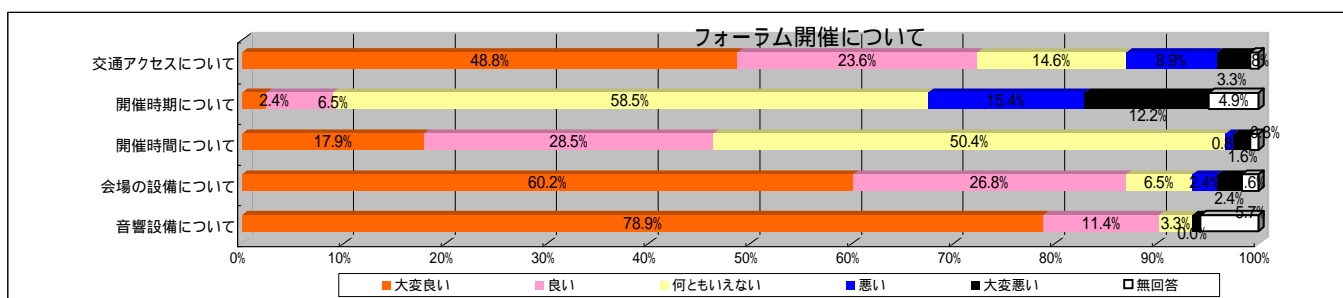
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	29
ない	93
無回答	1

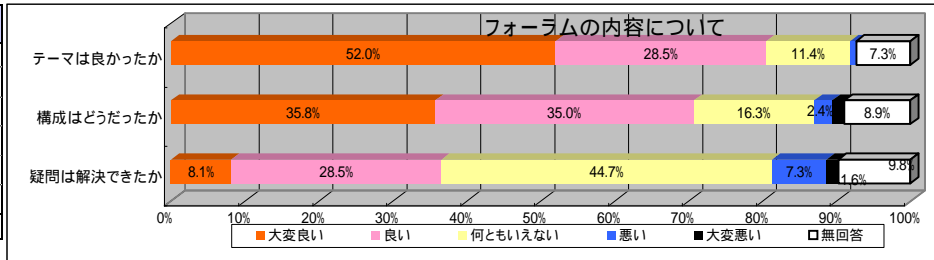


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	60	3	22	74	97
良い	29	8	35	33	14
何ともいえない	18	72	62	8	4
悪い	11	19	1	3	0
大変悪い	4	15	2	3	1
無回答	1	6	1	2	7
合計	123	123	123	123	123



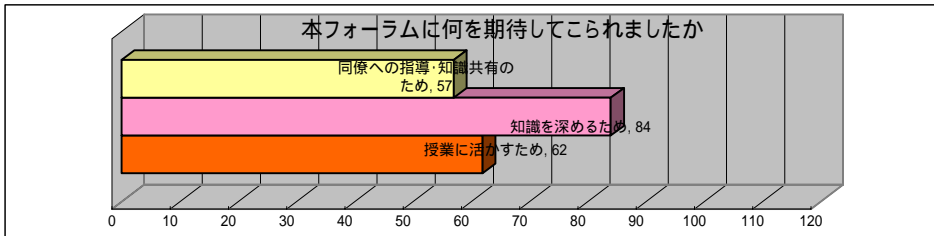
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	64	44	10
良い	35	43	35
何ともいえない	14	20	55
悪い	1	3	9
大変悪い	0	2	2
無回答	9	11	12
合計	123	123	123



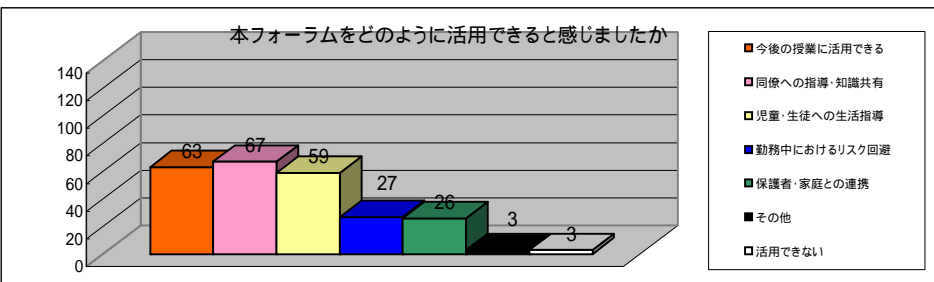
本フォーラムに何を期待してられましたか

授業に活かすため	62
知識を深めるため	84
同僚への指導・知識共有のため	57



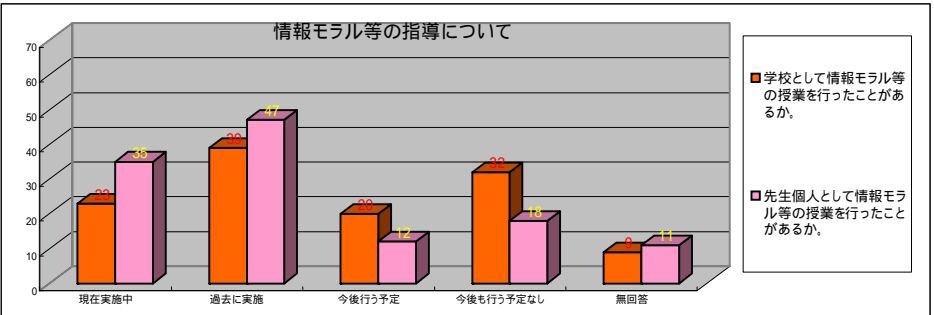
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	63
同僚への指導・知識共有	67
児童・生徒への生活指導	59
勤務中におけるリスク回避	27
保護者・家庭との連携	26
その他	3
活用できない	3



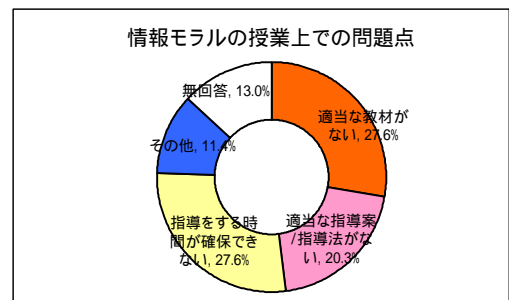
3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	23	35
過去に実施	39	47
今後行う予定	20	12
今後も行わない予定なし	32	18
無回答	9	11
合計	123	123



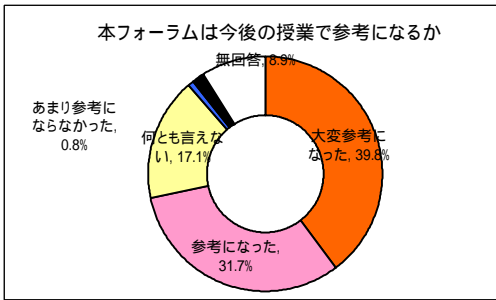
情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	34
適当な指導案/指導法がない	25
指導をする時間が確保できない	34
その他	14
無回答	16
合計	123



本フォーラムは今後の授業で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますが。

大変参考になった	49
参考になった	39
何ともいえない	21
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	2
無回答	11
合計	123

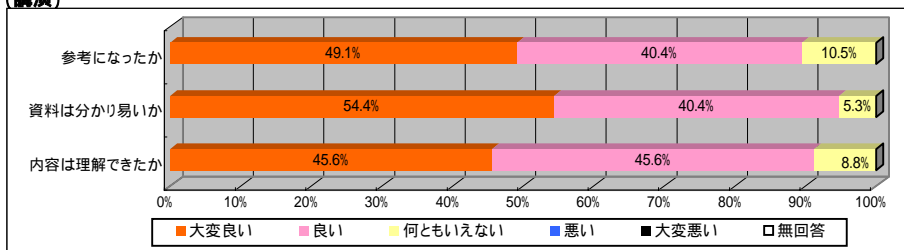


開催都府県	京都府		
副題	情報モラル等の指導を普及するフォーラム		
開催日	平成19年2月15日		
開催場所	マリアーージュ福知山		
開催時間	13:00～		
参加人数	68人		
有効アンケート回収数	57人	アンケート回収率	83.8%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「学校教育における情報モラルの位置づけとその指導のあり方」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	28	31	26
良い	23	23	26
何ともいえない	6	3	5
悪い	0	0	0
大変悪い	0	0	0
無回答	0	0	0
合計	57	57	57

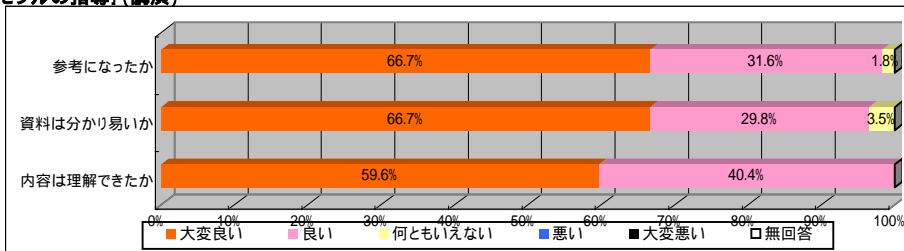


「学校教育における情報モラルの位置づけとその指導のあり方」

- ・大変具体的で使える資料が多かった。

「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	38	38	34
良い	18	17	23
何ともいえない	1	2	0
悪い	0	0	0
大変悪い	0	0	0
無回答	0	0	0
合計	57	57	57

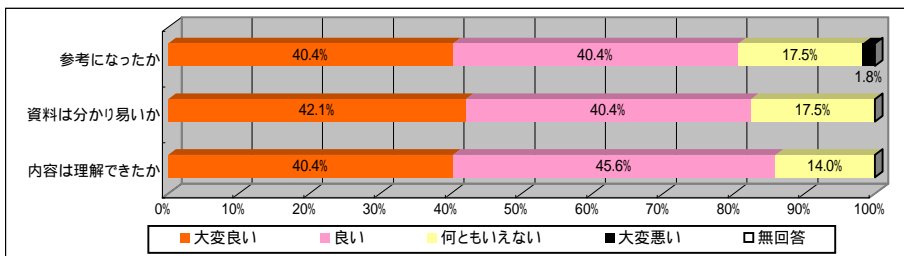


「児童生徒の主体的な活動や保護者・地域との連携による情報モラルの指導」

- ・内容が大変よく理解できた
- ・情報モラルの指導すべき内容と実践が理解できた。
- ・今後直ぐに実践したい
- ・保護者に関心を持ってもらう方法が分かった

「効果的な情報モラル指導のポイント」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	23	24	23
良い	23	23	26
何ともいえない	10	10	8
悪い	0	0	0
大変悪い	1	0	0
無回答	0	0	0
合計	57	57	57



「効果的な情報モラル指導のポイント」

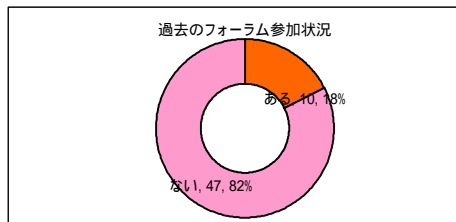
- ・中学校の実践も知りたい

3. 本フォーラムの全般について

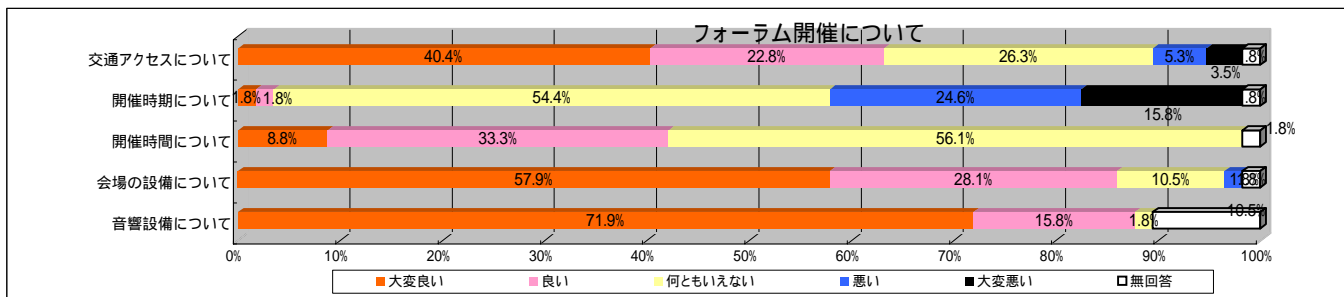
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	10
ない	47
無回答	0

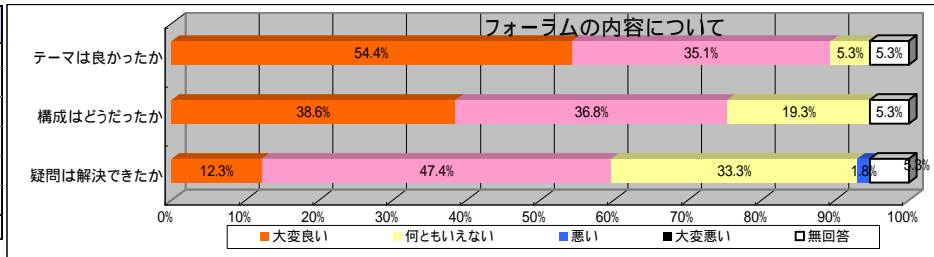


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	23	1	5	33	41
良い	13	1	19	16	9
何ともいえない	15	31	32	6	1
悪い	3	14	0	1	0
大変悪い	2	9	0	0	0
無回答	1	1	1	1	6
合計	57	57	57	57	57



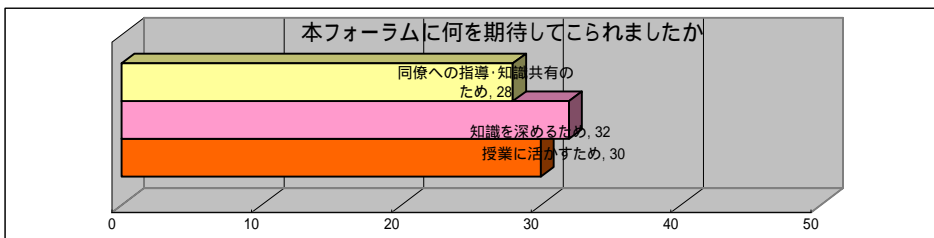
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	31	22	7
良い	20	21	27
何ともいえない	3	11	19
悪い	0	0	1
大変悪い	0	0	0
無回答	3	3	3
合計	57	57	57



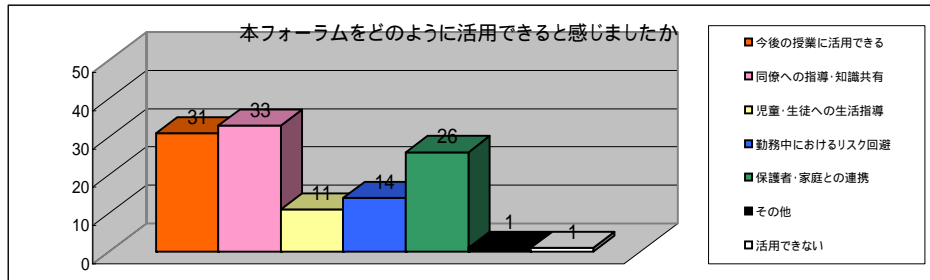
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	30
知識を深めるため	32
同僚への指導・知識共有のため	28



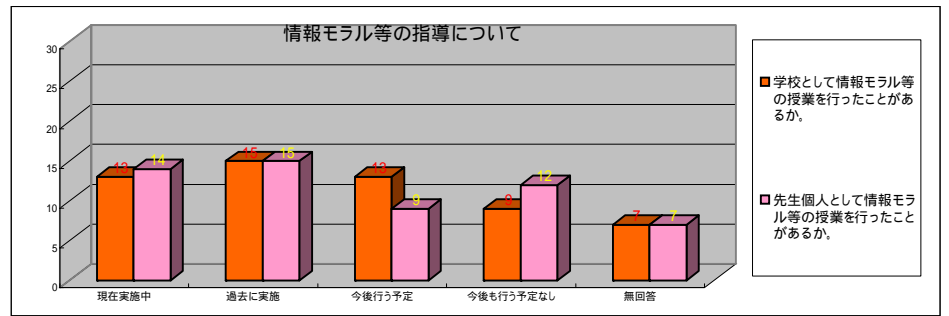
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか

今後の授業に活用できる	31
同僚への指導・知識共有	33
児童・生徒への生活指導	11
勤務中におけるリスク回避	14
保護者・家庭との連携	26
その他	1
活用できない	1



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	13	14
過去に実施	15	15
今後行う予定	13	9
今後行う予定なし	9	12
無回答	7	7
合計	57	57

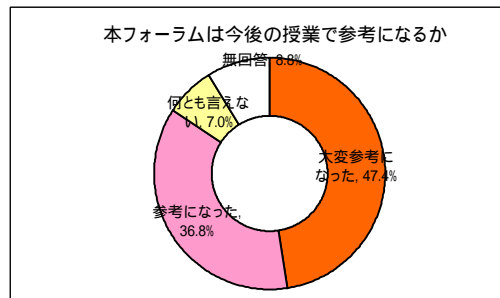
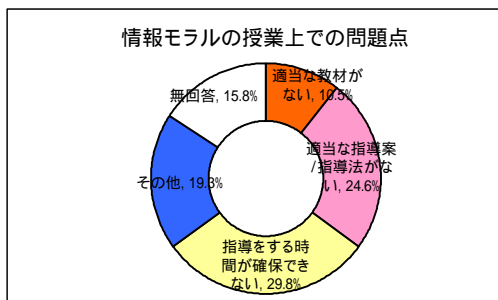


情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	6
適当な指導案/指導法がない	14
指導をする時間が確保できない	17
その他	11
無回答	9
合計	57

本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	27
参考になった	21
何とも言えない	4
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	5
合計	57

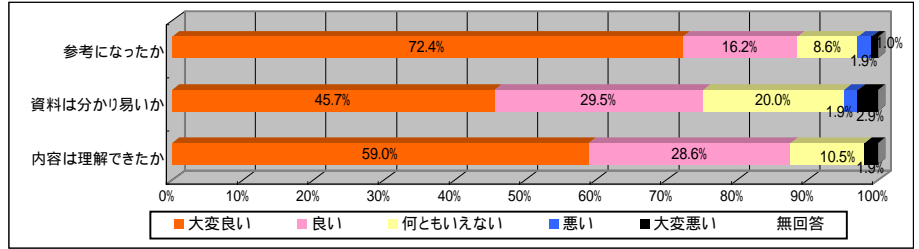


開催都府県	新潟県		
副題	育てよう情報モラル・防ごうサイバー犯罪		
開催日	平成19年2月21日		
開催場所	アトリウム長岡		
開催時間	13:00～		
参加人数	113人		
有効アンケート回収数	105人	アンケート回収率	92.9%

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

「子ども達が生きる情報メディア環境の構造変化」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	76	48	62
良い	17	31	30
何ともいえない	9	21	11
悪い	2	2	0
大変悪い	1	3	2
無回答	0	0	0
合計	105	105	105

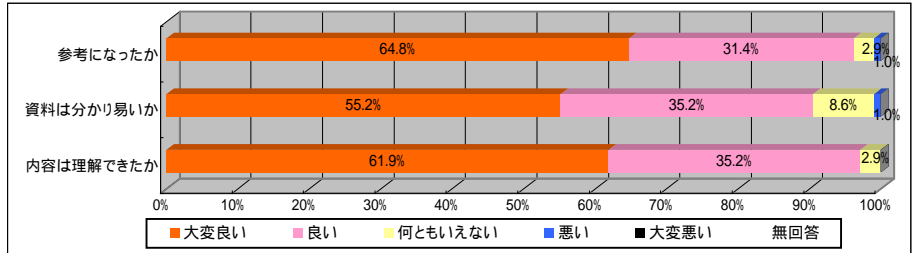


「子ども達が生きる情報メディア環境の構造変化」

- ・携帯利用に関する指導の強化が必要だ
- ・携帯という情報端末をどうコントロールしていくのか学校現場だけでなく家庭での教育も必要
- ・携帯を使った様々な問題、現状がよく分かった
- ・携帯の危険性がよく分かった

「サイバー犯罪と児童・生徒の犯罪被害について」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	68	58	65
良い	33	37	37
何ともいえない	3	9	3
悪い	1	1	0
大変悪い	0	0	0
無回答	0	0	0
合計	105	105	105

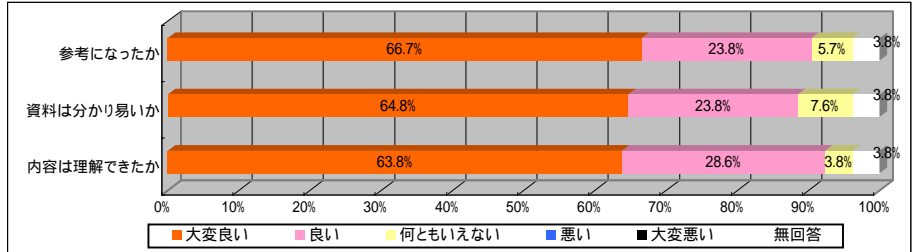


「サイバー犯罪と児童・生徒の犯罪被害について」

- ・事例が豊富で良かった
- ・ハイテク犯罪対策は、いい仕事をしていると思う。とてもためになる話でした。
- ・生徒や保護者にも聞いて欲しい内容だった
- ・内容によって犯罪になるのかならないのか理解することができて良かった
- ・新潟の様子が分かって良かった
- ・掲示板の犯罪の増加の様子が分かった

「強化情報における情報モラル育成実践について」(講演)

	参考になったか	資料は分かり易いか	内容は理解できたか
大変良い	70	68	67
良い	25	25	30
何ともいえない	6	8	4
悪い	0	0	0
大変悪い	0	0	0
無回答	4	4	4
合計	105	105	105



「教科情報における情報モラル育成実践について」

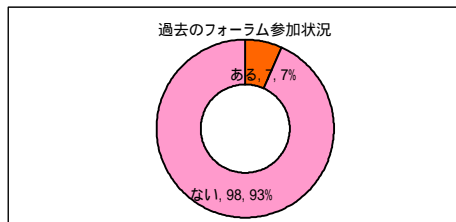
- ・授業でも取り入れたい
- ・生徒と共に学んでいく様子がよく分かった
- ・他人の実践を見る機会がないので大変参考になった
- ・生徒を危険から守ることが重要だと理解した
- ・授業に取り入れたい内容が多かった

3. 本フォーラムの全般について

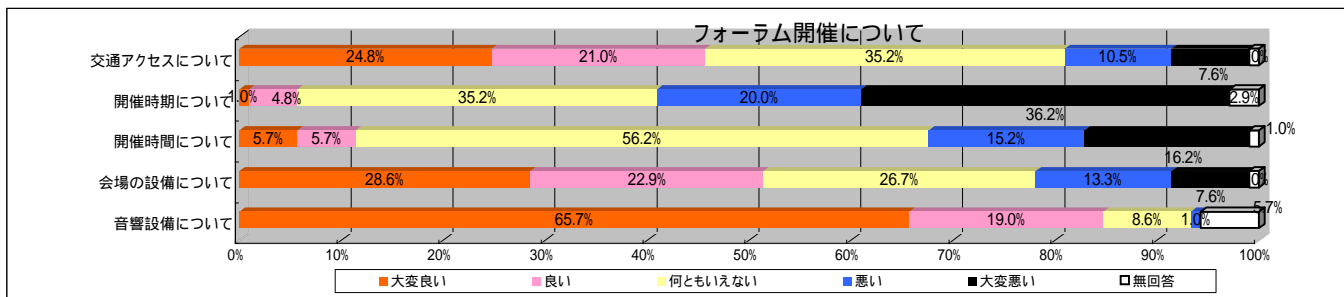
3-1. フォーラム開催について

過去に同様のフォーラムに参加したことがあるか

ある	7
ない	98
無回答	0

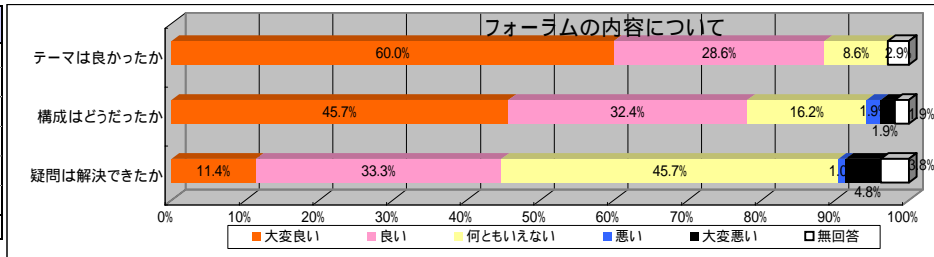


	交通アクセスについて	開催時期について	開催時間について	会場の設備について	音響設備について
大変良い	26	1	6	30	69
良い	22	5	6	24	20
何ともいえない	37	37	59	28	9
悪い	11	21	16	14	1
大変悪い	8	38	17	8	0
無回答	1	3	1	1	6
合計	105	105	105	105	105



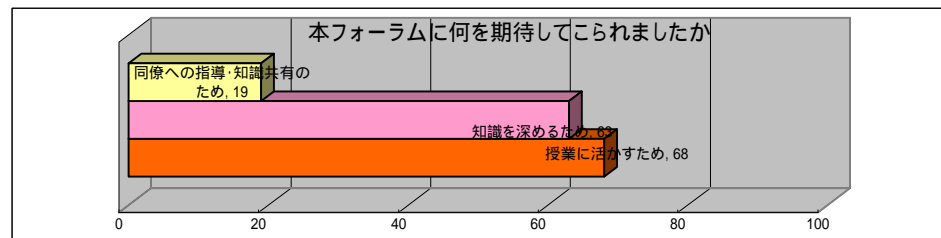
3-2. フォーラムの内容について

	テーマは良かったか	構成はどうだったか	疑問は解決できたか
大変良い	63	48	12
良い	30	34	35
何ともいえない	9	17	48
悪い	0	2	1
大変悪い	0	2	5
無回答	3	2	4
合計	105	105	105



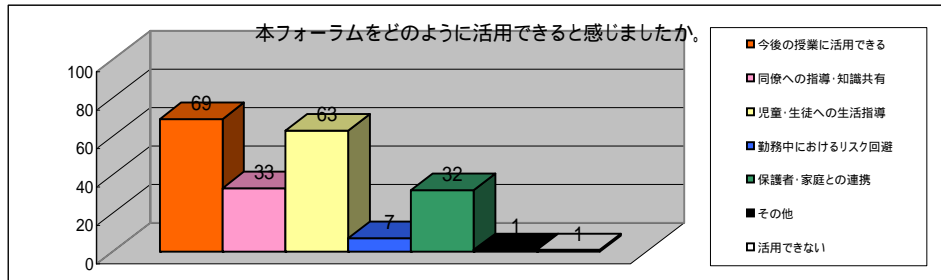
本フォーラムに何を期待してこられましたか

授業に活かすため	68
知識を深めるため	63
同僚への指導・知識共有のため	19



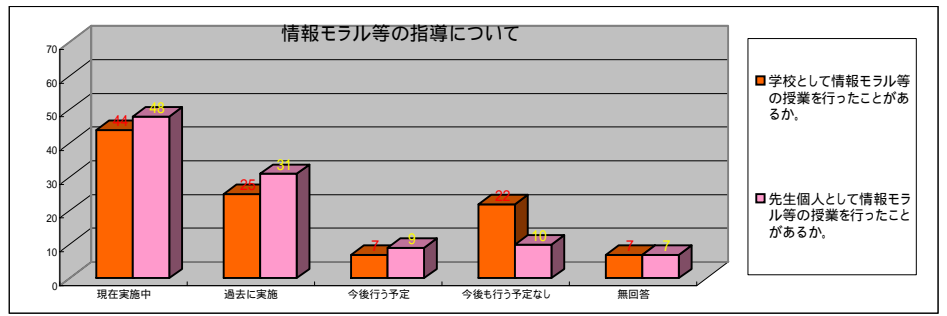
本フォーラムをどのように活用できると感じましたか。

今後の授業に活用できる	69
同僚への指導・知識共有	33
児童・生徒への生活指導	63
勤務中におけるリスク回避	7
保護者・家庭との連携	32
その他	1
活用できない	1



3-3. 情報モラル等の指導について

	学校として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。	先生個人として情報モラル等の授業を行ったことがあるか。
現在実施中	44	48
過去に実施	25	31
今後行う予定	7	9
今後も行わない予定なし	22	10
無回答	7	7
合計	105	105



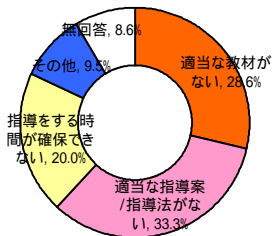
情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか。

適当な教材がない	30
適当な指導案/指導法がない	35
指導をする時間が確保できない	21
その他	10
無回答	9
合計	105

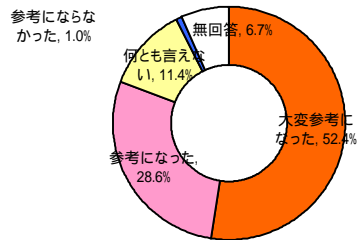
本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりますか。

大変参考になった	55
参考になった	30
何とも言えない	12
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	1
無回答	7
合計	105

情報モラルの授業上での問題点



本フォーラムは今後の授業で参考になるか



「フォーラムタイトル」アンケート

SEQNo 9999

1. 受講者プロフィール

校種	小学校(年)・中学校 高等学校 ・その他()	教科	役職	教職歴 年
----	-----------------------------	----	----	----------

2. 本フォーラムの各プログラムについてお尋ねします。

2-1. 「プログラム第1部」についてお尋ねします。

- ・今回の話は今後の参考になりましたか。
- ・講演資料は分かりやすかったですか。
- ・講習の内容は理解できましたか。
- ・ご意見がありましたらご記入ください

5 3 1
 — — — —
 参考になった 何とも言えない 参考にならなかった

5 3 1
 — — — —
 分かり易かった 何とも言えない 分かりにくかった

5 3 1
 — — — —
 理解できた 何とも言えない 理解できなかった

Empty text box for comments.

2-2. 「プログラム第2部」についてお尋ねします。

- ・今回の話は今後の参考になりましたか。
- ・講演資料は分かりやすかったですか。
- ・講習の内容は理解できましたか。
- ・ご意見がありましたらご記入ください

5 3 1
 — — — —
 参考になった 何とも言えない 参考にならなかった

5 3 1
 — — — —
 分かり易かった 何とも言えない 分かりにくかった

5 3 1
 — — — —
 理解できた 何とも言えない 理解できなかった

Empty text box for comments.

2-3. 「プログラム第3部」についてお尋ねします。

- ・今回の話は今後の参考になりましたか。
- ・講演資料は分かりやすかったですか。
- ・講習の内容は理解できましたか。
- ・ご意見がありましたらご記入ください

5 3 1
 — — — —
 参考になった 何とも言えない 参考にならなかった

5 3 1
 — — — —
 分かり易かった 何とも言えない 分かりにくかった

5 3 1
 — — — —
 理解できた 何とも言えない 理解できなかった

Empty text box for comments.

3. 本フォーラムの全般についてお尋ねします。

3-1. フォーラムの開催についてお尋ねします。

- ・過去に同様のフォーラムに参加した経験がありますか。
- ・開催場所の交通アクセスは良かったですか。
- ・開催時期はいかがでしたか。
- ・開催時間の長さはいかがでしたか。
- ・会場の設備(机、イス、スクリーンなど)はいかがでしたか。

—
 ある ない

5 3 1
 — — — —
 良い 何とも言えない 悪い

5 3 1
 — — — —
 早すぎる ちょうど良い 遅すぎる

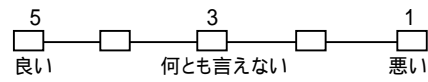
5 3 1
 — — — —
 長い ちょうど良い 短い

5 3 1
 — — — —
 良い 何とも言えない 悪い

裏面のアンケート項目もご記入ください

74 5 3 1
 — — — —
 良い 何とも言えない 悪い

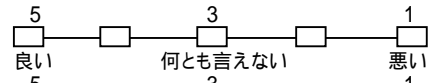
・音響設備はいかがでしたか。
(講師の声は聞こえていましたか。)



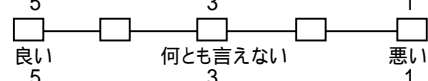
・フォーラムの運営形式について、ご意見があればお聞かせください。

3-2. フォーラムの内容についてお聞きします。

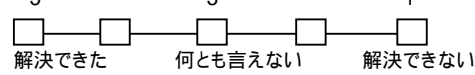
・テーマは良かったですか。



・構成はいかがですか。



・参加前に持っていた情報モラル等に関する疑問は解決できましたか。



・本フォーラムに何を期待して来られましたか
(複数回答可)

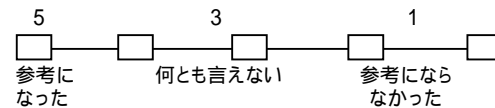
1. 授業に活かすため
2. 知識を深めるため
3. 同僚への指導・知識共有のため

・本フォーラムをどのように活用できると感じましたか
(複数回答可)

1. 今後の授業に活用できる
2. 同僚への指導・知識共有に活用できる
3. 児童・生徒への生活指導に活用できる
4. 勤務中におけるリスク回避に活用できる
5. 保護者・家庭との連携に活用できる
6. その他()
7. 活用できない

・直上の質問において「今後の授業に活用できる」を選んだ方にお聞きします。今後の授業に活用できると思われた部分はどこですか。

・講演内容とは別に本日配布された資料は参考になりましたか。



・フォーラムの内容について、ご意見があればお聞かせください。

3-3. 情報モラル等の指導についてお聞きします。

・学校として情報モラル等をテーマにした授業を行った(取り組んだ)ことがありますか。

1. 現在行なっている
2. 過去に行ったことがある
3. 過去に行ったことがないが、今後予定がある
4. 過去に行ったことがなく、今後も予定がない

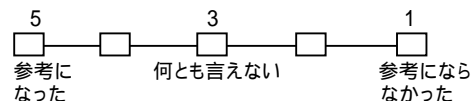
・先生個人として情報モラル等をテーマにした授業を行ったことがありますか。

1. 現在行なっている
2. 過去に行ったことがある
3. 過去に行ったことがないが、今後予定がある
4. 過去に行ったことがなく、今後も予定がない

・情報モラル等をテーマにした授業を行う上で、問題となるのはどのようなことだと思いますか

1. 適切な教材がない
2. 適切な指導案がない / 指導方法が分からない
3. 指導をする時間が確保できない
4. その他

・本フォーラムは今後校内で情報モラル等を授業実践をする上で参考になりましたか。



・フォーラムに参加される前に、参考にされていた情報モラル等に関する資料やホームページは何かありましたか。

4. その他ご意見がありましたらご記入ください。

【個人情報の利用目的】

本アンケートのデータは、「情報モラル等の指導を普及するフォーラム」の集計・分析、報告書の作成のために使用させていただきます。

平成18年度文部科学省委託事業
情報モラル等指導サポート事業
情報モラル等の指導を普及するフォーラム委託事業

情報モラル等の指導を普及するフォーラム開催委員会

【委員】

委員長	南部 昌敏	上越教育大学
委員	新保 史生	筑波大学
委員	高橋 邦夫	千葉学芸高等学校
委員	辻 慎一郎	鹿児島県志布志市教育委員会
委員	山田 英史	株式会社ディアイティ

情報モラル等の指導を普及するフォーラム報告書

平成19年3月20日

著作権者 文部科学省
発行 財団法人コンピュータ教育開発センター
〒108-0072 東京都港区白金1丁目27番6号
TEL 03-5423-5911 FAX03-5423-5916
URL <http://www.cec.or.jp/CEC/>